挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
98	122	−123	須恵器坏身	12.0			竪緻	良好	灰青色	立ち上がりも受け部もかなり萎小化している。 立ち上がりは中央部で丸く外反している。

C−11第4層

98	122	−124	須恵器坏(?)			9.2	0.2〜1mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	暗灰色	底部には少し外方にふんばった高台がつく。

D−7第3層

99	123	−125	須恵器坏蓋	13.4			0.2〜2mm程度の砂粒を少量含む。	良好	青灰色	天井部と体部間に稜はなく,口縁端部近くで内方に屈曲する。口縁端部内面には段を有する。 天井部はヘラケズリされており,その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは左回転。
99	−	−126	須恵器坏身	14.4			細砂粒を少量含む。	良好	青灰色	立ち上がりは内傾しており，まだしっかりしている。

D−8第1層

99	−	−127	須恵器坏蓋	14.0			0.5〜1mm程度の砂粒を少量含む。	良好	淡青灰色	天井部と体部間に稜の痕跡を残す。 体部は直線ぎみに外方へ延びる。 天井部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。

D−10第3層

99	−	−128	須恵器坏蓋				0.2〜1mm程度の砂粒を少量含む。	良好	青灰色	天井部に宝珠形のつまみがつく。 天井部はヘラケズリされており，ロクロは右回転。
99	−	−129	〃	16.0			微砂粒を含む。	良好	濁白灰色	口縁端部は下方に短く屈曲する。 口縁端部内面には凹線が施されている。
99	−	−130	須恵器坏身	13.8			微砂粒を少量含む。	良	淡青灰色	立ち上がりは内傾し，しっかりしている。

E−6第3層

99	−	−131	須恵器坏身	13.0			竪緻	良好	青灰色	全体に薄手に作られている。 立ち上がりは内傾している。 ヨコナデ調整されている。
99	123	−132	〃	12.0	4.0		0.2〜2mm程度の砂粒を少量含む。	良好	暗青灰色	立ち上がりはやや外反しながら延びる。 底部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
99	−	−133	〃	12.4			0.2〜2mm程度の砂粒を少量含む。	不良	濁白色	立ち上がりも受け部もかなり萎小化している。 調整は摩滅しており不明。

E－8第1層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
99	－	－134	須恵器甕	20.0			微砂粒を含む。	良好	灰色	頸部は外反しながら延び口縁端部は外方に面を残し，おさめる。 頸部外面には叩き痕が残る。

E－9第1層

99	－	－135	須恵器坏(?)			9.6	0.2～2㎜程度の砂粒を少量含む。	良好	暗青灰色	底部と体部の境に小さい高台が付く。

F－8第3層

99	－	－136	須恵器坏身	13.0			堅緻	良好	青灰色	立ち上がりは内傾している。 ヨコナデ調整されている。

H－4第3層

99	123	－137	須恵器坏蓋	15.0			堅緻	良好	灰青色	天井部と体部間に稜を持たず，口縁端部は丸く仕上げる。 天井部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは左回転。
99	123	－138	須恵器坏身	12.4	3.7		0.2～2㎜程度の砂粒を含む。	良好	暗青灰色	しっかりした天井部と受け部を持つ。 底部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。

I－5第1層

99	－	－139	須恵器坏			12.4	細砂粒を含む。	良好	濁青灰色	底部の端に短く太い高台が付く。 底部はヘラケズリされている。

L－3第3層

99	123	－140	須恵器坏蓋	12.8			微砂粒を含む。	良	暗灰色	天井部から体部は丸くつくられ，口縁端部は少し稜を持つように作られている。
99	123	－141	〃	14.5	3.9		0.2～1㎜程度の砂粒を少量含む。	良好	黒灰色	体部は天井部から直線的に外方へ延び端部は丸くおさめる。 天井部はヘラケズリされ，その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
99	123	－142	〃	14.0	4.6		0.2～1㎜程度の砂粒を含む。	良	黒茶灰色	体部は天井部から丸く作られており口縁端部は内彎させている。 端部内面には段の痕跡を残す。 天井部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
99	123	－143	土師器甕	16.0			0.2～3㎜程度の砂粒を多量に含む。	良	褐茶色	直線的な口縁をしており，端部は稜を持っている。 調整は摩滅しており不明。

L－3第4層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
99	123	－144	須恵器坏蓋	12.9			堅緻	良好	暗灰色	口縁は直線的に延び端部は少し内彎する。 端部の内面には段の痕跡を残す。
99	123	－145	須恵器坏身	14.0			細砂粒を少量含む。	良好	青灰色	立ち上がりも受け部もかなり萎小化している。 全体に薄手につくられている。 ＳＫ11出土坏身と同一個体の可能性有。

M－3第3層

99	123	－146	須恵器坏蓋	14.0			堅緻	良好	暗青灰色	天井部から体部へは丸くつくられており，口縁端部も丸くおさめられている。 天井部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。
99	－	－147	須恵器坏身	12.6			0.2～2mm程度の砂粒を少量含む。	良好	内面 灰色 外面 暗灰色	立ち上がりは直線的に内傾し，しっかりしている。 底部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
99	－	－148	須恵器坏	11.0			堅緻	良好	白灰色	少し外反する体部を持ち，口縁端部は少し稜を持ち終る。 ヨコナデ調整されている。

F－7，F－8土器集中

100	124	－149	須恵器坏蓋	14.0			0.2～2mm程度の砂粒を少量含む。	良好	暗灰色	天井部と体部間に稜はなく丸くおさめられ，口縁はやや外方に延びている。 天井部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
100	124	－150	〃	14.0			細砂粒を含む。	良好	灰色	体部は外方へ延びており，口縁部でやや内方に屈曲する。 外面には自然釉がかかっている。
100	124	－151	〃	15.0			堅緻	良好	白灰色	体部は直線的に外方へ延び，口縁部でやや内方に屈曲する。 口縁端部内面には段の痕跡を残す。
100	124	－152	〃	14.0			微砂粒を含む。	良好	暗灰色	体部は内彎しながら口縁端部に至り，内面には段を有する。 ヨコナデ調整されている。
100	124	－153	須恵器坏身	13.6			細砂粒を少量含む。	良好	青灰色	立ち上がりは内傾し，しっかりしたものを持つ。 底部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
100	124	－154	〃	13.0			微砂粒を含む。	良好	灰青色	立ち上がりは内傾し，全体に薄手に作られている。 底部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
100	124	－155	〃	13.0			0.2～3mm程度の砂粒を少量含む。	良好	灰青色	立ち上がりも受け部もかなり萎小化している。 底部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
遺物番号									
100	−	須恵器壺	15.0			微砂粒を多量に含む。	良好	灰褐色	頸部は外方に直線的に延び，口縁端部で外反する。 内面には凹線が施されている。 ヨコナデ調整されている。
−156									

E−7，8攪乱土層出土遺物

100	124	須恵器坏蓋	14.0			0.2〜3mm程度の砂粒を含む。	良好	暗青灰色	天井部と体部間に稜の痕跡を残す。 口縁端部内面にも段の痕跡を残す。
−157									
100	124	〃	14.0			細砂粒を含む。	良好	青灰色	口縁端部内面に段の痕跡を残す。 天井部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。
−158									
100	−	須恵器坏身	12.0			細砂粒を少量含む。	良好	暗青灰色	立ち上がりも受け部もかなり萎小化している。 底部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。
−159									
100	124	〃	13.4			堅緻	良好	白灰色	立ち上がりは内傾しており，受け部はしっかりしている。 外面底部には自然釉の付着がみられる。
−160									
100	124	〃	13.4			堅緻	良好	青灰色	立ち上がりも受け部もしっかりしている。 ヨコナデ調整されている。
−161									
100	124	〃	15.5			0.2〜2mm程度の砂粒を含む。	良	濁灰色	萎小化した立ち上がりを持つが受け部はしっかりしている。 底部はヘラケズリされており，その他はヨコナデ調整されている。
−162									
100	125	土師器甕	26.9			0.2〜4mm程度の砂粒を含む。	良好	黄茶色	体部は丸く作られ，外反しながら口縁に至る。 体部中央上方に屈曲する取手が付く。 体部内面はヘラケズリと指頭痕がみられ，外面はヨコナデされている。
−163									

東播系こね鉢

B−9第3層

101	125	こね鉢	27.0			0.2〜1mm程度を含む。	良好	灰色 (口縁部外面灰黒色)	口縁端部は細まりながら内方へ屈曲する。 体部内外面にはヨコナデによる凹凸がみられる。
−164									

G−5第3層

101	125	こね鉢 底部			底径 10.0	0.2〜1mm程度の砂粒を含む。	良好	青灰色	底部は糸切りされている。 体部は直線的に外方へ延びる。
−165									

L−3第4層

101	125	こね鉢	21.0			0.2〜2mm程度の砂粒を含む。	不良	淡赤褐色	口縁端部は細まりながら，内方へ屈曲する。
−166									

C－8第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
101	125	－167	こね鉢	20.0			微砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面黒黄灰色）	口縁端部は比較的大きく作られており，内方に屈曲する。

D－9第3層

101	125	－168	こね鉢				微砂粒を含む。	良好	青灰色	口縁はやや外反しており，端部は外面に面を取り，上方につまみ出す。

B－9第1層

101	125	－169	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面灰黒色）	口縁端部は上方につまみ出す。
101	125	－170	こね鉢				0.2～1mm程度の砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面黒灰色）	口縁端部はやや外方に拡張しながら，上方につまみ上げ終る。

C－9第3層

101	125	－171	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	灰色	口縁端部は上方につまみ出す。

B－9第1層

101	125	－172	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	灰色（口縁部外面黒灰色）	口縁端部は外方に三角形状に拡張され，上方につまみ出されている。

C－10第3層

101	125	－173	こね鉢				微砂粒を多量に含む。	良	黒灰色	口縁端部は外方に三角形状に拡張され，上方につまみ出されている。
101	126	－175	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面黒灰色）	口縁端部外面は三角形状に拡張し，上方につまみ出されている。

A－9第3層

101	125	－174	こね鉢				微砂粒を含む。	良好	淡青灰色（口縁部外面黒黄灰色）	口縁端部外面は三角形状に拡張されている。 端部はやや内方に屈曲しながら，つまみ出されている。

C－10第２層

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
遺物番号									
101	126	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面黒黄灰色）	口縁端部外面は三角形状に拡張し，上方につまみ出している。
－176									

D－９第２層

101	126	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	灰色（口縁部外面暗灰色）	口縁端部は「く」の字状に内方に屈曲する。
－177									

L－３第４層

101	126	こね鉢				0.2～2㎜程度の砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面暗灰色）	口縁端部は少し屈曲するだけで丸くおさめる。
－178									

F－８第１，２層

101	126	こね鉢				0.2～2㎜程度の砂粒を含む。	良	白灰色	口縁端部をやや内方に屈曲させ，細く上方につまみ出している。
－179									

C－７第２，３層

101	126	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	濁灰色（口縁部外面暗黄灰色）	口縁端部外面は三角形状に拡張させ，端部は内方に丸く屈曲させている。
－180									

B－10第２層

101	126	こね鉢				微砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面暗灰色）	口縁端部外面は三角形状に拡張させ，端部は内方に屈曲させる。ヨコナデ調整されている。
－181									

C－10第２層

101	126	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	灰色（口縁部外面黒灰色）	口縁端部外面は三角形状に拡張させ，端部は「く」の字状に内方に屈曲させている。
－182									

B－11第２，３層

101	126	こね鉢				細砂粒を含む。	良好	青灰色（口縁部外面暗緑色）	口縁端部は上下に拡張させ，上端は丸く内彎させている。端部内面にはヨコナデによる凹みがみられる。
－183									

B－８第３層

102	126	土師器小皿	6.8	1.5	底径 6.0	細砂粒を多量に含む。	良	濁灰白色	底部は糸切りされており，体部は直線的に外方へ延び，端部は丸くおさめられる。
－184									

B－9第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
102	126	－185	土師器小皿	8.2	1.6	底径 5.9	0.2～1mm程度の砂粒を多量に含む。	良	褐茶色	底部は糸切りされており，体部は直線的に外方へ延び，端部は丸くおさめられる。

C－7第3層

102	127	－186	土師器小皿	9.0	1.4	底径 6.2	細砂粒を少量含む。	良	淡茶色	体部はやや内彎しながら，外方へ延びる。 調整は摩滅のため不明。

C－7第1層

102	－	－187	土師器坏	9.8	3.5	底径 4.0	精良	良	淡茶色	底部はヘラ切りされており，体部はやや内彎ぎみに口縁に至る。 体部外面はヨコナデによる凹凸がみられる。

C－8第3層

102	127	－188	土師器坏	13.8	2.6	底径 7.0	精良	良	灰白色	体部はやや内彎ぎみに口縁に至る。 全体に薄手に作られている。

C－10第3層

102	127	－189	土師器小皿	8.4	1.4	底径 5.6	微砂粒を多量に含む。	良好	暗褐白色	底部はヘラ切りされており，体部は外反しながら口縁に至る。 全体にヨコナデ調整されている。
102	127	－190	〃	9.4	1.4	底径 7.2	微砂粒を少量含む。	良好	灰白色	底部はヘラ切りされており，体部は直線的に外方へ延びる。 ヨコナデ調整されている。
102	－	－191	土師器埦			5.6	精良	良	灰白色	少し外方にふんばった高台が付く。 体部はやや内彎しながら外方へ延びる。
102	－	－192	黒色土器埦（A類）			6.4	0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良	内面 黒色 外面 褐茶色	少し外方にふんばった高めの高台が付く。 内面は炭素を吸着させ黒色化している。
102	127	－193	瓦器埦	16.0			微砂粒を少量含む。	良	黒色	内彎した体部で口縁端部は丸くおさめる。 体部外面には指頭痕が顕著にみられる。
102	127	－194	土師器小皿	7.8	1.3	底径 5.4	微砂粒を含む。	良	灰白色	底部はヘラ切りされており，体部はやや内彎しながら口縁端部に至る。
102	127	－195	〃	7.8	1.4	底径 6.0	微砂粒を含む。	良好	灰色	底部は糸切りされており，体部は外反しながら口縁に至り，端部は丸くおさめられる。

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
遺物番号									
102	127	土師器小皿	9.0	1.2	底径 7.0	微砂粒を含む。	良	淡褐色	底部はヘラ切りされており，体部は直線的に外方へ延び，口縁端部は丸くおさめられている。
−196									
102	127	〃	8.5	1.2	底径 6.2	微砂粒を少量含む。	良	淡黄褐色	体部は直線的に外方へ延びる。口縁端部は丸くおさめられている。
−197									
102	−	土師器坏	12.2	3.7	底径 8.0	0.2〜1mm程度の砂粒を含む。	良	黄褐色	少し突出した底部を持ち，体部は直線的に外方へ延び端部は少し外反する。
−198									

D−10第2，3層

102	127	瓦器小皿	8.0			0.5〜2mm程度の砂粒を少量含む。	良	淡茶黄色	底部と体部の境に稜を持たず，体部はやや外反しながら口縁端部に至る。調整は摩滅のため不明。
−199									

I−4第3層

102	−	土師器坏	10.6	3.2	底径 7.6	0.2〜1mm程度の砂粒を含む。	良	淡褐色	体部はやや内彎ぎみに立ち上がり，口縁端部は丸くおさめられている。摩滅が著しく調整は不明。
−200									
102	−	瓦器椀				精良	良好	灰黒色	体部はやや内彎ぎみに立ち上がり口縁端部はやや外反しながら終る。体部内面にはヘラミガキが施され，外面には指頭痕のち数条のヘラミガキがみられる。口縁端部外面下半は指頭痕が顕著にみられる。
−201									

J−4第1層

102	127	瓦質土器小皿			底径 5.4	精良	良	灰黒色	底部は糸切りされており，体部は内彎ぎみに立ち上がる。全面に炭素を吸着されている。
−202									

L−3第3層

102	127	土師器坏	10.8		底径 9.0	精良	良	淡褐黄色	底部は糸切りされており，体部は内彎ぎみに立ち上がる。ヨコナデ調整されている。
−203									

B−11第3層

102	127	土錘	全長	幅 2.4	—	微砂粒を含む。	良	淡黄褐色	紡錘形をしている。断面はほぼ円形で径1cm程の孔をあける。
−204									
102	127	〃	全長 4.9	幅 1.7	—	精良	良	淡黄褐色	紡錘形をしている。手づくね痕が顕著にみられる。
−205									

土師質土器，その他

M－3第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
103	128	－206	土師質土器 土鍋	27.0			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	黄茶色	体部は直線的に延びており，口縁は「く」の字に屈曲する。口縁内面には横方向のハケ目が施されている。

B－9第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
103	128	－207	土師質土器 土鍋	26.0			0.2～3mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	茶色（外面は煤が吸着し，黒色）	体部は丸く作られ，口縁は「く」の字に屈曲する。口縁端部は上方につまみ上げぎみに終る。外面体部には指頭痕がみられる。

L－3第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
103	128	－208	土師質土器 土鍋	23.0			0.2～5mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	茶色（外面は煤が吸着し，黒色）	体部は丸く作られ，口縁は「く」の字にきつく屈曲する。口縁と体部間に強い指ナデがみられる。その他はヨコナデ調整されている。

L－3第4層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
103	128	－209	土師質土器 土鍋	28.0			0.2～5mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	黄茶色（外面は煤が吸着し，黒色）	体部は丸く作られ，口縁は「く」の字に屈曲する。口縁と体部間に強い指ナデがみられる。その他はヨコナデ調整されている。

C－10第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
103	128	－210	土師質土器 土鍋	32.0			0.2～3mm程度の砂粒を含む。	良好	黄茶色（外面は煤が吸着し，黒色）	口縁は「く」の字に屈曲する。端部は少し上方につまみ上げられている。内面はヨコナデ調整され，外面には指頭痕がみられる。
103	128	－211	〃	36.0			0.2～1mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	黄茶色（外面は煤が吸着し，黒色）	口縁部はやや外方に屈曲する。端部は外面に面を持つ。
103	128	－212	〃	38.0			0.2～2mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	淡茶色（外面は煤が吸着し，黒色）	「く」の字に屈曲した口縁を持ち，端部は丸くおさめられている。

C－7第1層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
103	128	－213	土師質土器 土鍋	36.0			0.2～2mm程の砂粒を含む。	良好	茶色	口縁は「く」の字に屈曲し，端部は上方につまみ上げたように丸くおさめる。

C－10第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
104	－	－214	土師質土器 土釜	24.0			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	暗黄褐茶色	体部は内彎しており，口縁端部外面に指ナデによる段が付く。端部は丸くおさめられている。ヨコナデ調整されている。
104	－	－215	〃	34.0			0.2～1mm程度の砂粒を含む。	良好	茶黄色	体部は内彎しており，口縁端部外面に指ナデによる段が付く。端部は丸くつくられている。内面ハケ目，外面指頭痕がみられる。

C－7第3層

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
遺物番号									
104	－	土師質土器 土釜	30.0			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	白黄色	体部は内彎しながら端部に至る。端部外面には指ナデされ，その境に段を持つ。釣りさげる穴は，口縁に直接穴をあけつくられている。
－216									

C－7第2層

104	－	土師質土器 土釜	30.0			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	茶黄色	体部は丸くつくられ，口縁端部外面下にヨコナデによる凹みがあり，段を有する。端部は細くなり，丸くつくられている。体部外面は指頭痕が顕著で内面はヨコナデされている。
－217									

D－8第3層

104	－	土師質土器 土釜	26.8			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	淡茶黄色	体部は丸くつくられ，外面端部にはヨコナデによる凹みがみられる。端部は丸くつくられている。体部外面には指頭痕がみられる。
－218									

A－9第3層

104	－	瓦質土器 土釜	25.0			細砂粒を含む。	良	灰黒色	外面口縁端部下に水平で小さい鍔が付く。端部は上部に面を残しおさめる。全面炭素を吸着させている。
－219									

L－3第4層

104	－	土師質土器 土釜	19.2			0.2～1mm程度の砂粒を含む。	良好	黄茶色（外面は煤が付着し，黒色）	外面口縁端部下に水平で三角形状の鍔が付く。端部はやや内方に彎曲し，丸くおさめている。
－220									

D－7第2層

104	129	土師質土器 土釜	24.0			0.2～4mm程度の砂粒を含む。	良好	淡黄茶色	外面口縁端部下に付く鍔がかなり退化している。体部中央には脚が付いている。体部外面は指頭痕が顕著で内面はヨコナデされている。
－221									

D－7第3層

105	129	土師質土器 土釜	21.6			0.2～5mm程度の砂粒を含む。	良好	内面 淡茶色 外面 淡茶黄色	外面口縁端部下に付く鍔がかなり退化している。体部は丸く作くられ，外面は指頭痕が顕著で内面は平滑に仕上げられている。
－222									

C－7第3層

105	129	土師質土器 土釜	28.0			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	茶色（外面下半は煤が付着し，黒色）	体部から，口縁にかけて丸く作られ，端部下の鍔はかなり退化している。端部は内方につまみ出されている。体部上部に脚が付く，体部外面は指頭痕が顕著にみられ内面は平滑に仕上げられている。
－223									

B－9第3層

105	129	土師質土器 土釜脚				0.2～3mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	黒茶色	断面円形で先細くつくられている。全面指ナデされている。
－224									

B－10第３層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
105	129	－225	土師質土器 土釜脚				0.2～3mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	褐茶色	断面円形で直線的に延びる。全面指ナデされている。

F－８第３層

105	129	－226	土師質土器 土釜脚				0.2～2mm程度の砂粒を多量に含む。	良	暗灰黄色	断面円形で直線的に延びる。全面指ナデされている。

A－９第３層

105	129	－227	土師質土器 土釜脚				0.2～3mm程度の砂粒を多量に含む。	良	黄茶色	断面円形につくられており，上半で屈曲する。全面指ナデされている。

J－４第１層

105	129	－228	土師質土器 土釜脚	全長 11.3			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	淡黄茶色	断面円形につくられており，やや内彎しながら先端に至り，端部は丸くつくられている。全面指ナデされている。

A－９第３層

105	－	－229	土師質土器 擂鉢	23.0			0.5～5mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	淡茶色	体部は直線的に延び，端部はやや内方へつまみ上げられている。体部内面には太い条溝がみられる。

C－10第３層

105	－	－230	土師質土器 擂鉢				0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	褐茶色	体部は丸くつくられており，端部はかなり内方に屈曲し，つまみ上げられている。体部内面には，単位をあけた条溝がみられる。

D－10第３層

105	－	－231	土師質土器 擂鉢	23.4			0.2～3mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	淡灰茶色	端部はやや内方に屈曲し，つまみ上げられ，外面には指ナデによる凹みがみられる。体部内面には，太めの条溝がみられる。

C－７第１層

105	129	－232	土師質土器 擂鉢	27.8			0.2～3mm程度の砂粒を多量に含む。	良好	淡褐茶色	体部は直線的に延び，口縁端部を内方につまみ出している。体部内面には６本一単位の条溝が間隔をあけて施されている。

備前焼

表採

106	129	－233	備前焼擂鉢	26.2			１mm前後の砂粒を少量含む。	良好	暗青灰色	口縁端部外面を下方に拡張させ，端部外面をやや凹面にする。体部内面には単位が広く，目の粗い条溝が施されている。

G－5第3層

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
遺物番号									
106	129	備前焼擂鉢	28.0			0.2～2mm程度の砂粒を含む。	良好	外面口縁部付近 暗灰茶色 その他 暗青灰色	口縁端部外面を下方に丸く拡張させ，端部上方はシャープな稜を持つ。体部内面には単位が広く，目の粗い条溝が施されている。
－234									

用水内

106	129	備前焼擂鉢	25.6			1mm以下の砂粒を含む。	良好	灰褐色	口縁端部は外面下方を厚くし，内外面に凹線状の明瞭な溝がつけられている。 条溝は10本単位で最上部において10cm間隔で施されている。
－235									

表採

106	129	備前焼擂鉢	30.0			0.5～1mm程度の砂粒を含む。	良好	褐茶色	口縁は厚く作られ，内外面ともに凹線状の溝がつけられている。 条溝は密に施されている。
－236									

C－8第3層

106	129	備前焼擂鉢	29.6			細砂粒を少量含む。	良好	褐茶色	口縁端部下半を三角形状に下方に拡張させ，内外面には，凹線状の明瞭な溝をつくる。 体部内面には，条溝が密に施されている。
－237									

E－6第3層

106	129	備前焼擂鉢			底径	1mm以下の砂粒を少量含む。	良好	暗茶褐色	体部はやや内彎しながら外方へ延びる。 内面には金具の櫛でかかれたと思われる条溝が密につけられている。
－238		底部			13.0				

B－11第3層

106	129	備前焼壺	12.5			細砂粒を多量に含む。	良好	暗茶灰色	頸部より外方に延びる口縁に一枚粘土紐をかぶせて肥厚させている。 全面ヨコナデ調整されている。
－239									

A－9第3層

106	129	備前焼壺	12.4			0.2～1mm程度の砂粒を少量含む。	良好	暗灰色	頸部は垂直に上方に延び，口縁は外面を丸く肥厚させている。 全面ヨコナデ調整されている。
－240									
106	129	〃	13.0			細砂粒を含む。	良好	黒灰色	頸部は垂直に上方に立ち上がり，口縁は外方に折りまげ，丸くおさめている。 全面ヨコナデ調整されている。
－241									

I－5第3層

106	129	備前焼甕	35.0			0.5～2mm程度の砂粒を含む。	良好	暗灰茶色	頸部は垂直に立ち上がり，口縁は外方に折りまげ，丸くおさめている。 全面ヨコナデ調整されている。
－242									

A－10第3層

挿図番号	図版番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
遺物番号									
106	129	備前焼甕	36.4			細砂粒を含む。	良好	暗灰色	頸部は垂直に立ち上がり，口縁は外方に折りまげ，丸くおさめている。全面ヨコナデ調整されている。
－243									

陶磁器

D－8第1層

107	131	唐津系皿 底部			4.2	堅緻	良好	釉 緑灰色 胎土 淡黄褐色	高台は低く削り出されている。内面見込み部分には砂目積の痕跡がみられる。釉は高台までかかっていない。
－244									

B－8第1層

107	131	陶胎染付碗	10.0			堅緻	良好	釉 淡緑灰色 胎土 灰色	体部上半は直線的に上方へ延びる。口縁端部は丸くおさめる。体部外面に発色の鈍い呉須絵を描く。カン入が著しい。
－245									

C－7第3層

107	131	陶胎染付碗			5.4	堅緻	良好	釉 淡緑灰色 胎土 灰色	高台は高く，体部は内彎しながら延びる。釉は畳付以外にかけられている。青緑色の呉須絵がかかれている。カン入が著しい。
－246									

H－4第3層

107	131	陶胎染付碗			4.3	堅緻	良好	釉 淡青灰色 胎土 灰色	高台は高く，体部は内彎しながら延びる。釉は畳付以外全面にかけられている。発色の悪い呉須絵を描く。カン入が著しい。
－247									

I－4第3層

107	131	染付碗 底部			4.0	堅緻	良好	釉 淡青灰色 胎土 白灰色	高台は高く，体部は内彎しながら延びる。釉は畳付以外全面にかけられている。体部外面には二重網目文が描かれている。呉須の発色は悪い。
－248									

H－4攪乱層

107	130	青磁染付碗 底部			4.2	堅緻	良好	釉 内面 淡青灰色 外面 淡緑色 胎土 白灰色	底部に高台が付き，体部は直線的に外方へ延びる。内面見込み部にはコンニャク印判による文様がみえる。釉は畳付以外全面にかけられている。
－249									

D－7第1層

107	130	青磁染付碗	12.0			堅緻	良好	釉 内面 淡青灰色 外面 淡緑色 胎土 灰色	体部は直線的に外方へ延び，端部は丸くおさめられている。口縁部内面には四方襷文がかかれている。
－250									

H－5第1層

107	－	青磁染付碗 底部			3.3	堅緻	良好	釉 内面 淡青灰色 外面 淡緑色 胎土 白灰色	底部には細い高台が付く。釉は高台端部以外全面にかけられている。内面見込み部には，コンニャク印判による五弁花文を持つ。
－251									

C－7第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
107	130	－252	染付皿			8.1	堅緻	良好	釉 淡緑灰色 胎土 白灰色	高台は低く，体部はやや内彎しながら立ち上がる。 内外面に呉須絵が描かれており，外面は唐草文がかかれている。 畳付のみ無釉である。 高台径は大きい。

I－5第1層

107	130	－253	染付皿			9.2	堅緻	良好	釉 淡青灰色 胎土 白灰色	高台は低く，体部はやや内彎しながら立ち上がる。 内外面に呉須絵がある。 外面は唐草文である。 畳付のみ無釉である。 高台径は大きい。

D－8第1層

107	132	－254	唐津系 刷毛目鉢	20.0			堅緻	良好	釉 緑灰色 胎土 褐茶色	口縁部は体部から屈曲して，外方へ延びたのち，上方に小さく引き出す。 体部内面には，波状の刷毛目痕が認められる。

D－9第3層

107	132	－255	唐津系 青緑釉皿	14.0			堅緻	良好	釉 内面 青緑色 外面 淡白黄色 胎土 淡白黄色	体部はやや内彎しながら口縁端部に至る。 内面見込み部には蛇ノ目釉剝ぎが施されている。 釉は高台までかかっていない。

L－3第3層

107	132	－256	唐津系 青緑釉皿			4.2	堅緻	良好	釉 淡緑青色 胎土 淡茶灰色	高台は台形状を呈し，体部は内彎ぎみに立ち上がる。 内面見込み部には，蛇ノ目釉剝ぎが施されている。 釉は高台までかかっていない。

E－7攪乱層

107	132	－257	肥前系 白磁皿			7.4	堅緻	良好	釉 青白色 胎土 灰色	高台は三角形状のものがついている。 内面には中心方向への溝状の凹みがある。

D－8第1層

107	132	－258	肥前系 染付皿	13.0			堅緻	良好	釉 青白色 胎土 灰白色	体部はやや内彎ぎみに立ち上がる。 体部内面には呉須絵が描かれている。 呉須絵の発色は鈍い。

I－4第3層

107	132	－259	染付碗			3.5	堅緻	不良	釉 濁白色 胎土 灰色	高台は細く高い上げ底状になっている。 体部は内彎しながら立ち上がる。 畳付以外は釉がかかっている。 全体に発色が悪い。

M－3第4層

107	132	－260	肥前系 陶器碗	11.6			堅緻	良好	釉 黄青色 胎土 黄灰色	体部下半は内彎し，上半は直線的に上方へ延びる。 全体にカン入が著しい。

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
107	132	−261	肥前系陶器底部			4.2	堅緻	良好	釉 黄緑色 胎土 白黄色	高台は短く削り出されている。また高台外面は斜めに削ってある。内面見込み部は蛇ノ目釉剝ぎである。釉は高台にはかかっていない。

H−5第1層

107	132	−262	白磁紅皿	4.0	1.2	1.1	堅緻	良好	釉 黄白色 胎土 灰白色	高台は底く，体部は内彎しながら立ち上がり端部は上面に面を持つ。体部外面には縦の沈線が連続してつけられる。釉は外面口縁端までである。

C−8第3層

108	133	−263	青磁碗(龍泉窯系)	14.0			堅緻	良好	くすんだ緑色	口縁部外面に雷文帯を持つ。内面にも文様を持つ。

C−9第3層

108	133	−264	青磁碗(龍泉窯系)	14.0			堅緻	良好	暗緑色	口縁部外面に雷文帯を持ち，体部内面には片切彫による草花文を持つ。

D−8第3層

108	133	−265	青磁碗(龍泉窯系)	14.0			堅緻	良好	くすんだ緑色	口縁部外面に雷文帯を持つ。

K−3第3層

108	133	−266	青磁碗(龍泉窯系)				堅緻	良好	淡緑色	口縁部内外面に片切彫による文様がある。

B−9第3層

108	133	−267	青磁碗(龍泉窯系)				堅緻	良好	くすんだ緑色	体部外面に鎬蓮弁を持つ。口縁端部はやや外反する。

D−6第3層

108	133	−268	青磁碗(龍泉窯系)				堅緻	良好	淡緑色	体部外面に鎬蓮弁を持つ。カン入が顕著である。

C−10第3層

108	133	−269	青磁碗(龍泉窯系)				堅緻	良好	暗緑色	体部外面に鎬蓮弁を持つ。口縁端部はやや外反する。

D－9第3層

挿図番号	図版番号	遺物番号	器種	法量(cm) 口径	器高	高台径	胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
108	134	－270	白磁碗				堅緻	良好	灰黄白色	口縁部外面に小さめの玉縁を持つ。釉は比較的薄い。体部はやや内彎ぎみに延びる。

A－9第3層

108	134	－271	白磁碗	14.4			堅緻	良好	灰黄白色	口縁部外面に大きめの玉縁を持つ。

D－10第3層

108	134	－272	白磁碗底部			7.0	堅緻	良好	灰黄白色	高台は厚く,削り出しはわずかである。釉は高台にかかっていない。

C－9第3層

108	134	－273	白磁碗底部			8.2	堅緻	良好	灰黄白色	高台は厚く，削り出しはわずかである。

B－11第3層

108	134	－274	白磁碗底部			6.6	堅緻	良好	灰白色	高台は厚いが高く削り出し，端部はやや細く作られている。

C－10第3層

108	135	－275	青磁碗(同安窯系)	16.0			堅緻	良好	緑白色	体部上位で若干内側に屈曲し，その内面には沈線を持つ。内面には櫛目文様を持つ。
108	135	－276	白磁皿底部			底径 3.6	堅緻	良好	緑白色	底部はやや上げ底状を呈する。体部上位で内彎し，その屈曲部の内面に沈線状の段を有する。内底見込みに草花文様が彫られている。
108	136	－277	青磁碗(越州窯系)			底径 5.4	堅緻	良好	くすんだ緑色	胎土は硬質である。緑色の釉がかかっている。蛇ノ目高台の底部である。

D－10第3層

108	136	－278	須恵器碗底部			底径 7.0	堅緻	良好	青灰色	蛇ノ目高台の底部を呈する。

石製品

挿図番号 / グリッド名 出土土層名	図版番号 / 遺物番号	器種	石材	法量(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	観察
109 / A-8第1層	137 / −279	石鏃	サヌカイト	(30.02)	(21.95)	3.55	(1.35)	凹基無茎式 側辺は直線状で,平面形は二等辺三角形を呈する。 くりこみはV字状で深い。
109 / C-8第3層	137 / −280	〃	〃	(18.45)	(16.70)	3.25	(1.00)	凹基無茎式 側辺は外彎弧をなし,平面形は逆ハート形を呈する。 くりこみはU字状でやや深い。
109 / C-10第3層	137 / −281	〃	〃	(15.40)	(13.25)	3.25	(0.44)	凹基無茎式 側辺は直線状で平面形は三角形を呈する。 くりこみはU字状で浅い。
109 / C-10第3層	137 / −282	〃	〃	(20.09)	(16.70)	4.95	(1.08)	凹基無茎式 側辺は直線状で平面形は二等辺三角形を呈する。 くりこみはU字状で浅い。
109 / C-10第3層	137 / −283	〃	〃	21.00	14.10	2.95	0.77	平基無茎式 側辺は直線状で平面形は二等辺三角形を呈する。
109 / C-10第3層	137 / −284	〃	〃	25.45	14.40	3.35	1.29	凹基無茎式 側辺は外彎弧をなし平面形は二等辺三角形状を呈する。 くりこみはU字状で浅い。
109 / C-10第3層	137 / −285	不明 (石鏃?)	〃	33.60	17.85	3.00	1.98	成作途中の石鏃の可能性。 両側辺部に裏側一方からの調整がある。
109 / D-8第3層	137 / −286	石鏃	〃	29.25	(28.40)	3.65	(1.95)	凹基無茎式 側辺は外彎弧をなし，平面形は二等辺三角形状を呈する。 くりこみはU字状で浅い。
109 / D-10第3層	137 / −287	〃	〃	(14.15)	(11.65)	3.85	(0.41)	凹基無茎式 側辺は直線状で平面形は二等辺三角形を呈する。 くりこみはU字状でやや深い。
109 / D-10第3層	137 / −288	〃	〃	(22.25)	(10.90)	2.20	(0.46)	凹基無茎式 側辺は外彎弧をなし，平面形は二等辺三角形状を呈する。 くりこみはU字状で浅い。
109 / F-7第1層	137 / −289	〃	〃	19.30	(18.00)	3.70	(0.91)	凹基無茎式 側辺は内彎弧をなし，平面形は三角形状を呈する。 くりこみはV字状で深い。
109 / D-7，E-7 SH03	137 / −290	〃	〃	23.35	11.45	2.70	0.75	平基無茎式 側辺は外彎弧をなし，平面形は二等辺三角形状を呈する。
109 / E-9SK11	137 / −291	〃	〃	(13.95)	14.30	2.75	(0.45)	凹基無茎式 側辺は直線状をなしている。先端は欠損している。 側辺は調整によりノコギリ状になっている。 くりこみはV字状で深い。
109 / H-5第1層	137 / −292	砥石	安山岩	(77.50)	(72.85)	(29.15)	(277.25)	下半分は欠損している。 研ぎ面は全ての面にあったと思われ，面の中央部は凹んでいる。

図　　版

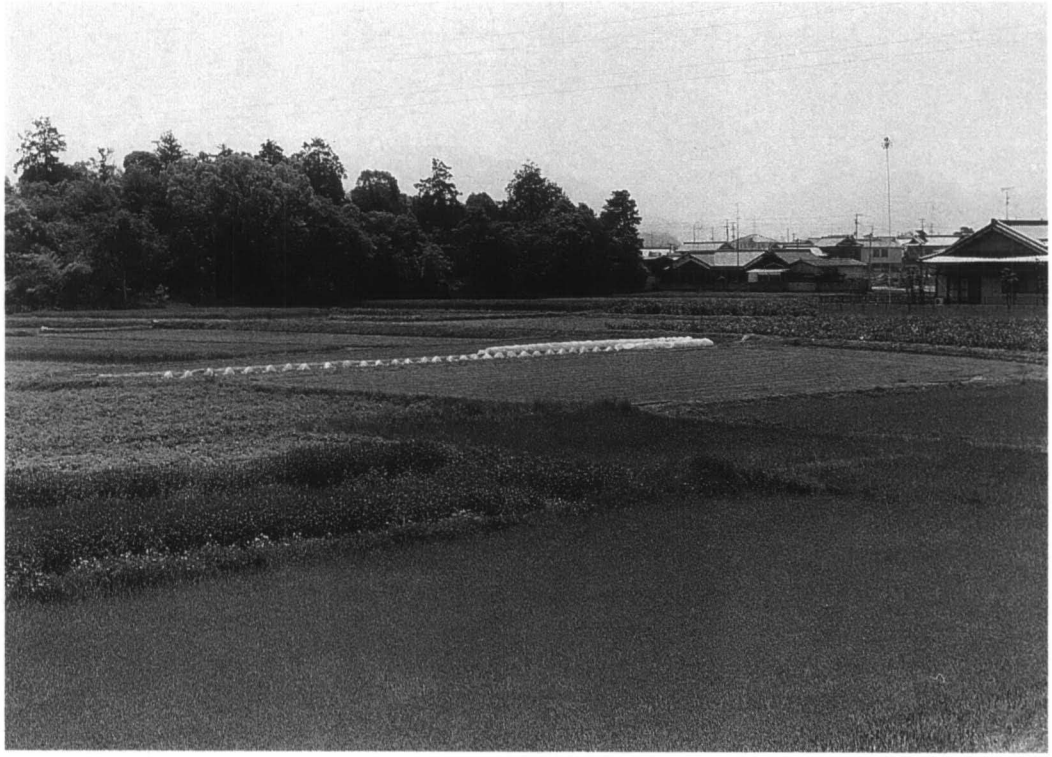
(1)石田遺跡調査区遠景（北西より）

(2)石田遺跡調査区遠景（南東より）

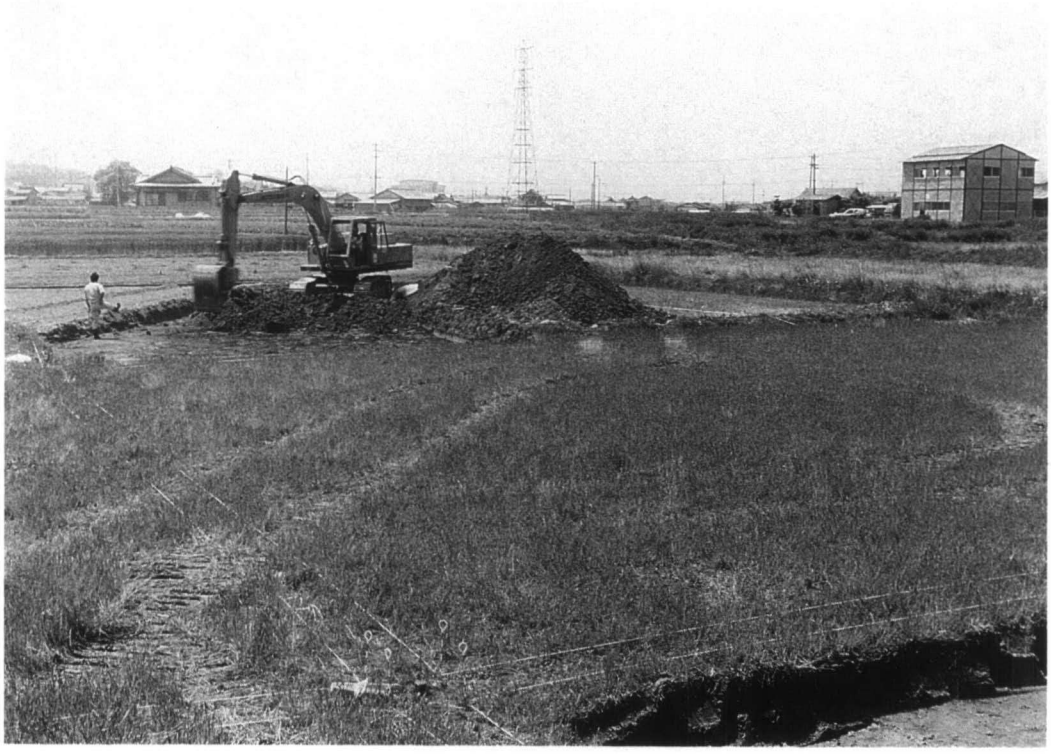
図版　2

(1)調査区発掘風景

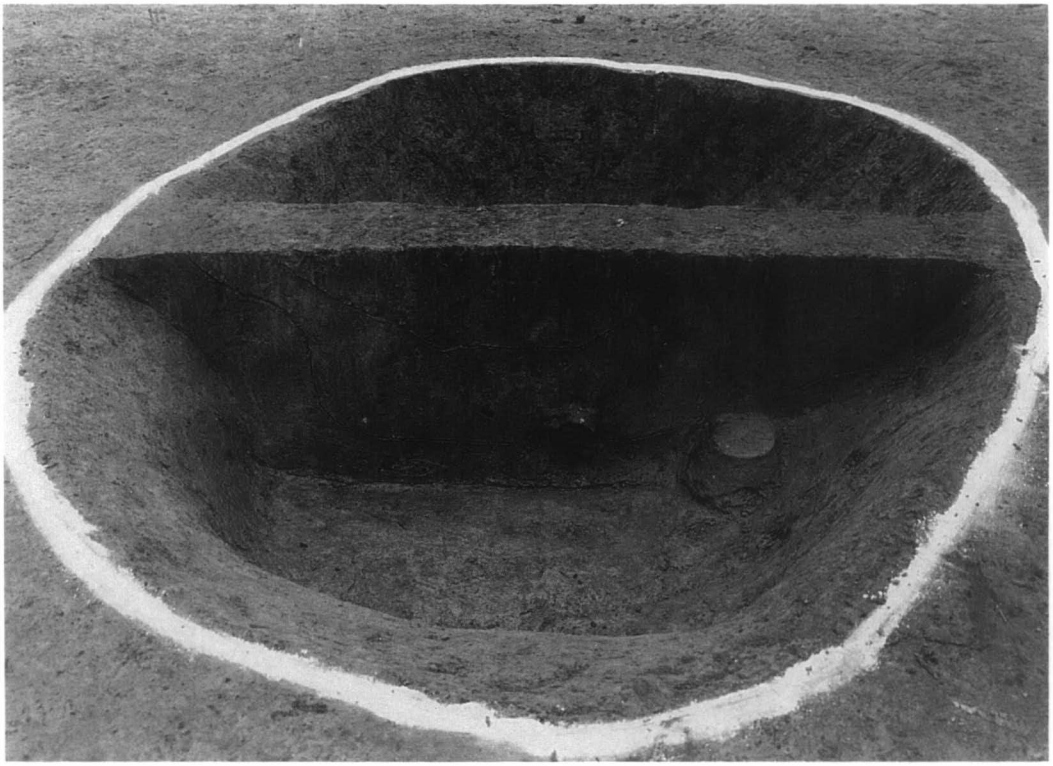
(2)調査区発掘風景



(1)調査区発掘調査前風景

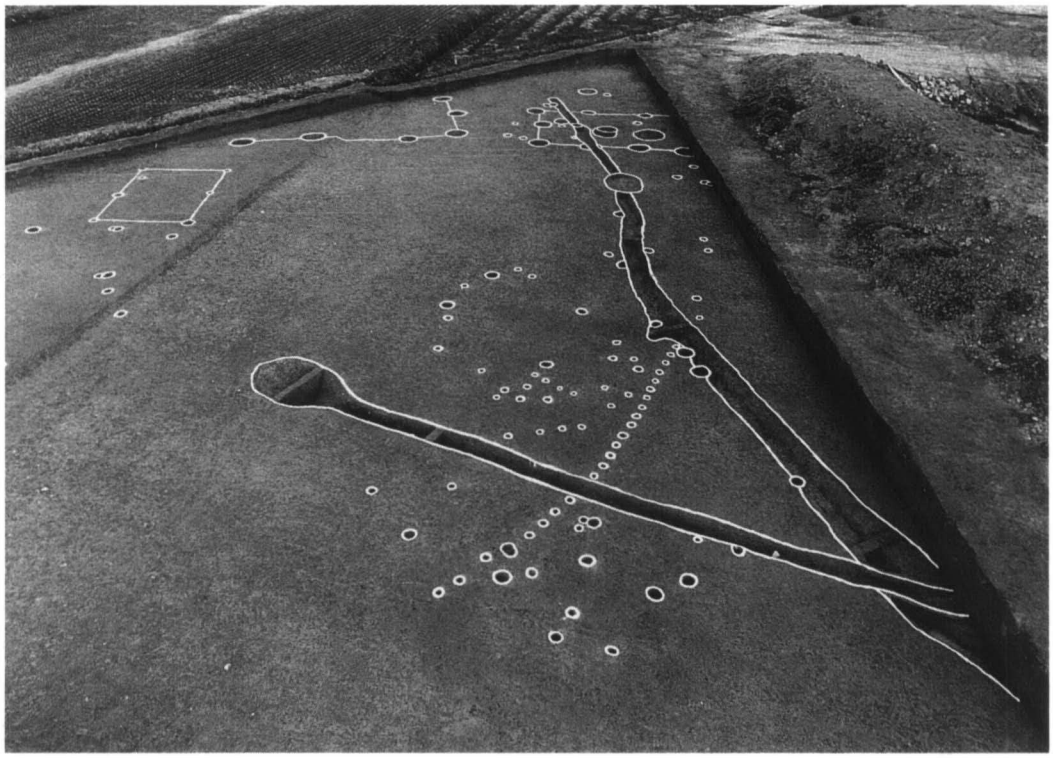


(2)調査区表土剝ぎ

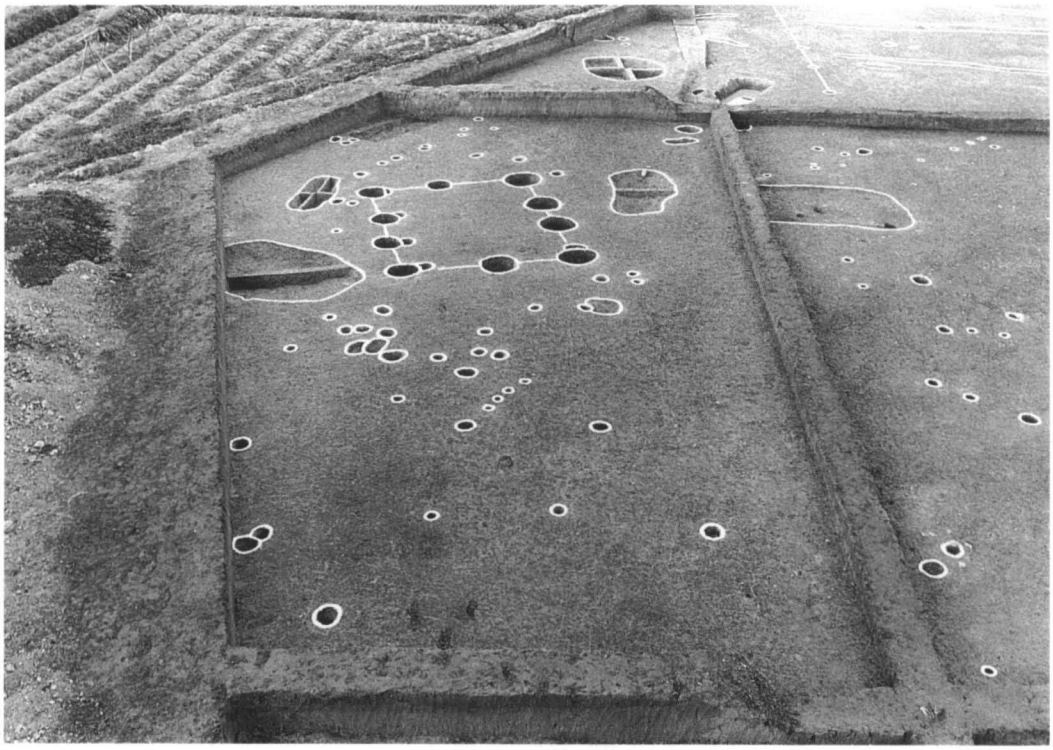


(1) ＳＫ15土層断面

(2) ＳＫ15遺物出土状況

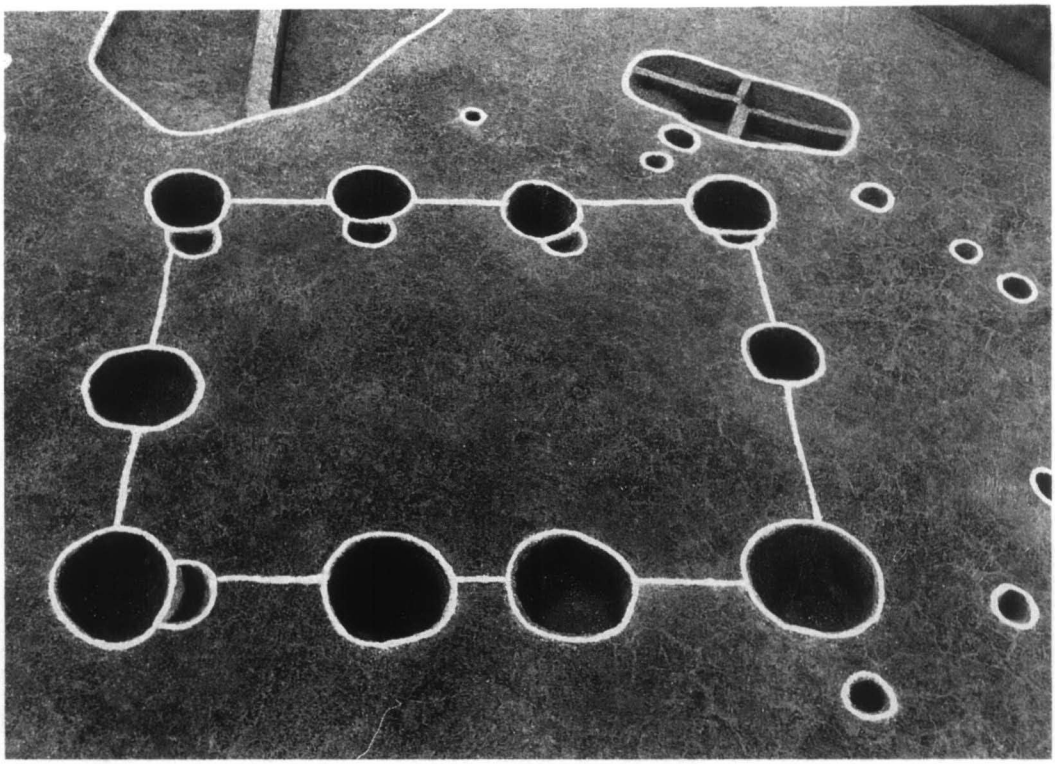


(1) S B 09・10・11検出状況

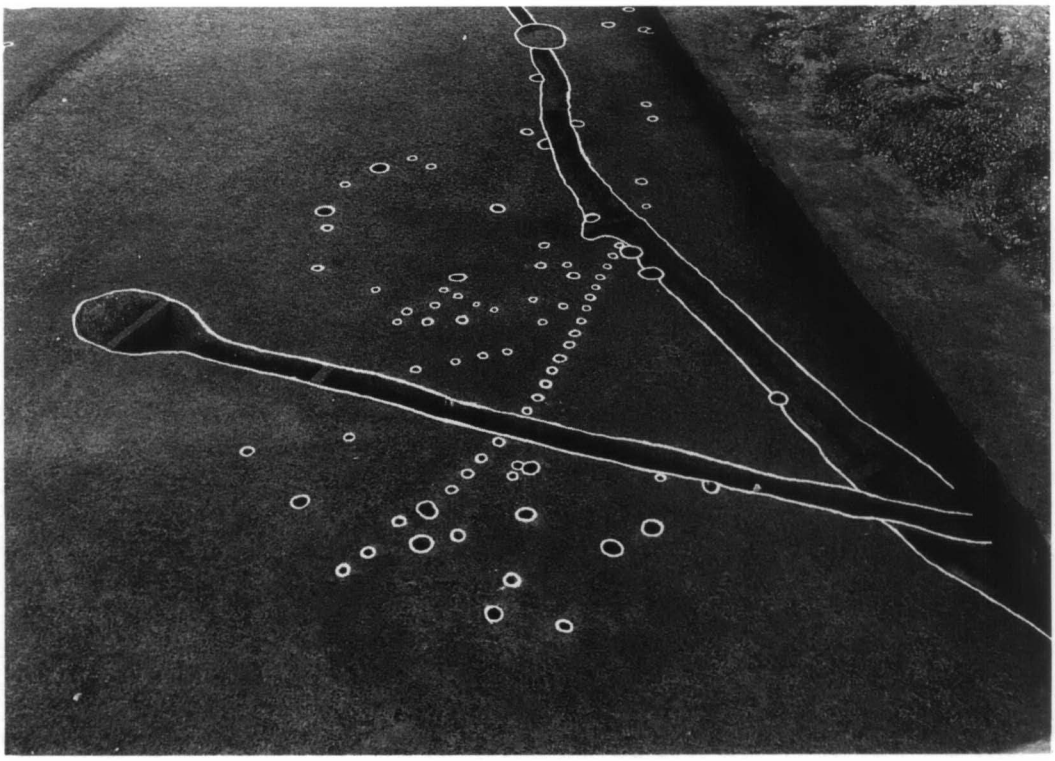


(2) H － 7 遺構検出状況

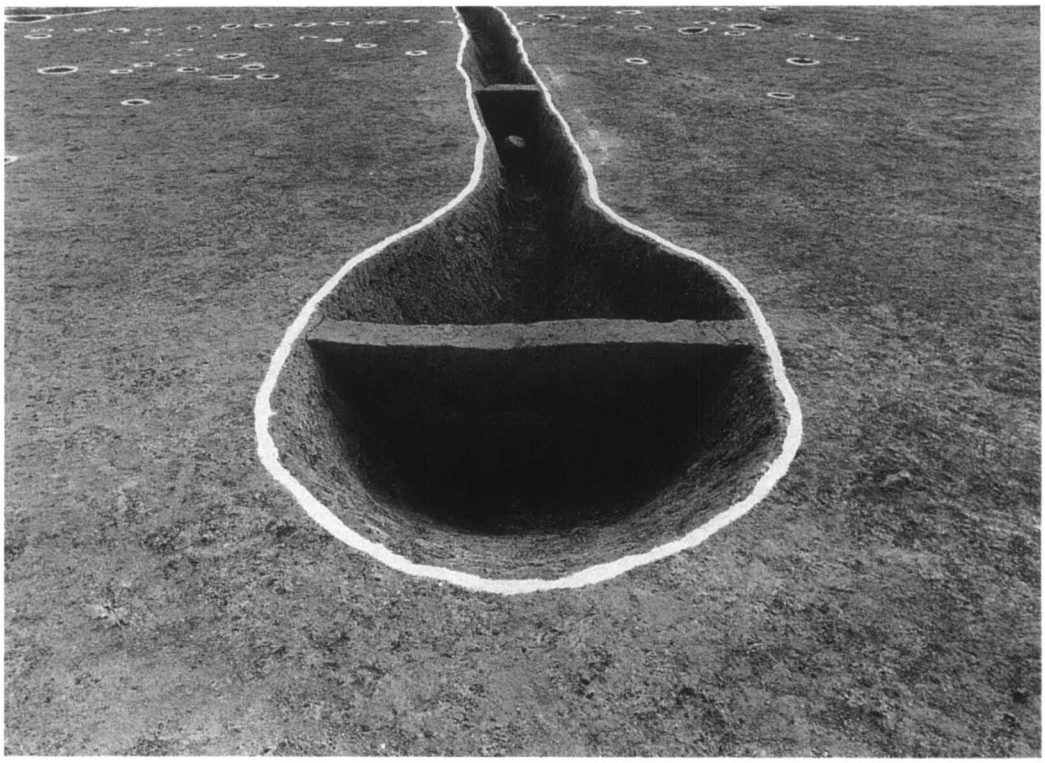
図版　6



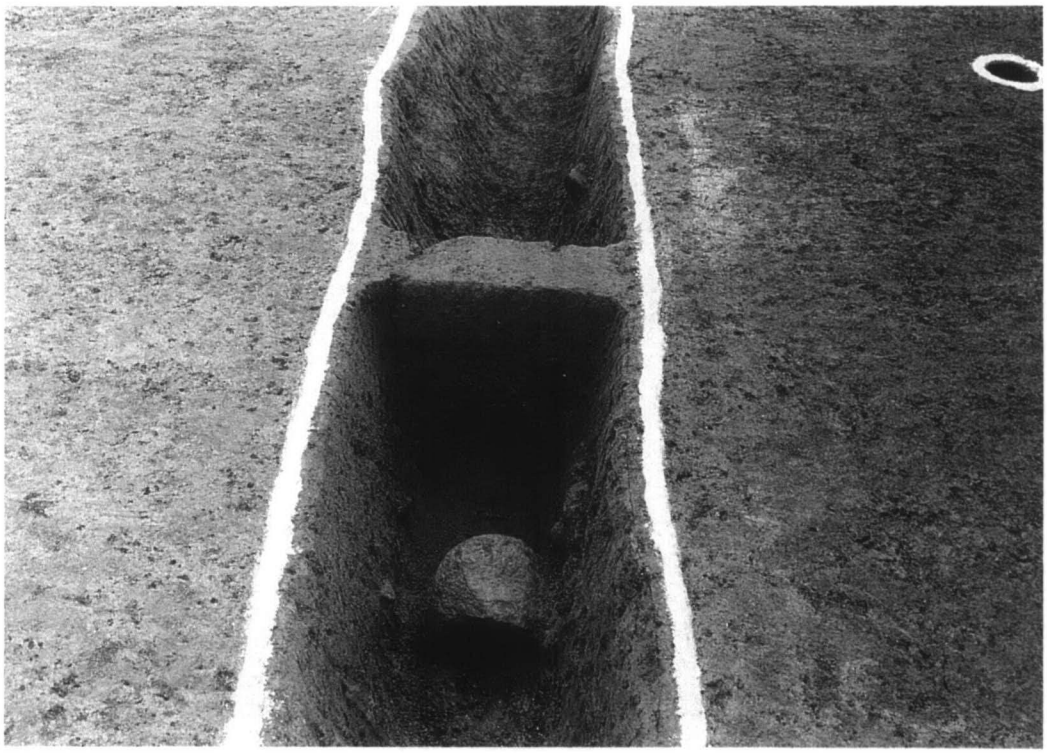
(1) ＳＢ08検出状況



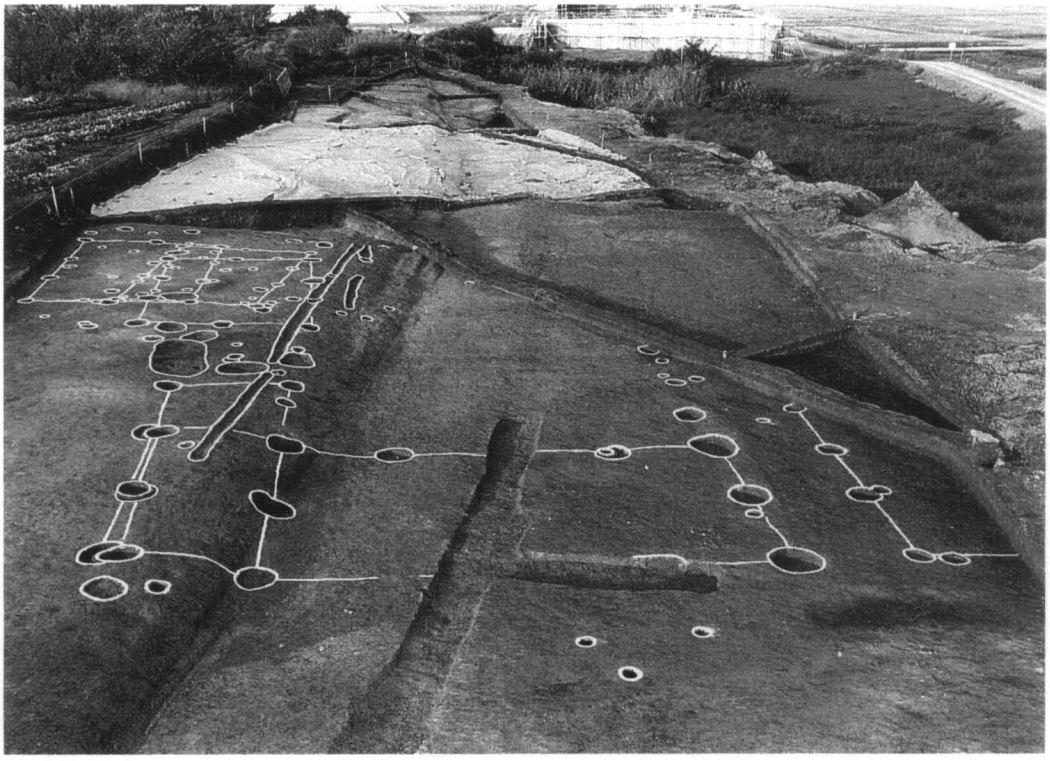
(2) ＳＫ06・ＳＤ23・ＳＡ02検出状況



(1) ＳＫ06検出状況



(2) ＳＤ23検出状況

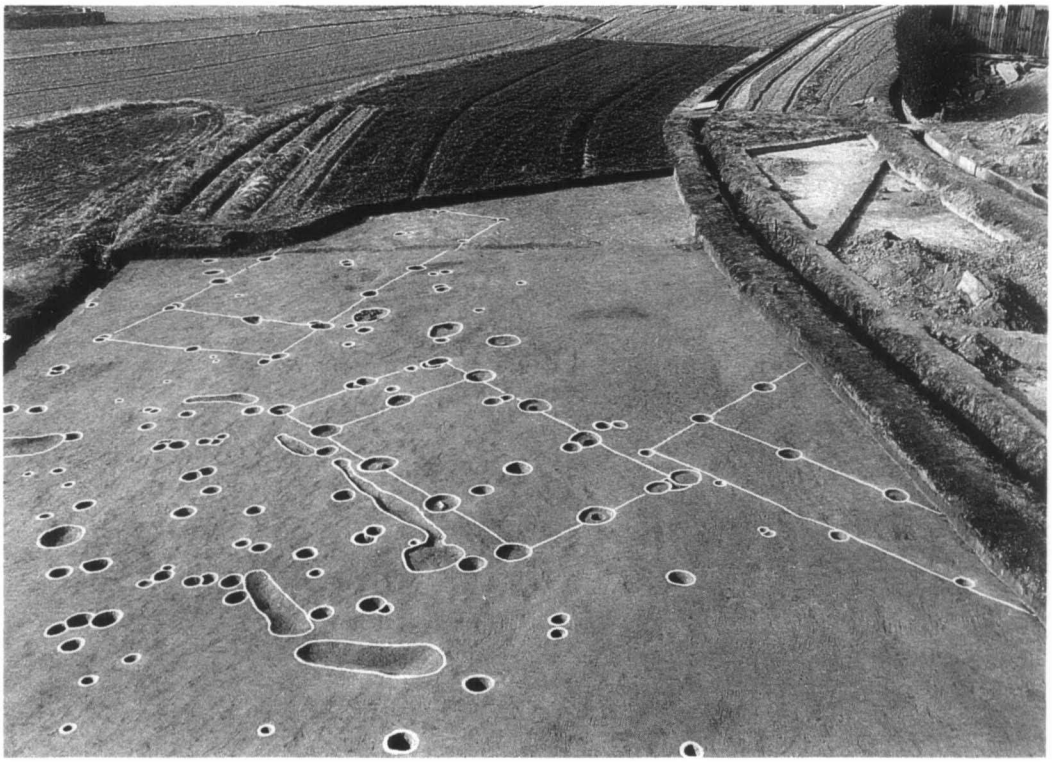


(1) S B01・02・03・04・05・06検出状況

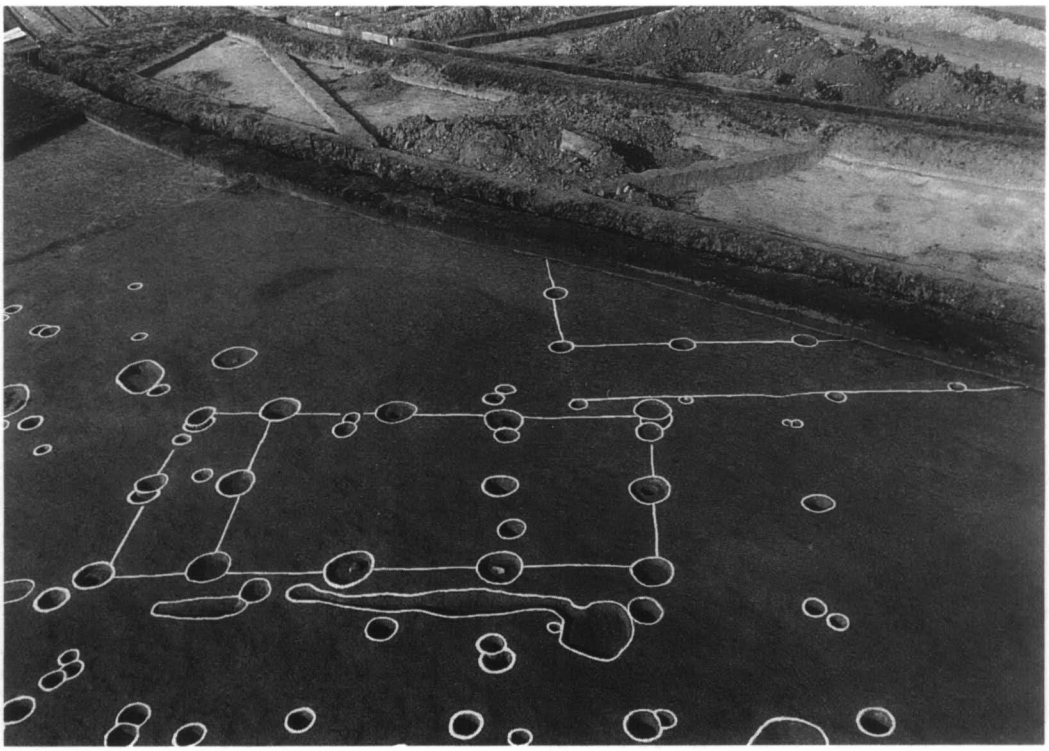
(2) F－8，G－7・8，H－7・8，I－7・8遺構検出状況

(1)F－8，G－8遺構検出状況

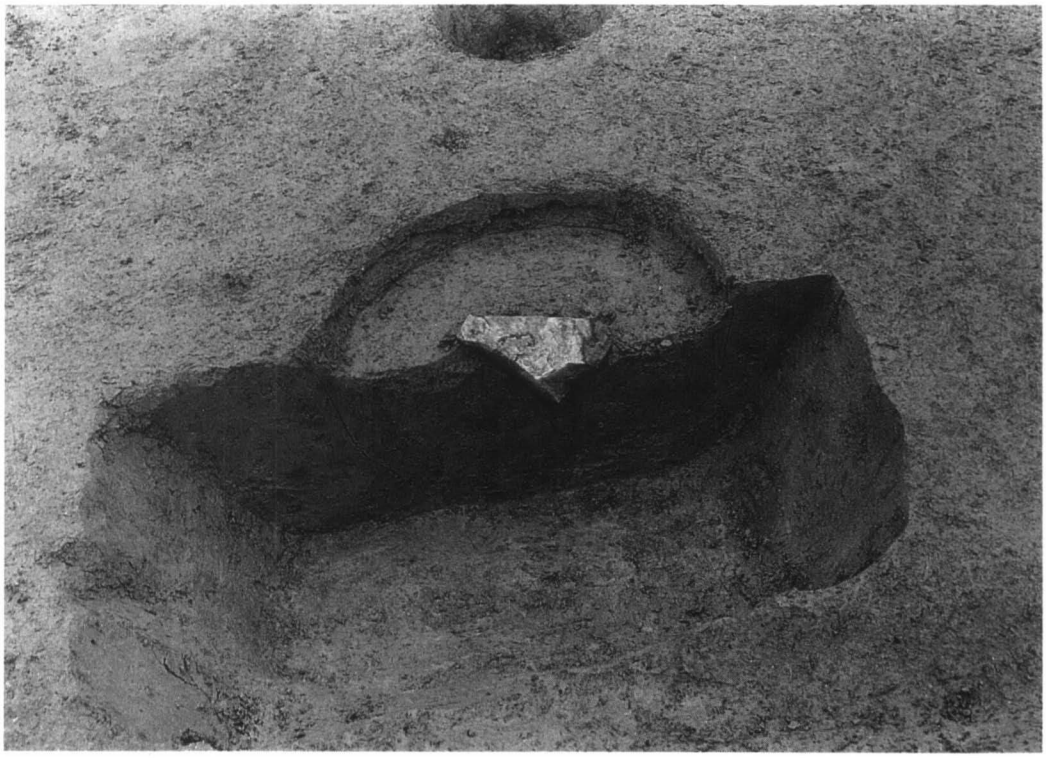
(2)G－9遺構検出状況



(1) S B 14・15・16,　S A 03検出状況

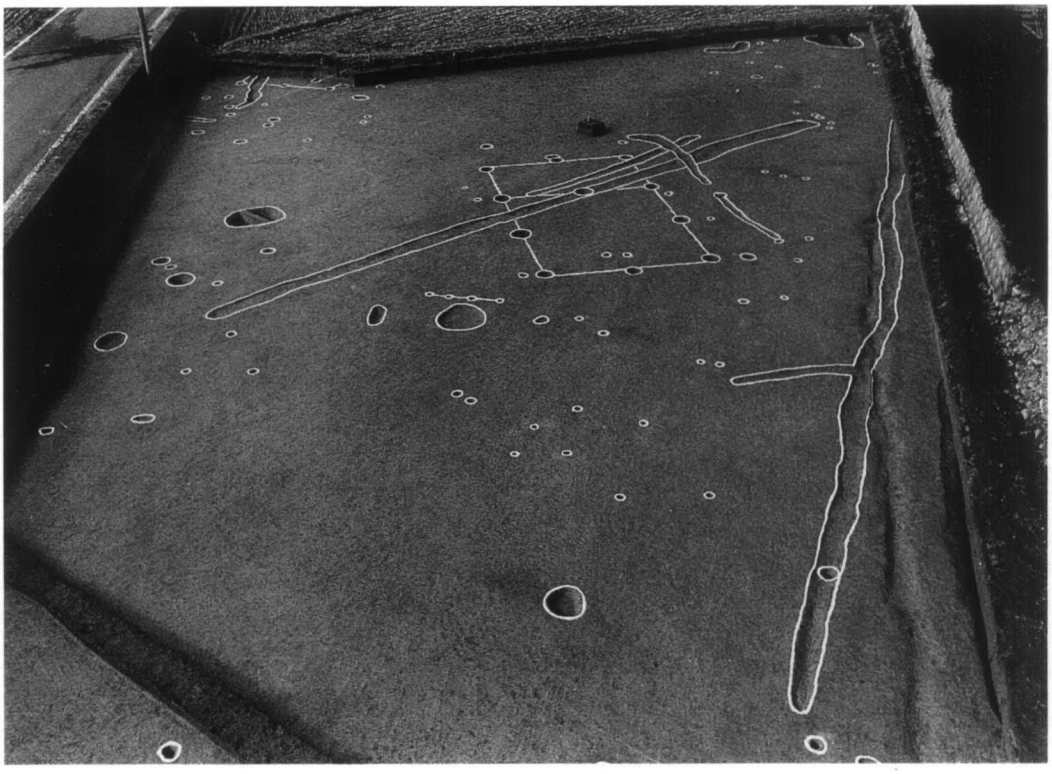


(2) S B 15・S A 03,　S B 16・S D 31検出状況

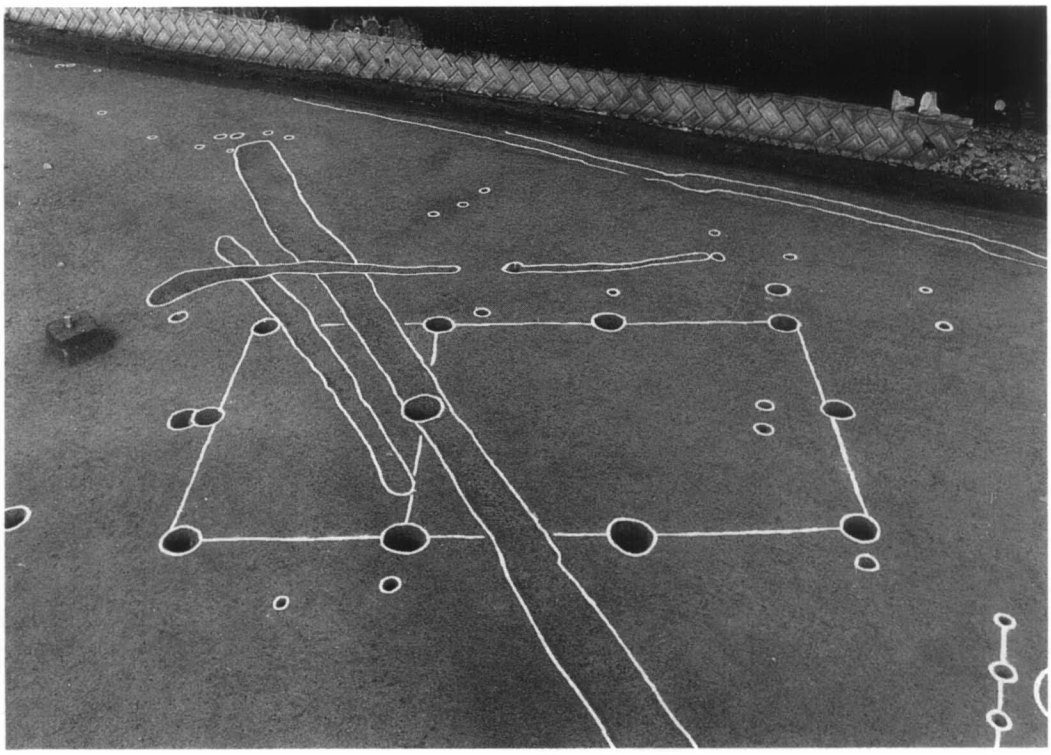


(1) ＳＢ16柱穴検出状況

(2) ＳＫ11検出状況



(1)N－3，O－3遺構検出状況



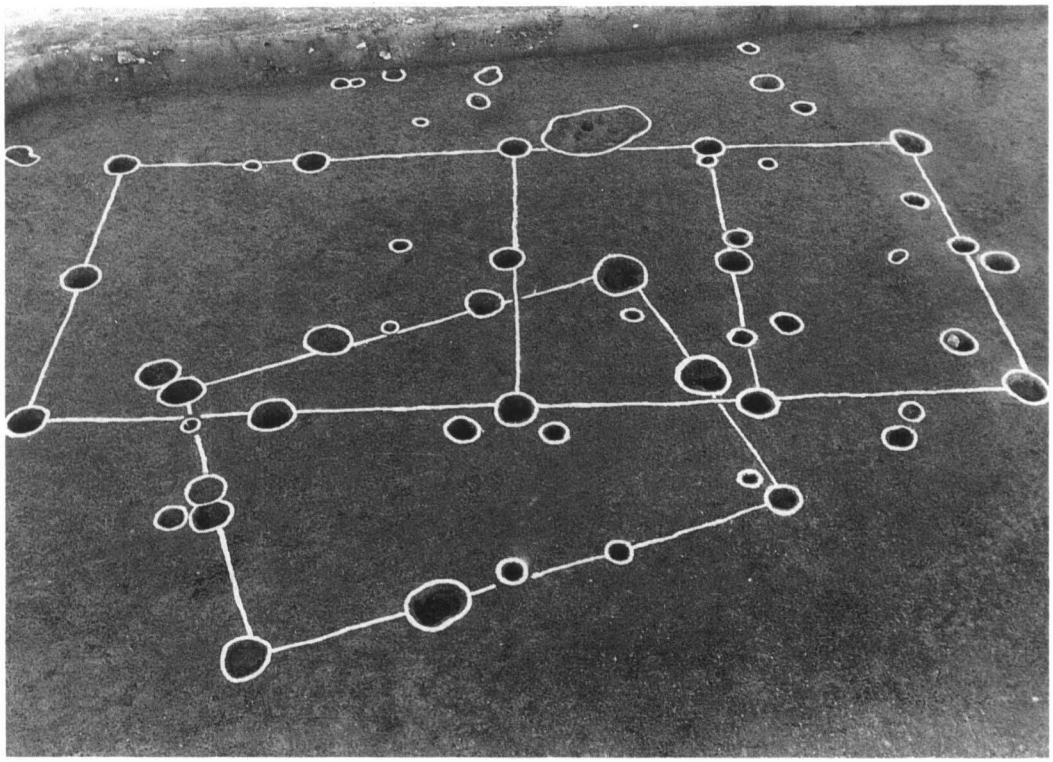
(2)ＳＢ20・ＳＤ36検出状況

(1)Q－3，R－3遺構検出状況

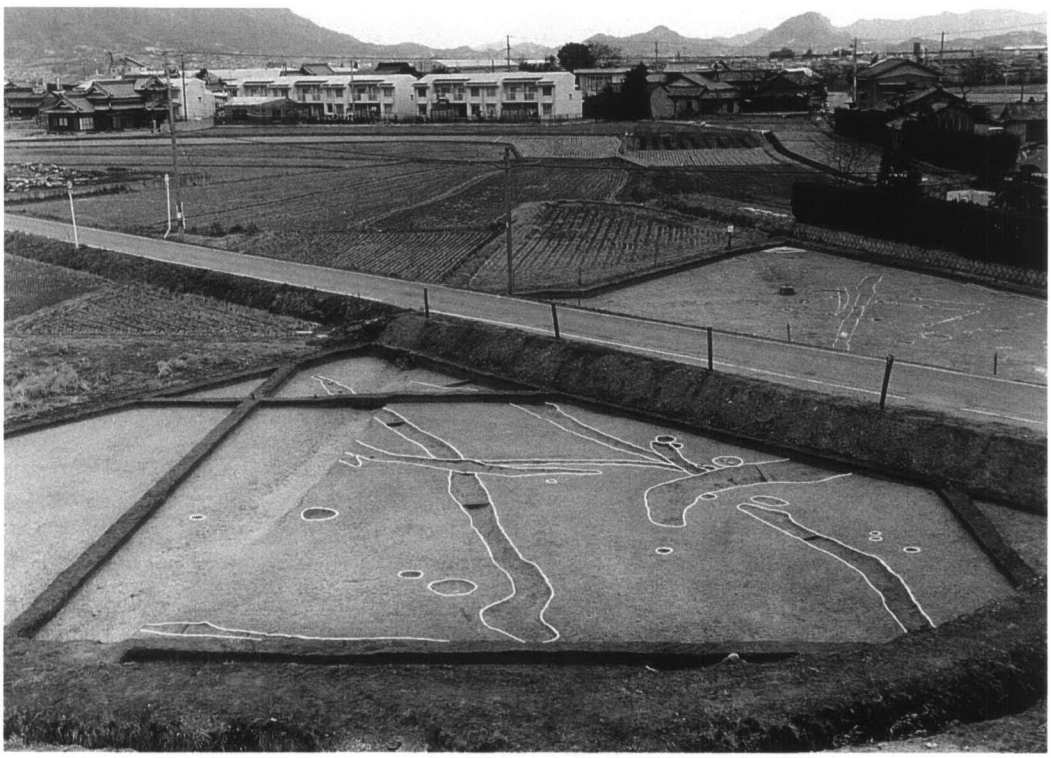
(2)ＳＤ63検出状況

(1) J－6，K－6遺構検出状況

(2) S D29遺物出土状況

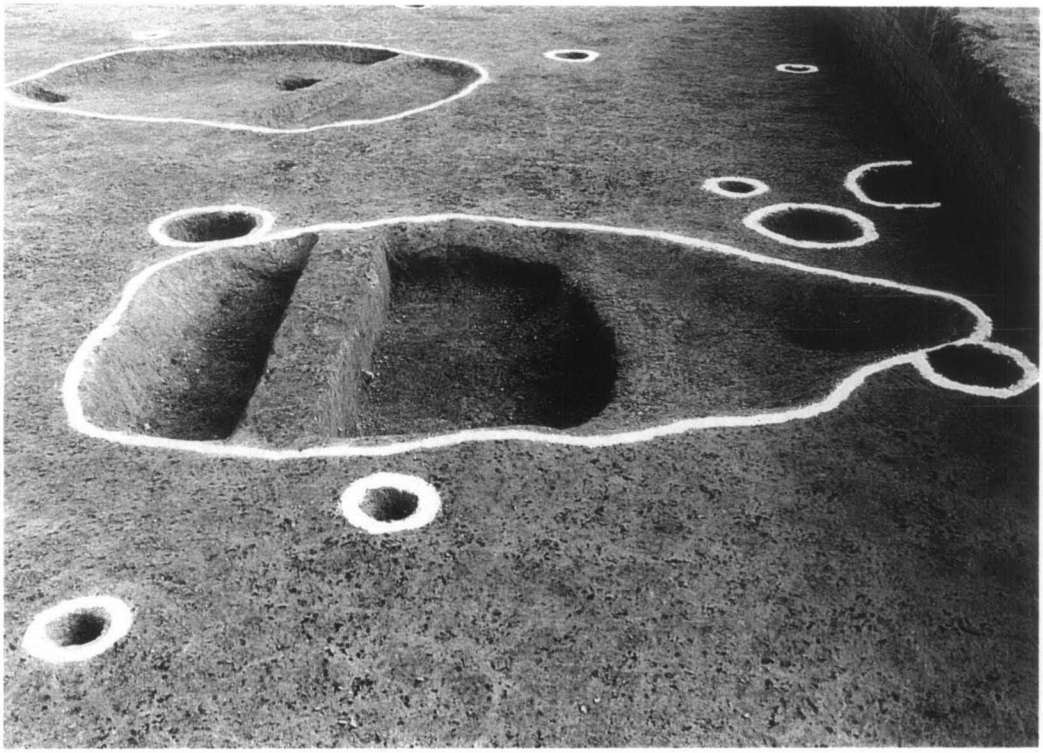


(1)ＳＢ12・13検出状況

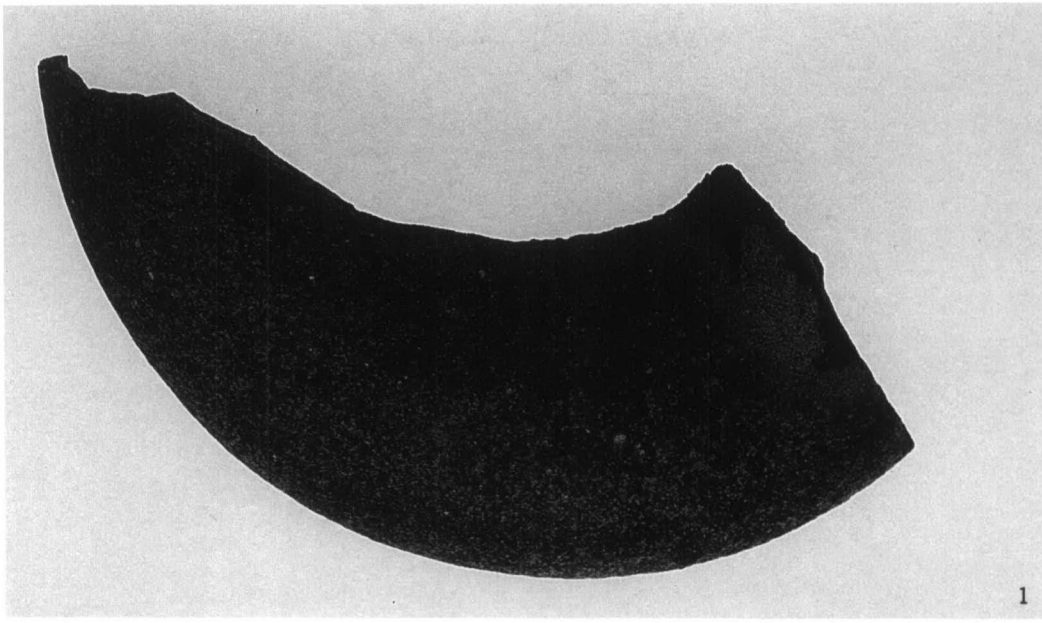


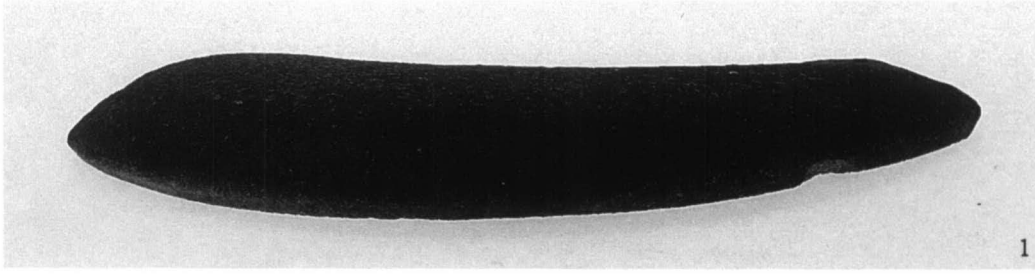
(2)Ｏ－２，Ｐ－２遺構検出状況

(1) ＳＤ17検出状況

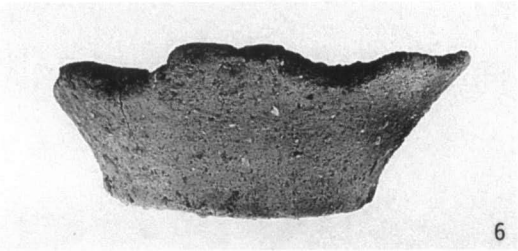


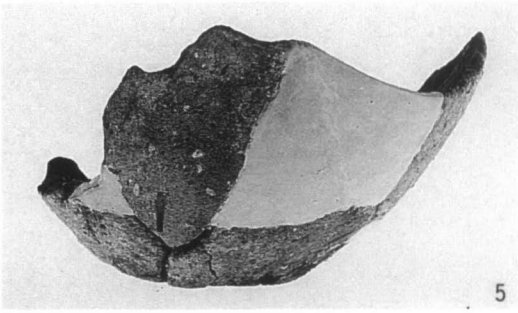
(2) ＳＫ05検出状況

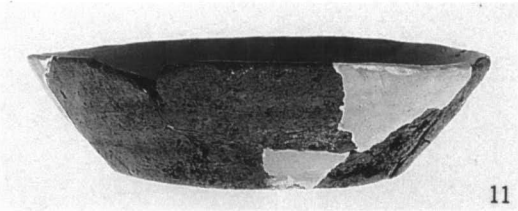


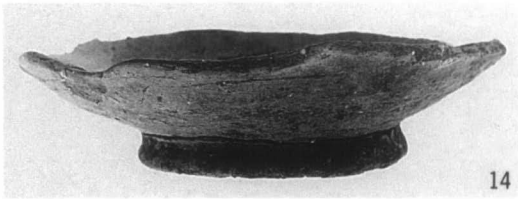


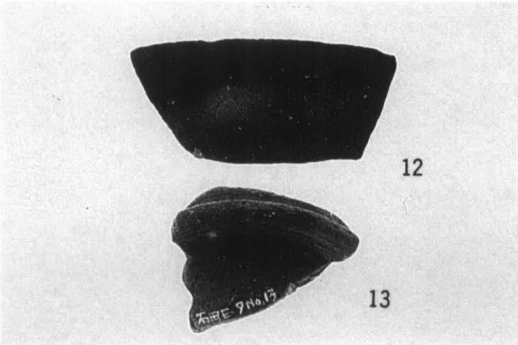
調査区周辺出土遺物（山本町菅生神社宮司　真屋哲氏所蔵）

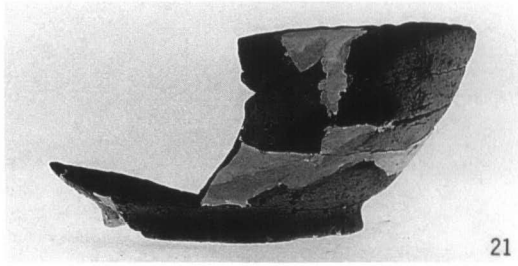


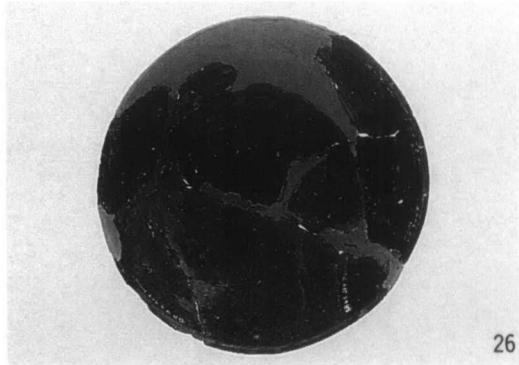


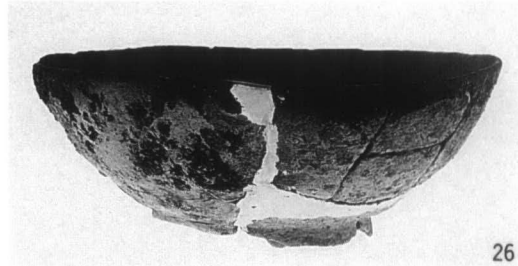




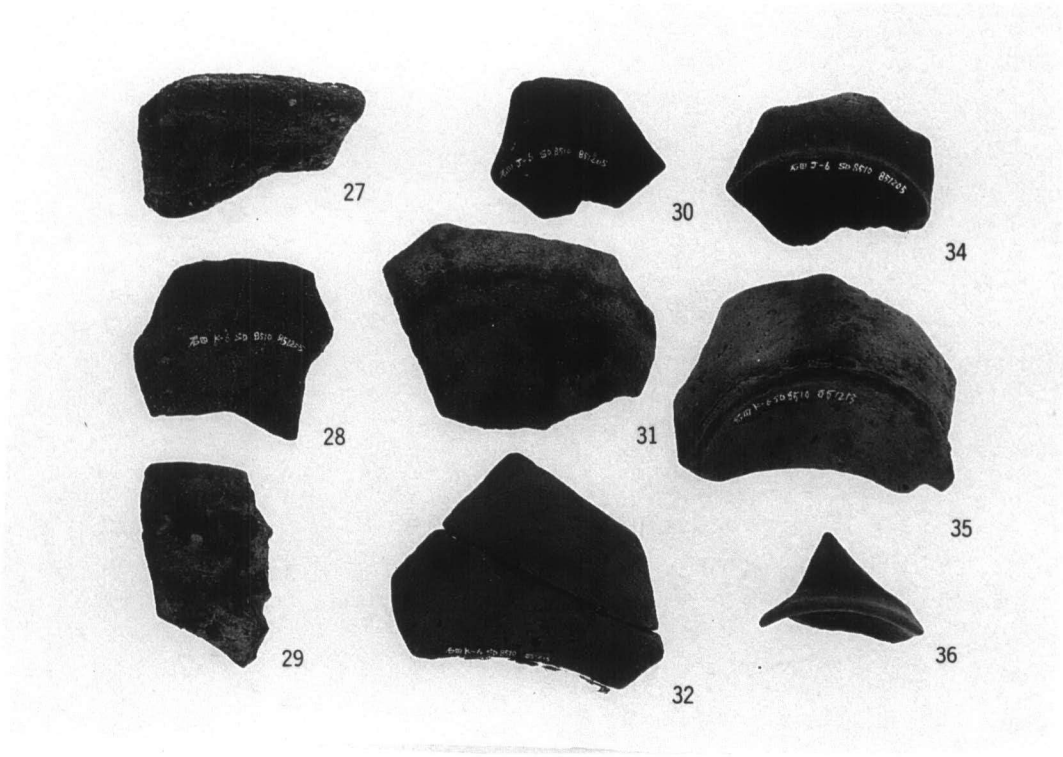


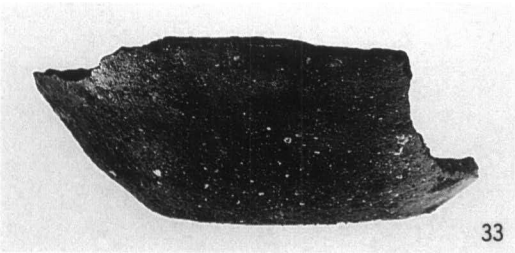


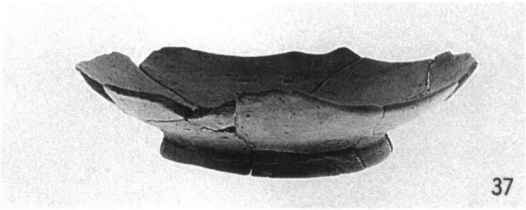


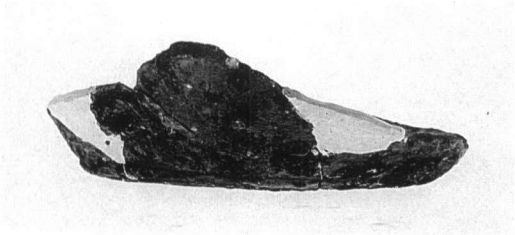


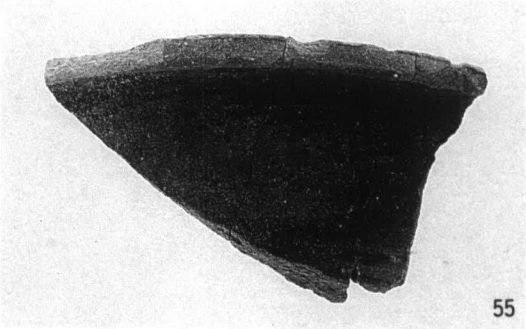
ＳＫ15，ＳＤ35，ＳＢ16，ＳＢ02，ＳＤ13・36・42・53・61，ＳＫ11出土遺物



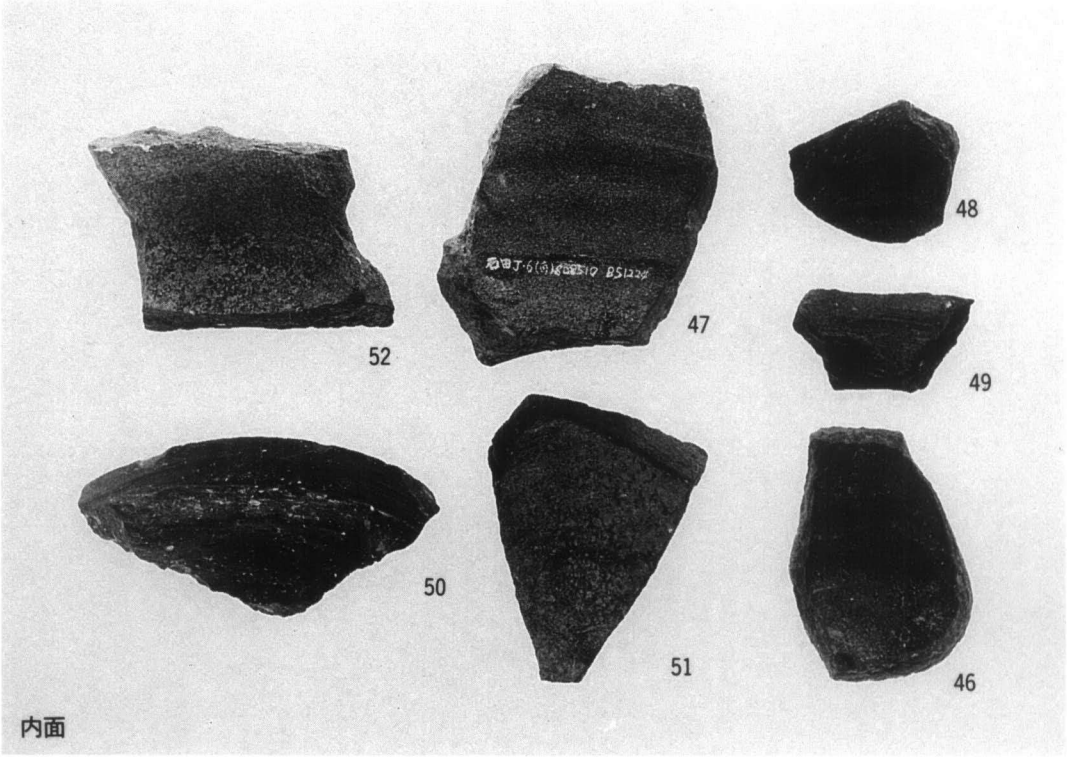


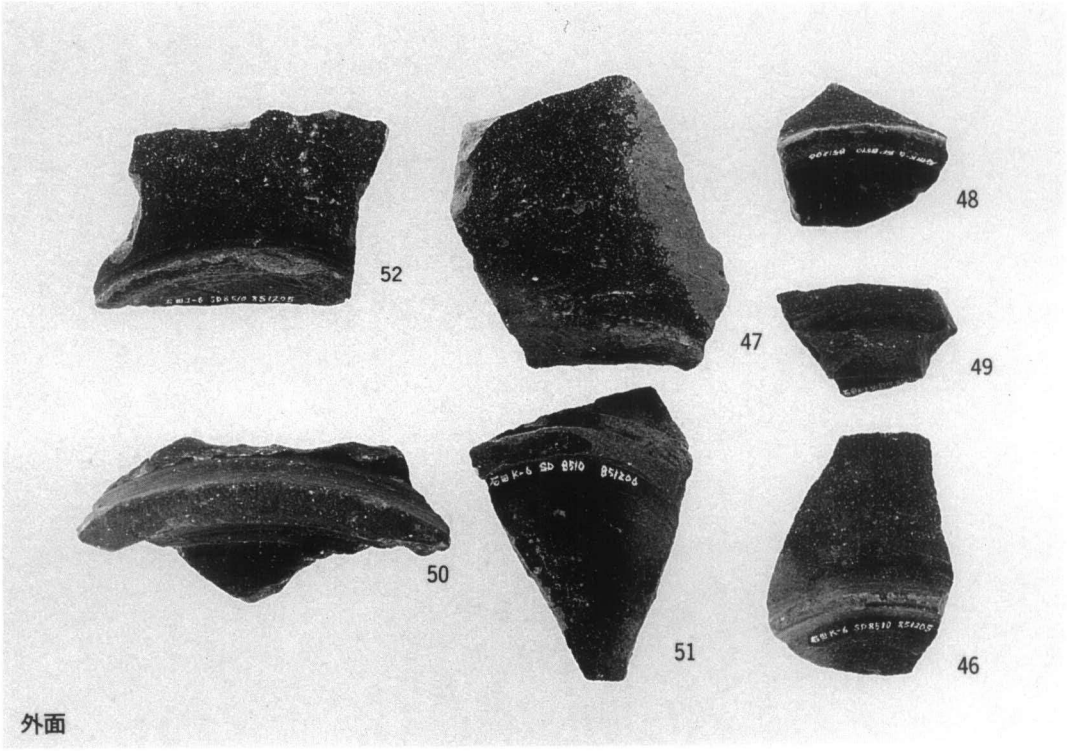




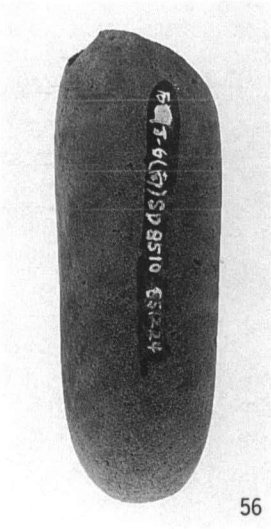


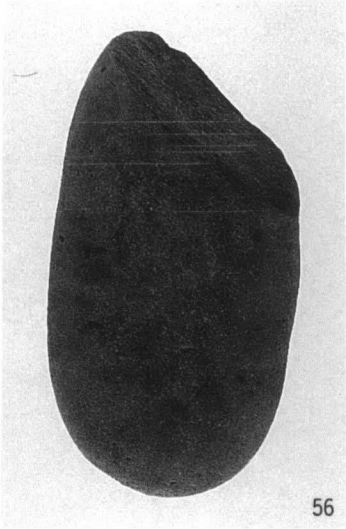
ＳＤ29出土遺物①

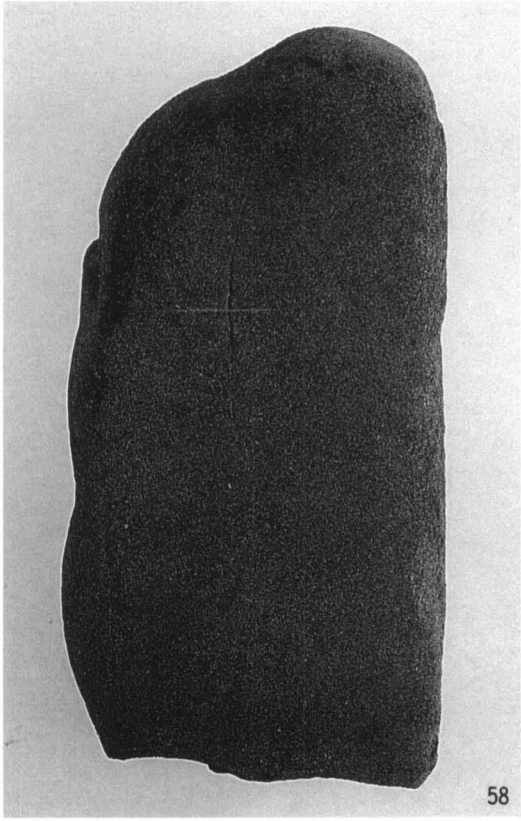


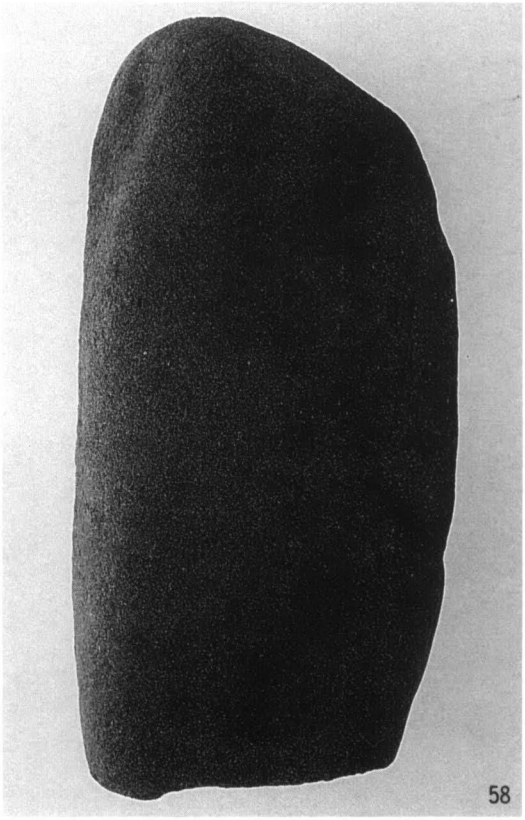


ＳＤ29出土遺物②

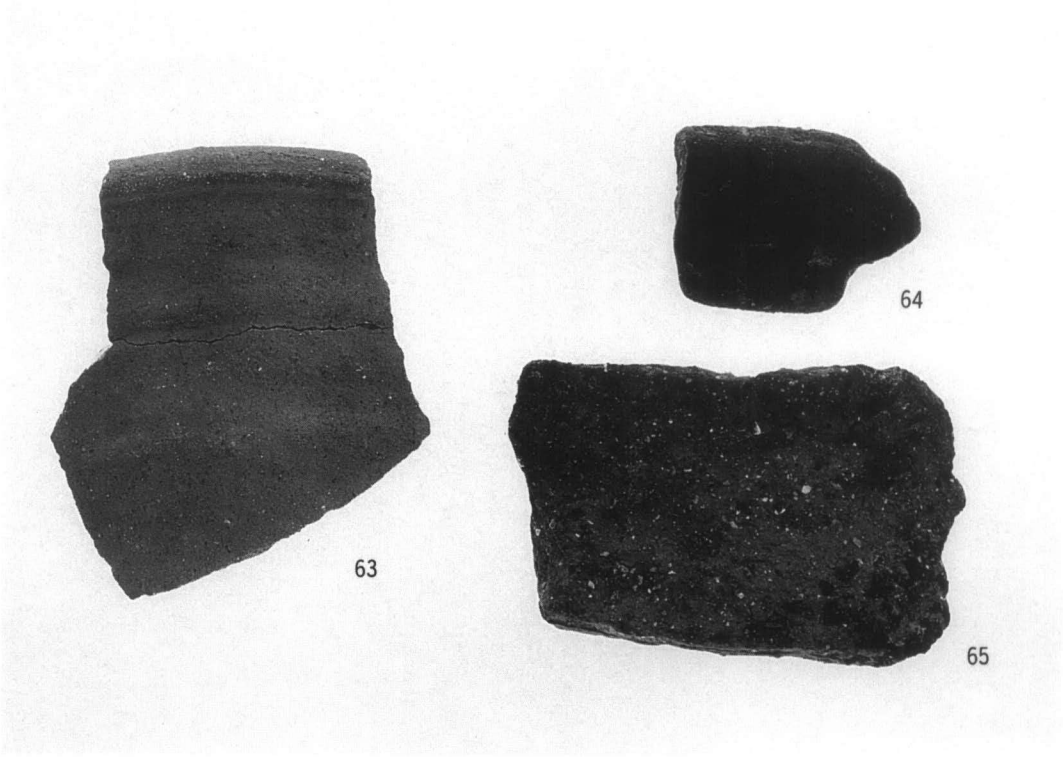




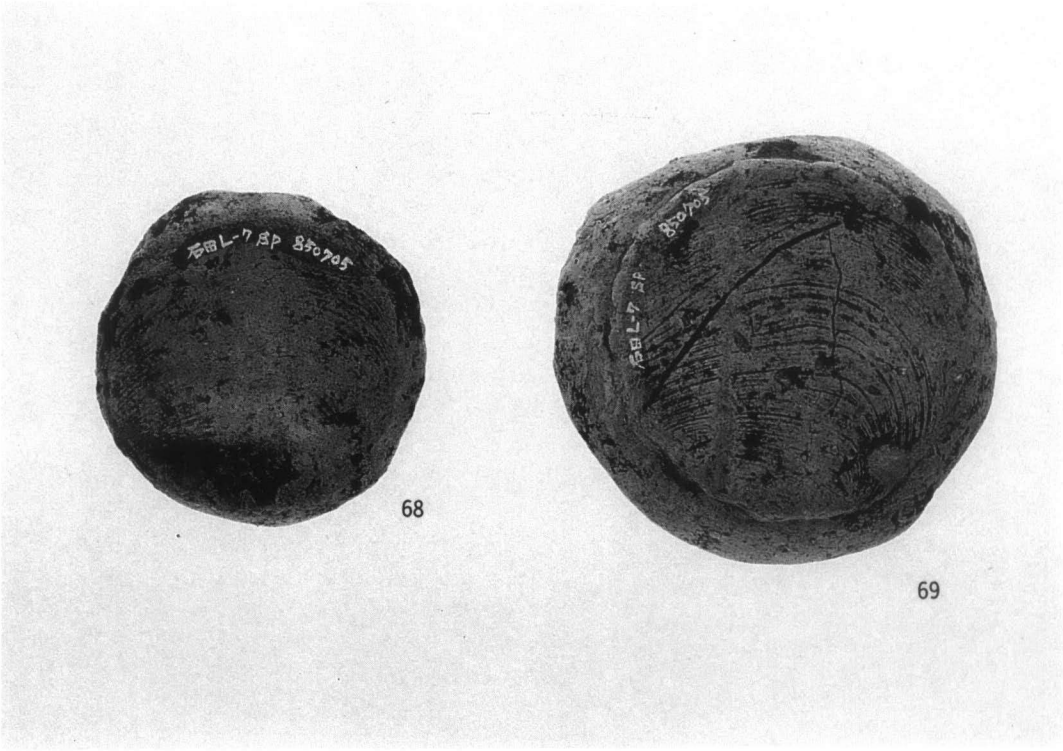




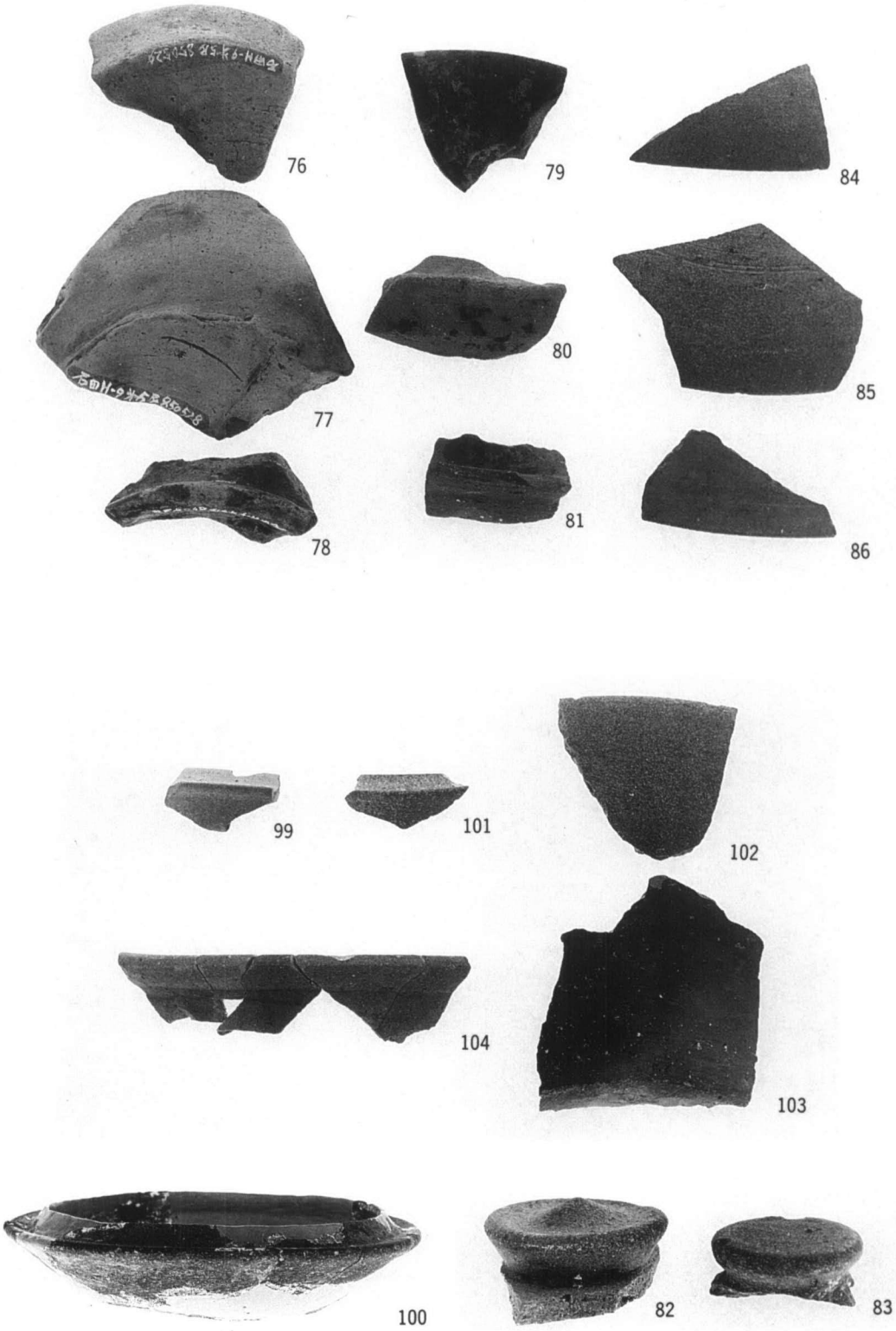
ＳＤ29出土遺物③



(1) ＳＫ09出土遺物

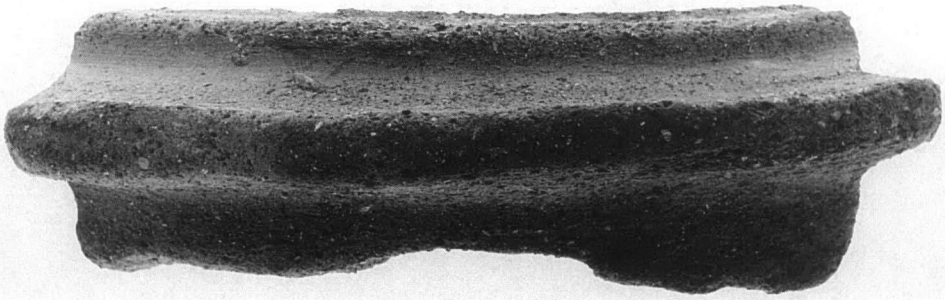


(2) ＳＴ02出土遺物



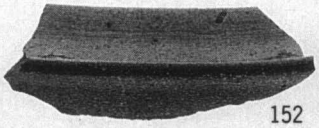
G－9，H－9包含層出土遺物

131

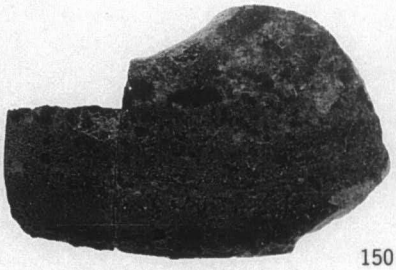


131

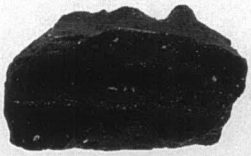
149



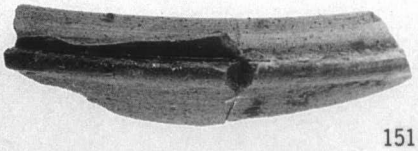
152



150

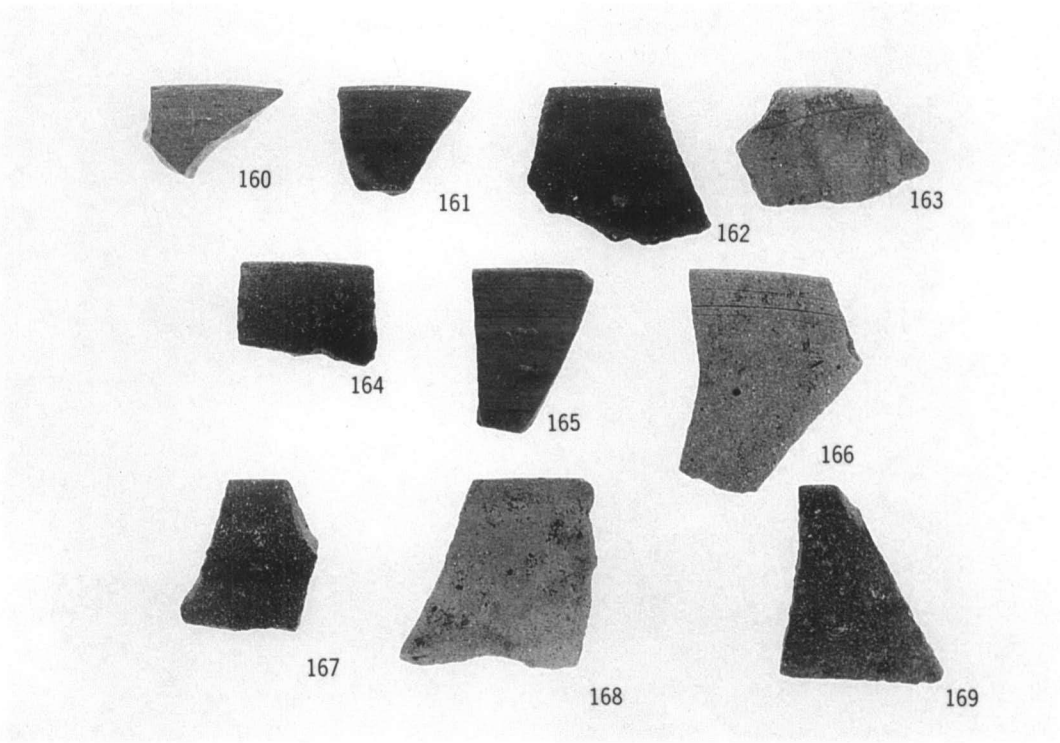


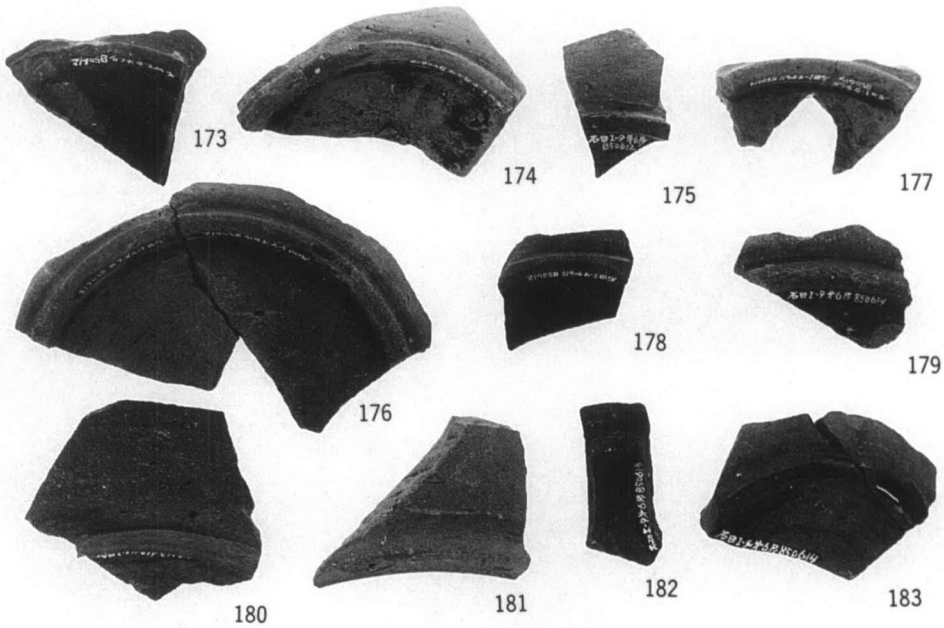
153



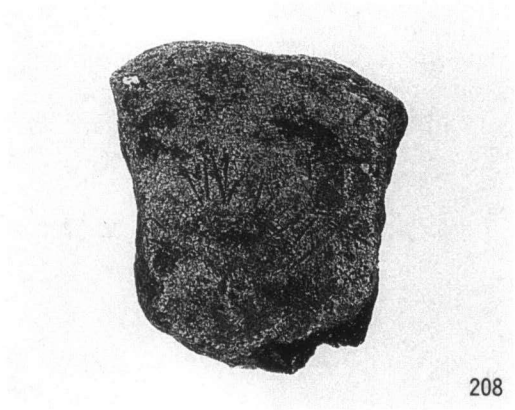
151

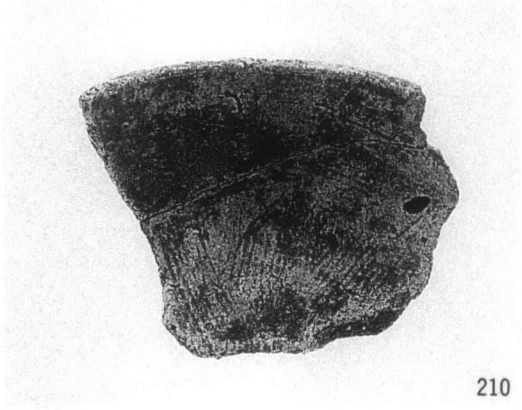
Ⅰ－９包含層出土遺物①

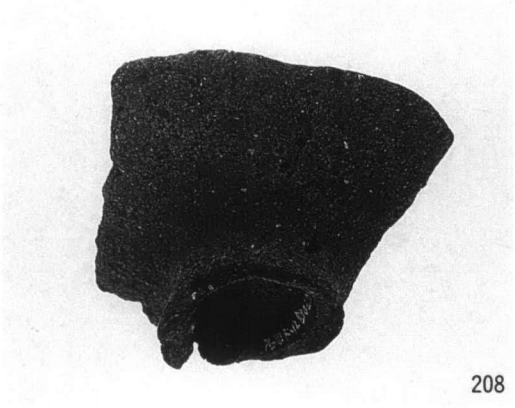

160
161
162
163
164
165
166
167
168
169


173
174
175
177
176
178
179
180
181
182
183

Ⅰ－９包含層出土遺物②

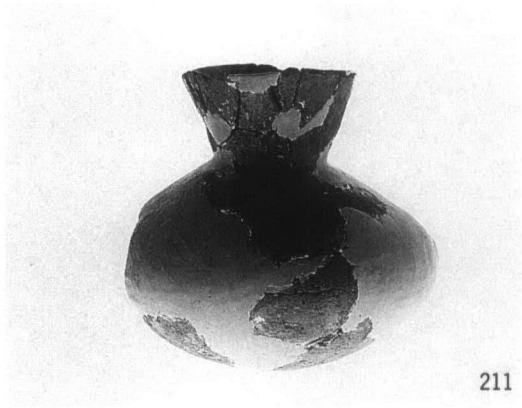

208


210

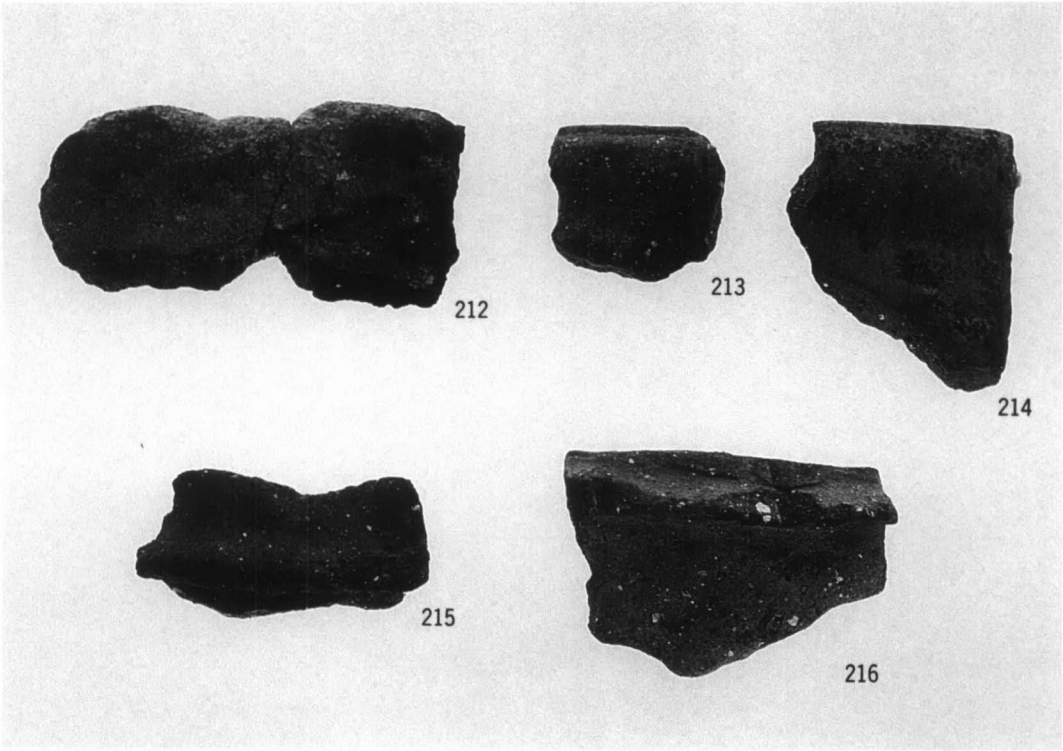

208

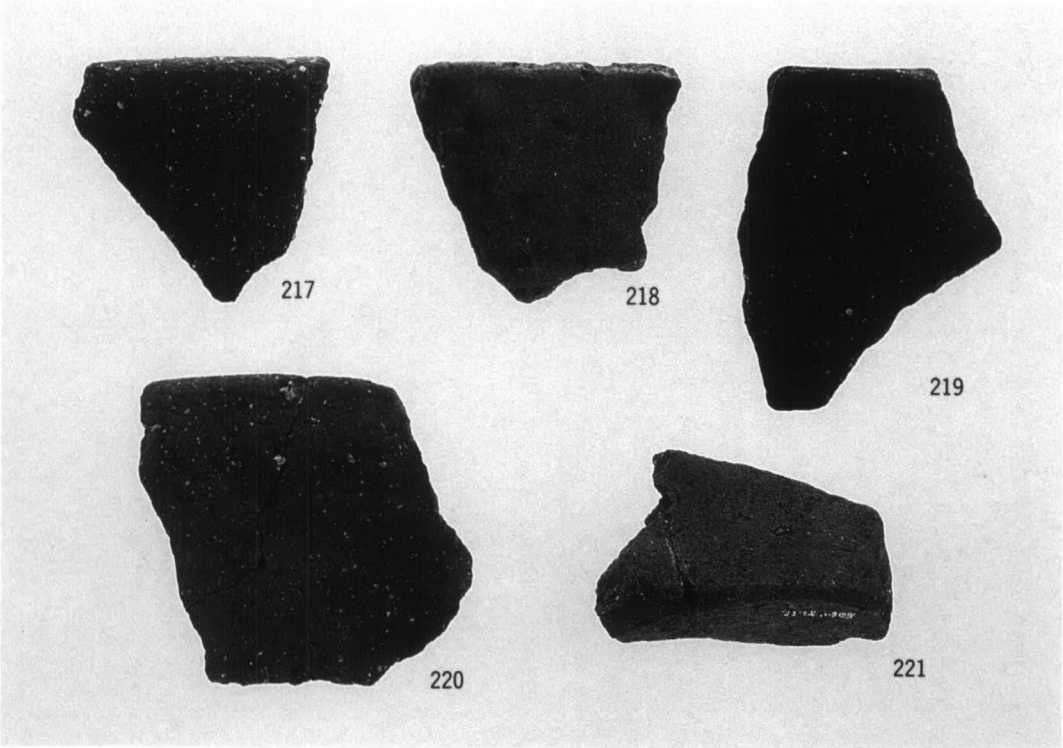
210

209

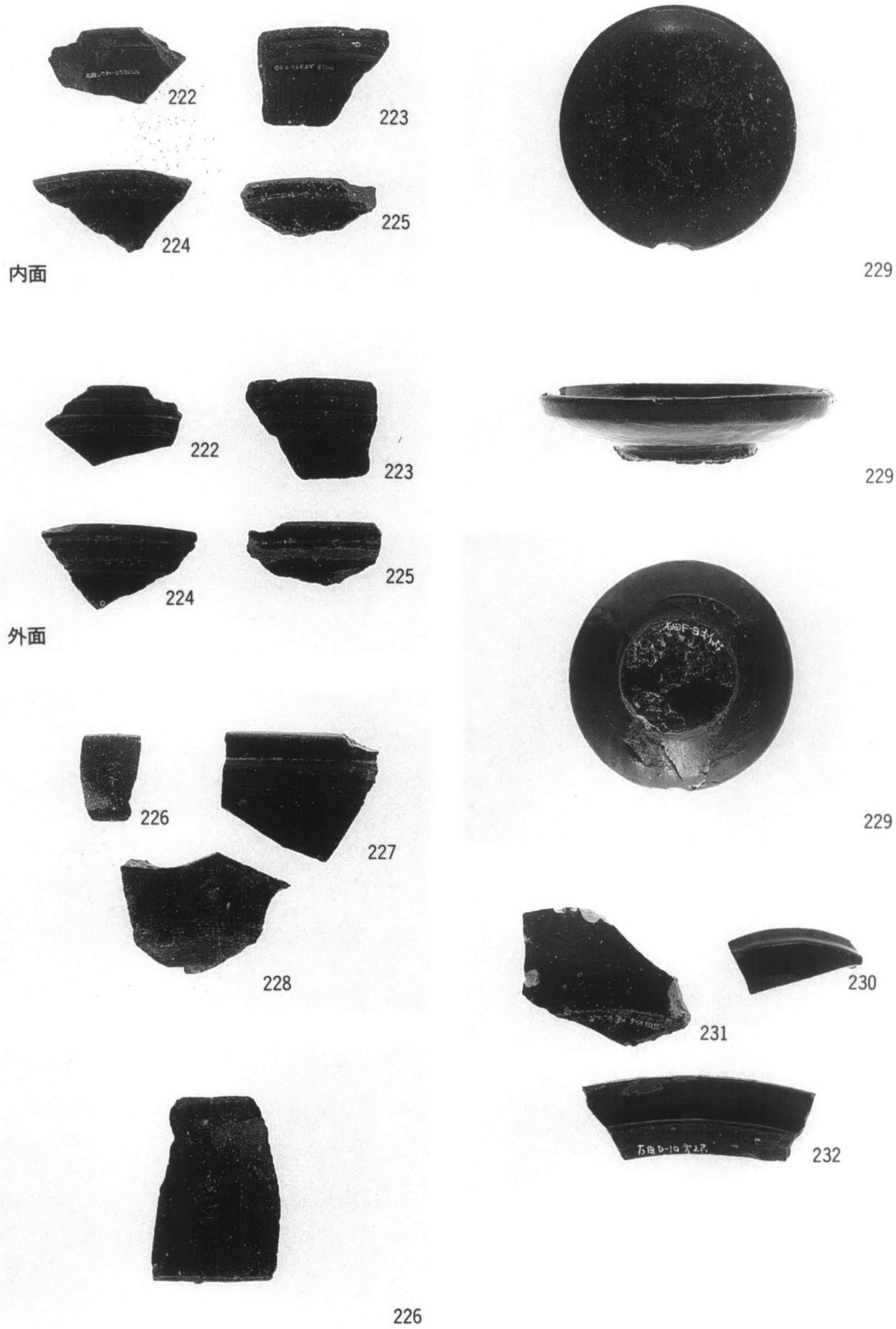

211

F －12第４層出土遺物

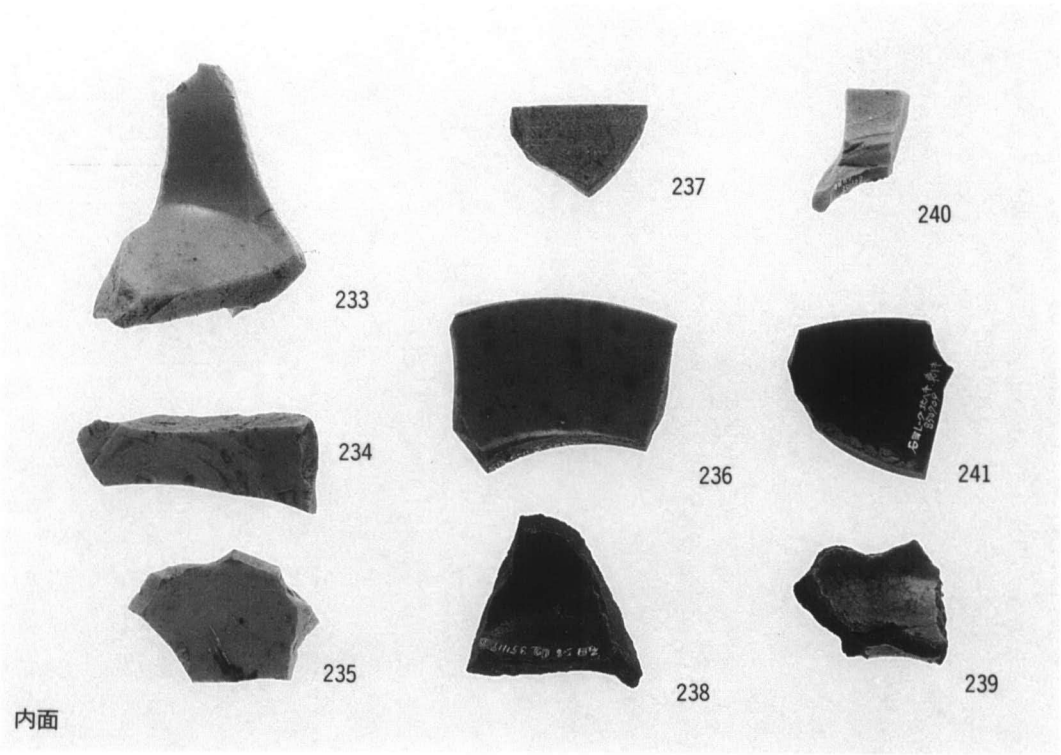


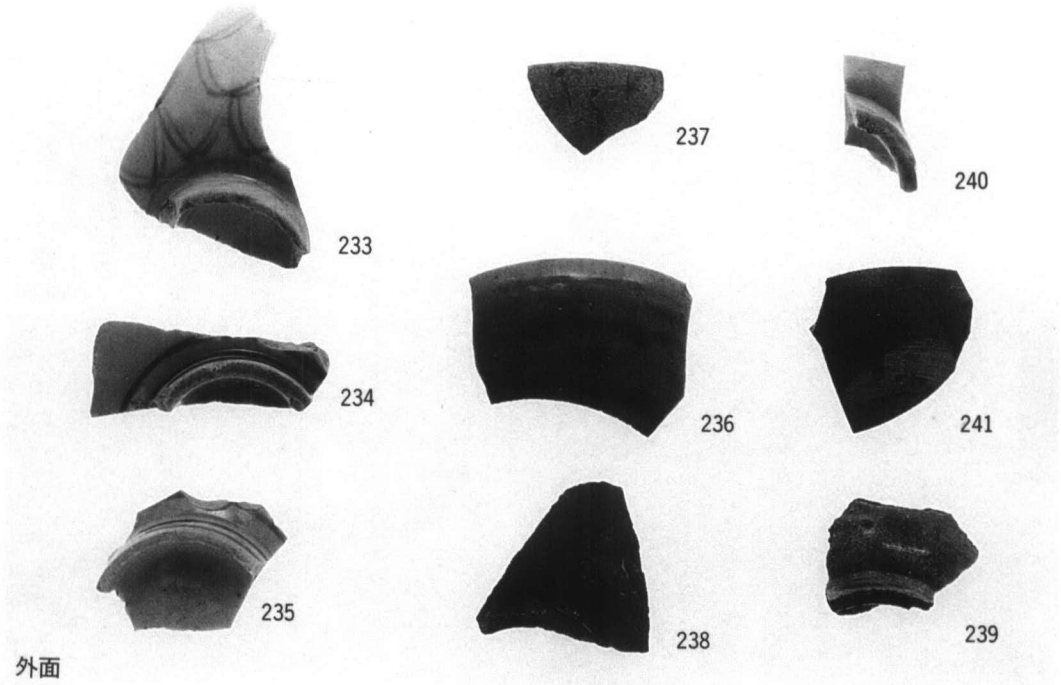


包含層出土遺物（土師質土器）①



包含層出土遺物（陶磁器）②

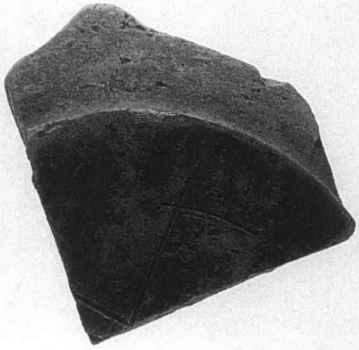




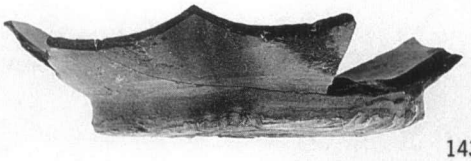
包含層出土遺物（陶磁器）③

242

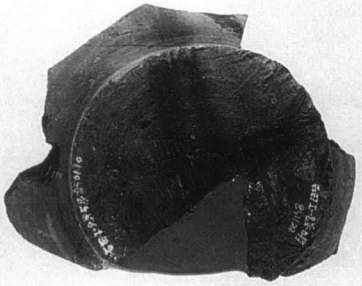
242



245



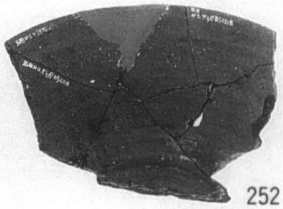
143



143

250

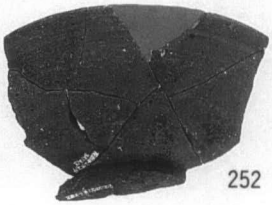
251



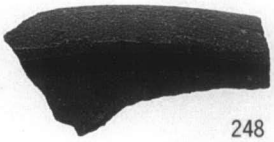
内面　252

250

251

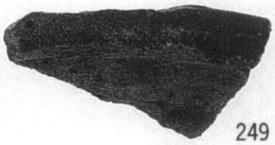


外面　252

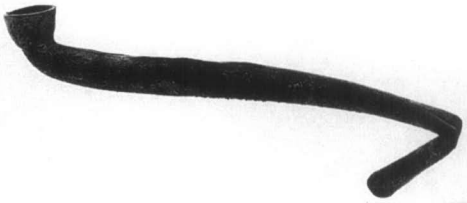


248

254

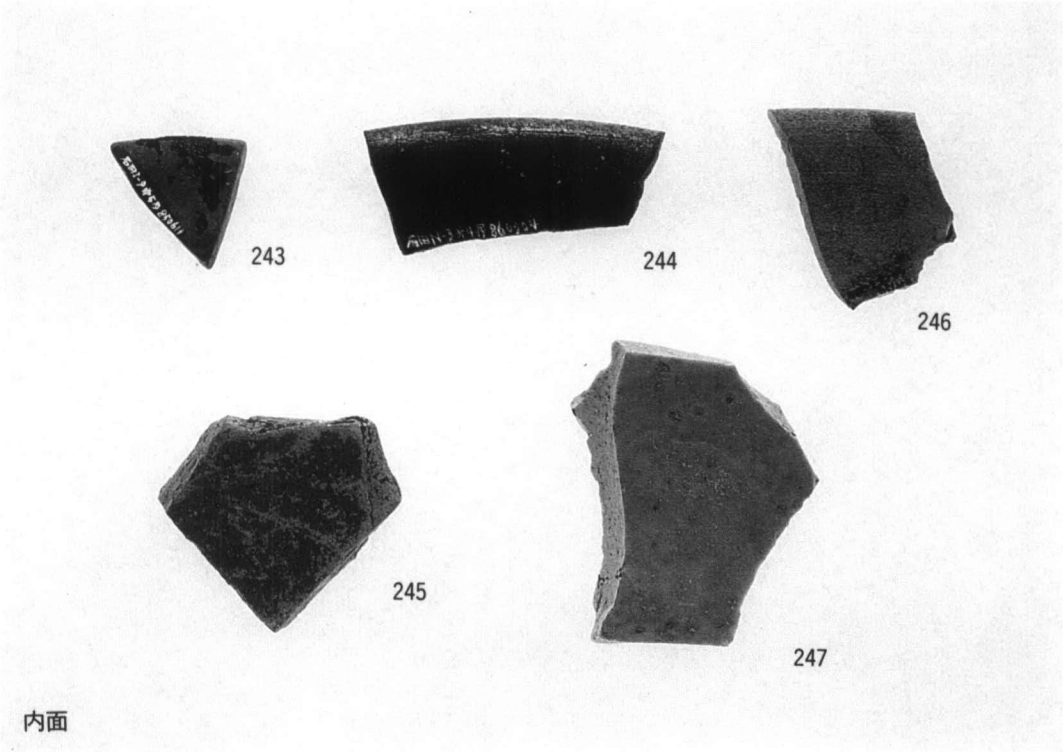


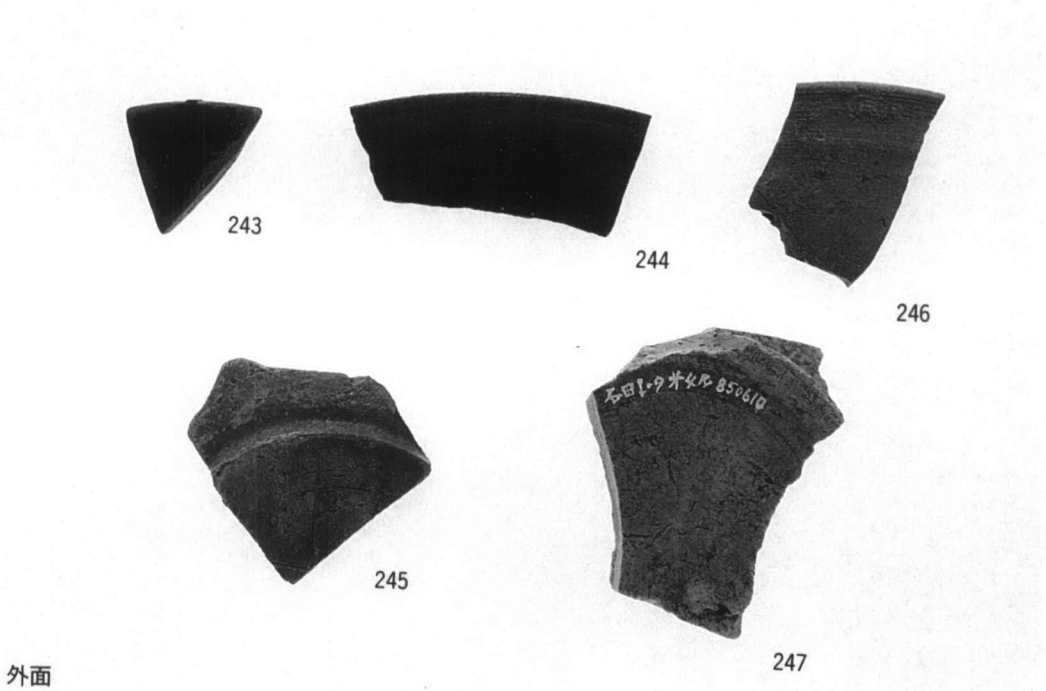
249



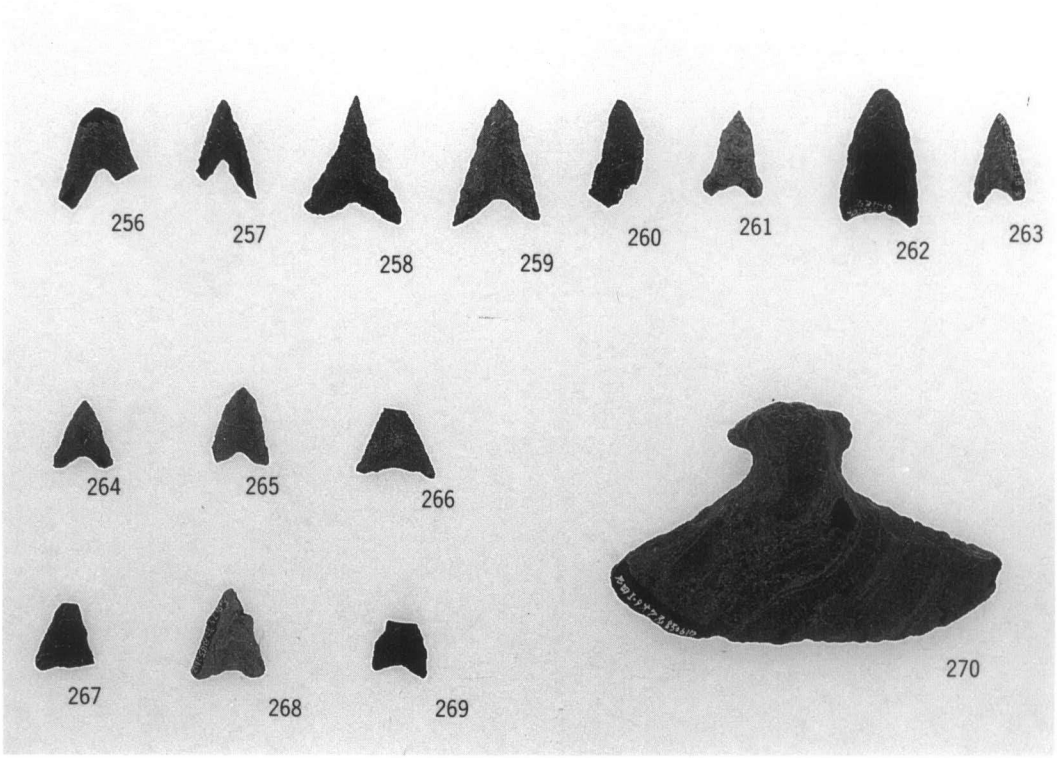
255

包含層出土遺物④





包含層出土遺物⑤

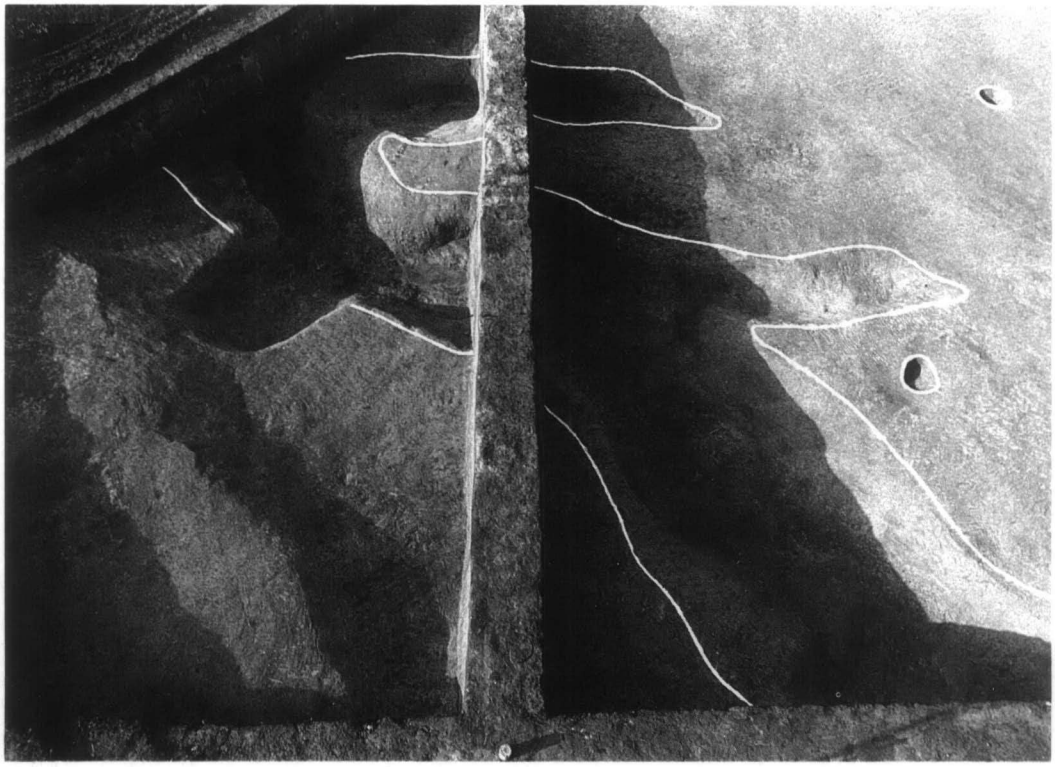


(1)包含層出土遺物（石製品）⑥

(2)母神山全景

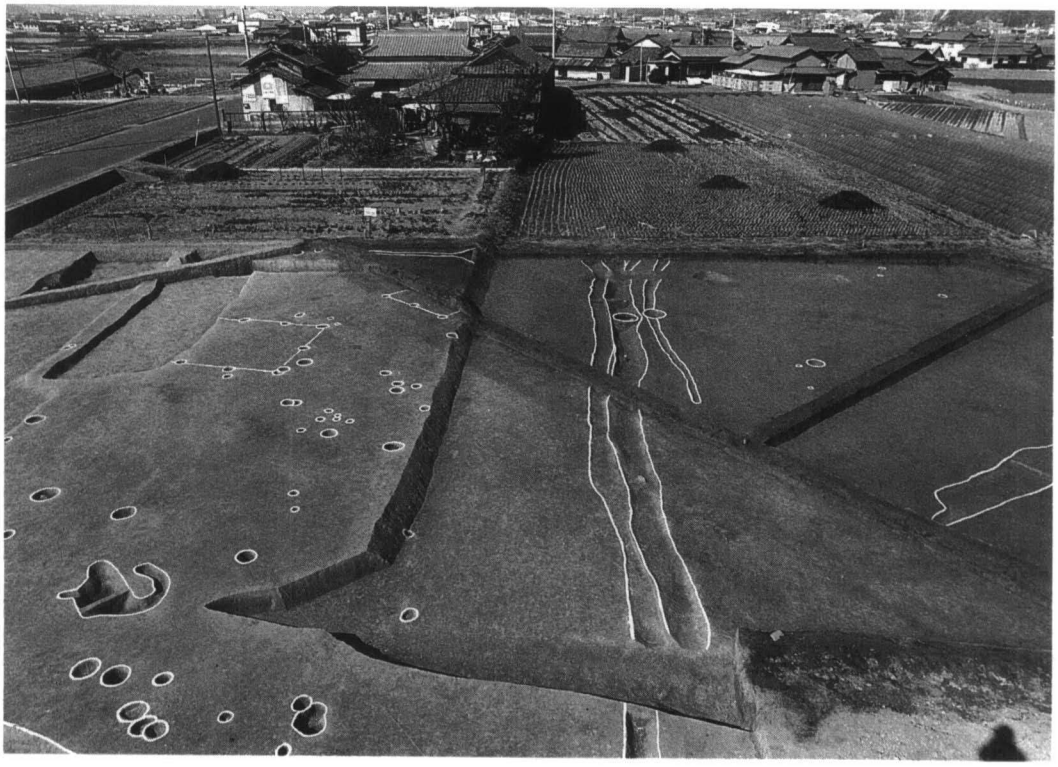
(1)長砂古遺跡Ⅰ区北部発掘作業風景

(2)B－14，C－14遺構検出状況（南より）

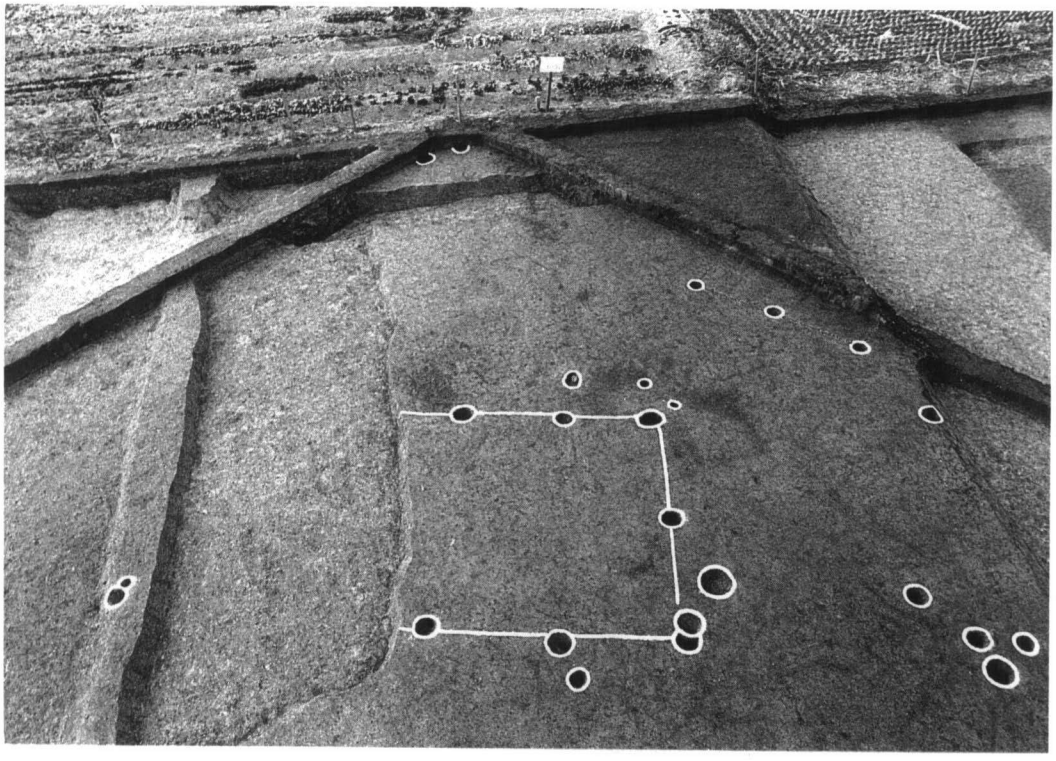


(1) ＳＤ01・02・03検出状況

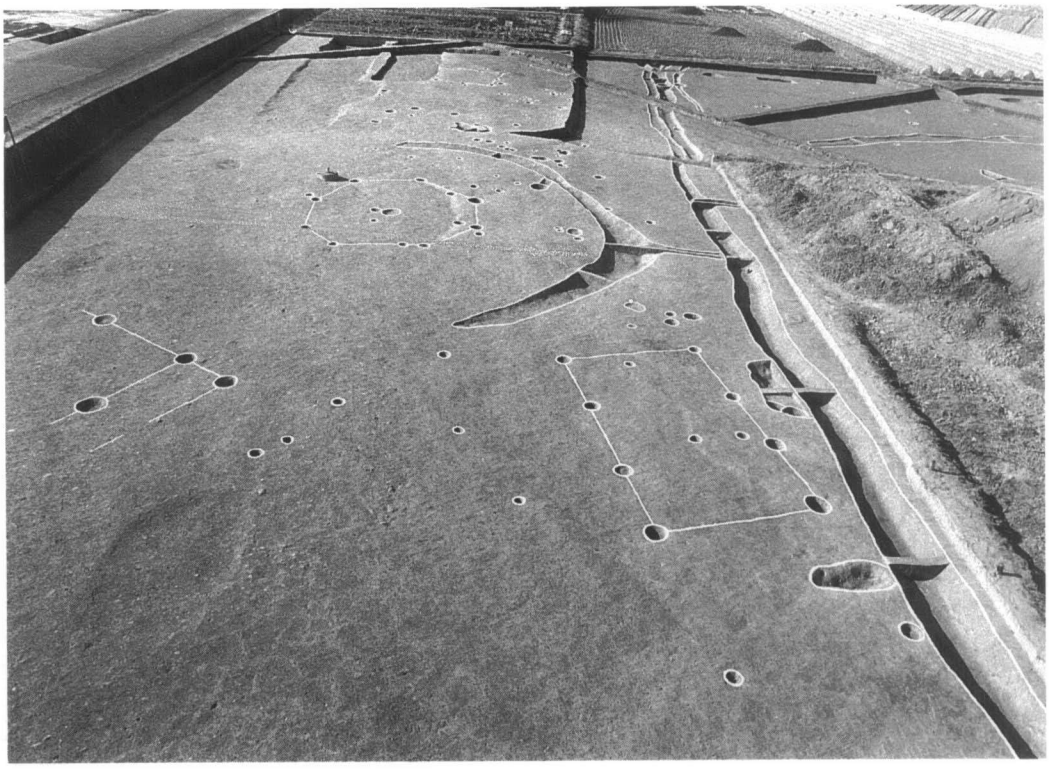
(2) ＳＤ05，ＳＫ02検出状況（南より）



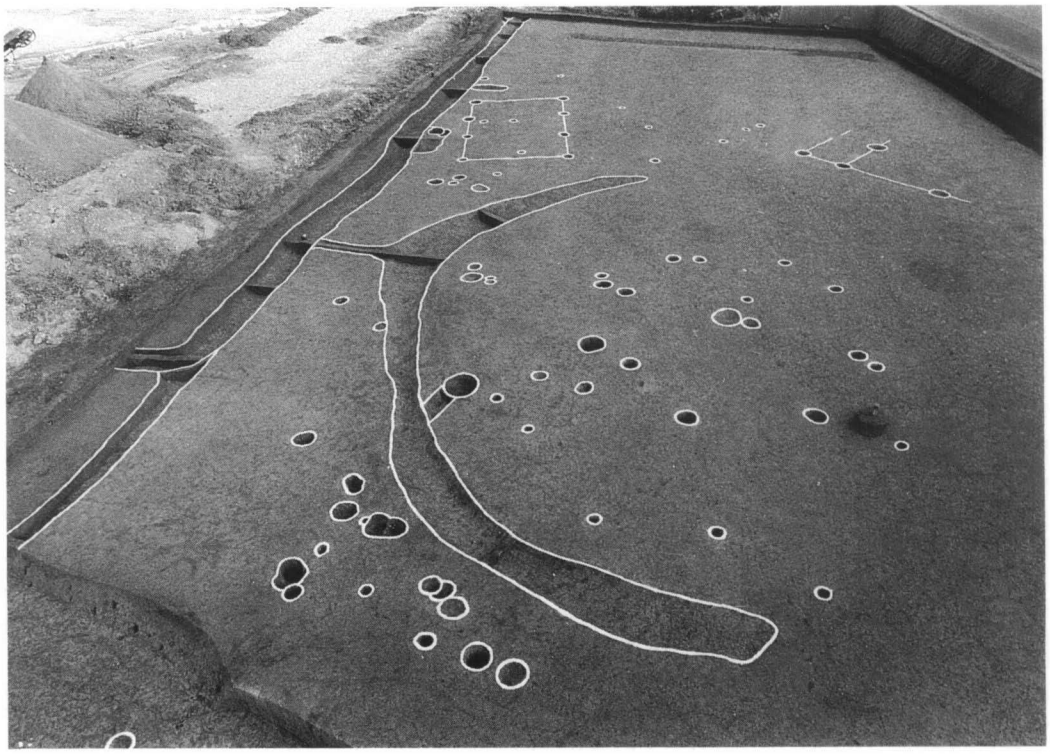
(1)D－12・13，E－12・13遺構検出状況（南東より）



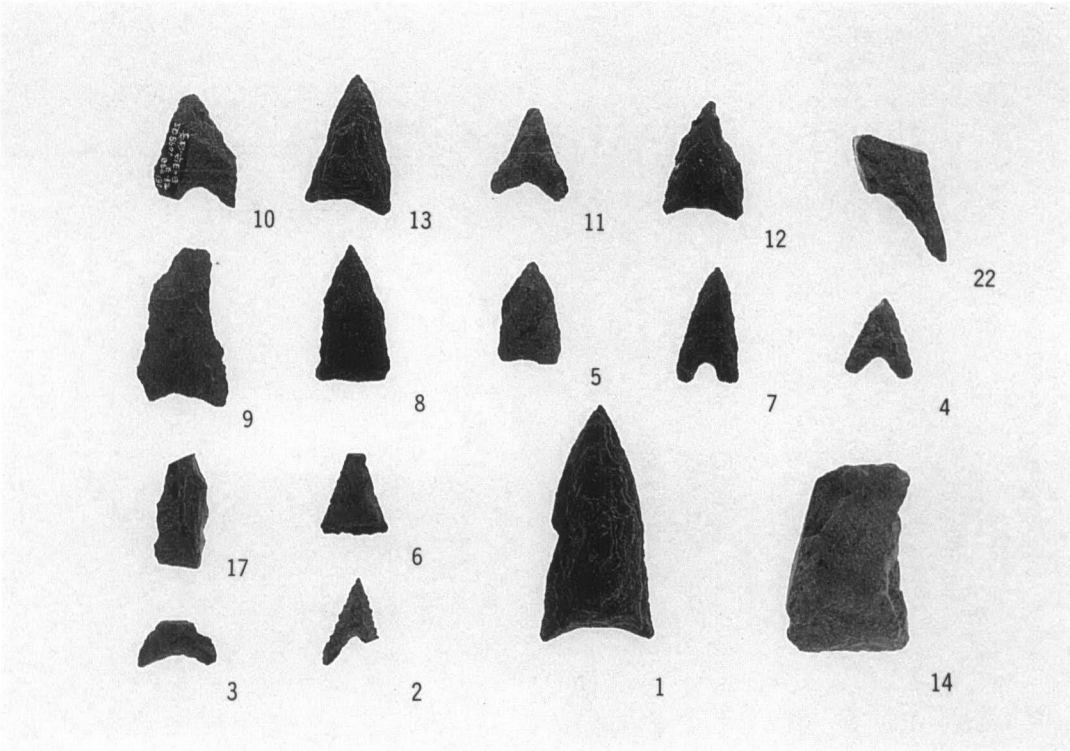
(2)ＳＢ03検出状況（南東より）



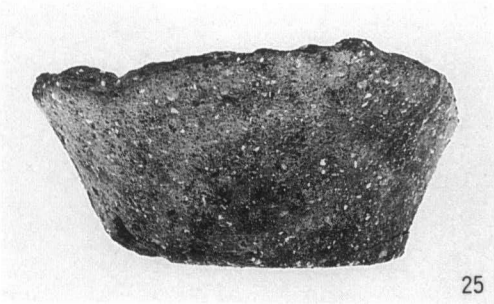
(1)D－12，E－12・13，F－13・14遺構検出状況（南東より）



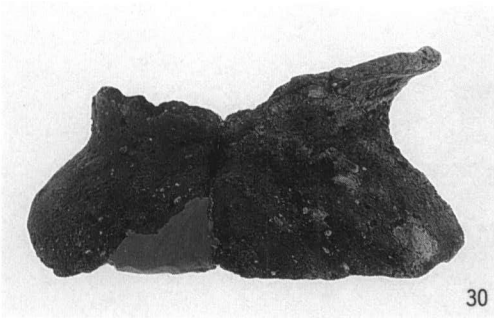
(2)ＳＨ01検出状況（北より）



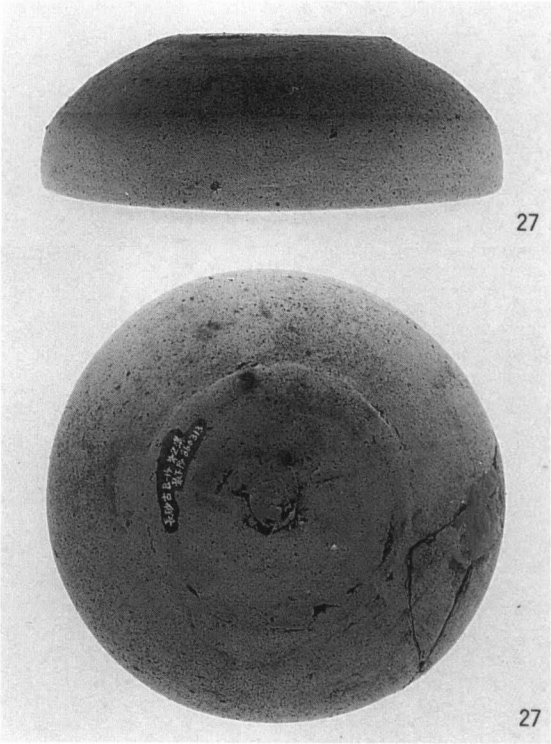
(1) Ⅰ区遺構出土石器



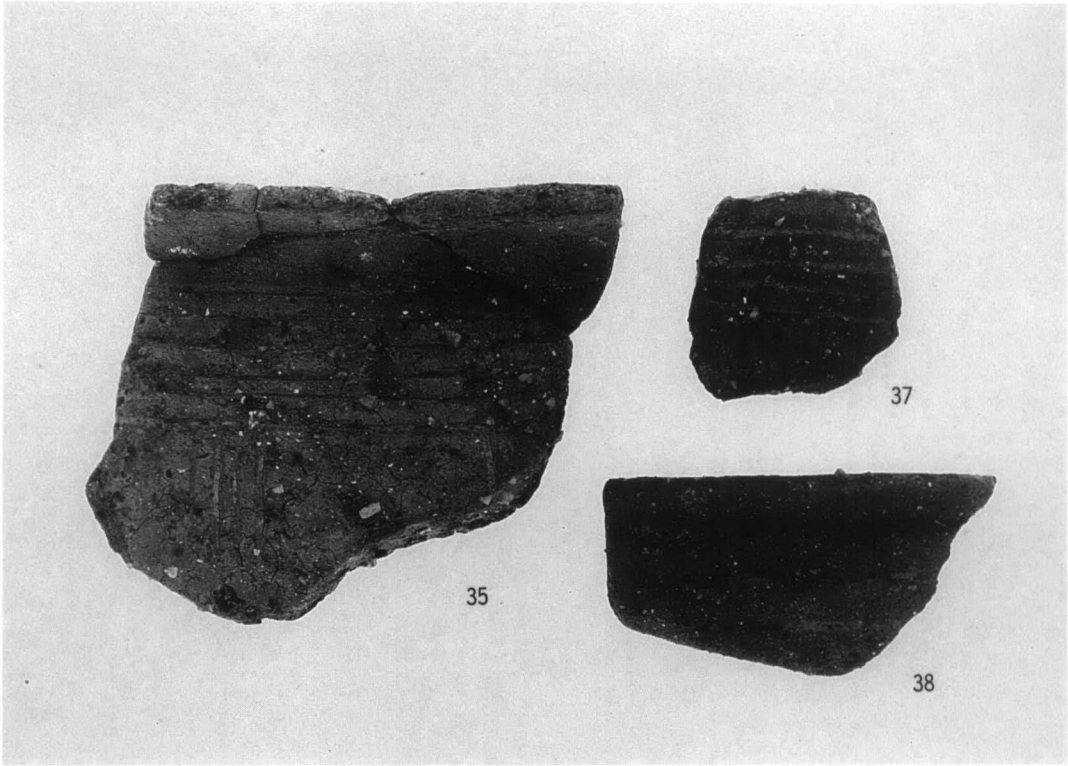
(2) ＳＤ01出土遺物



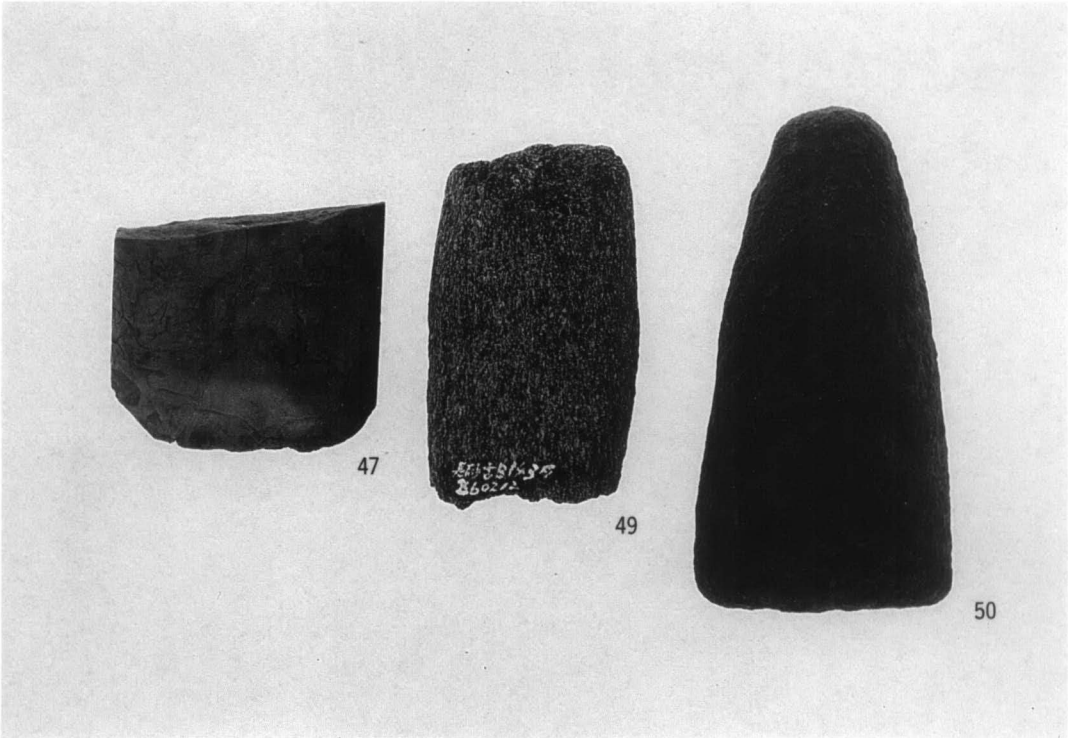
(5) ＳＤ03出土遺物



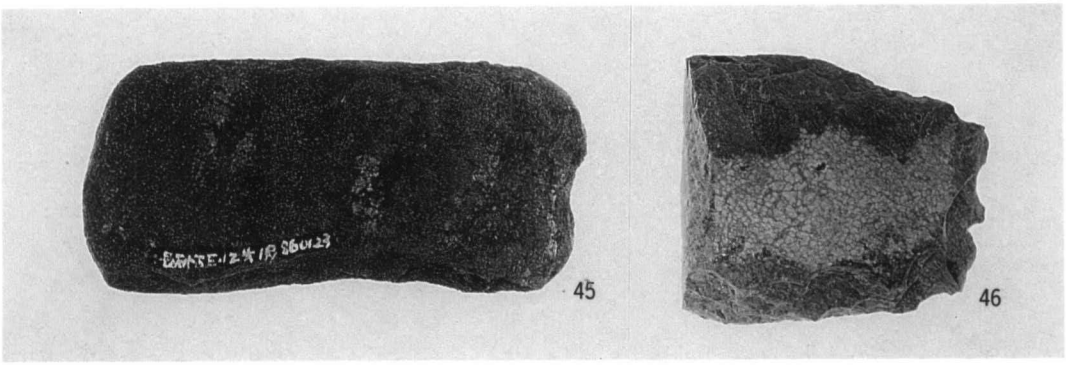
(3)(4) ＳＤ01出土遺物

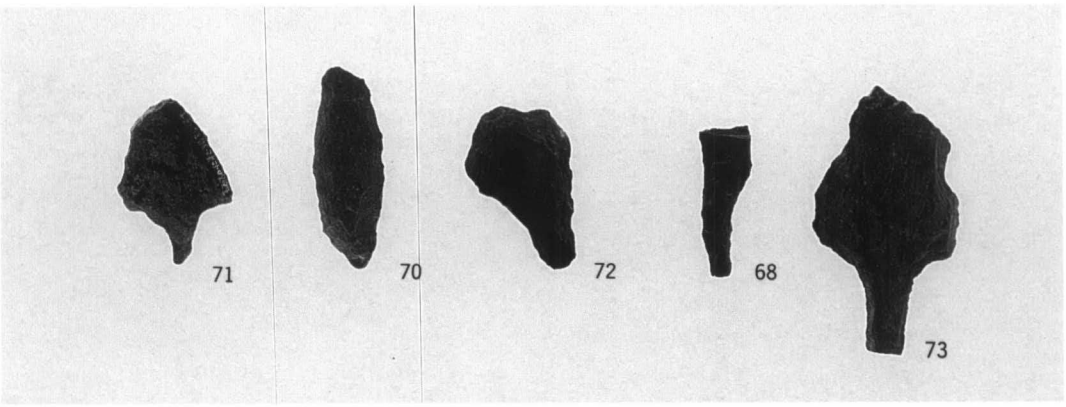


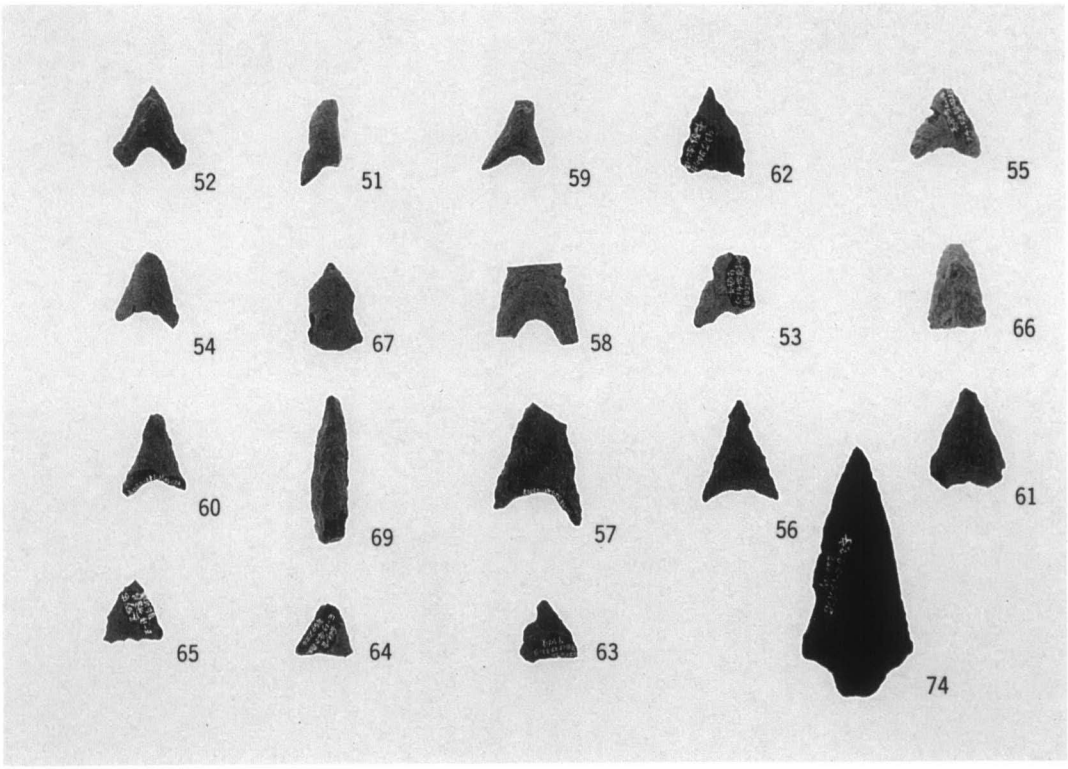
(1) ＳＤ13出土遺物



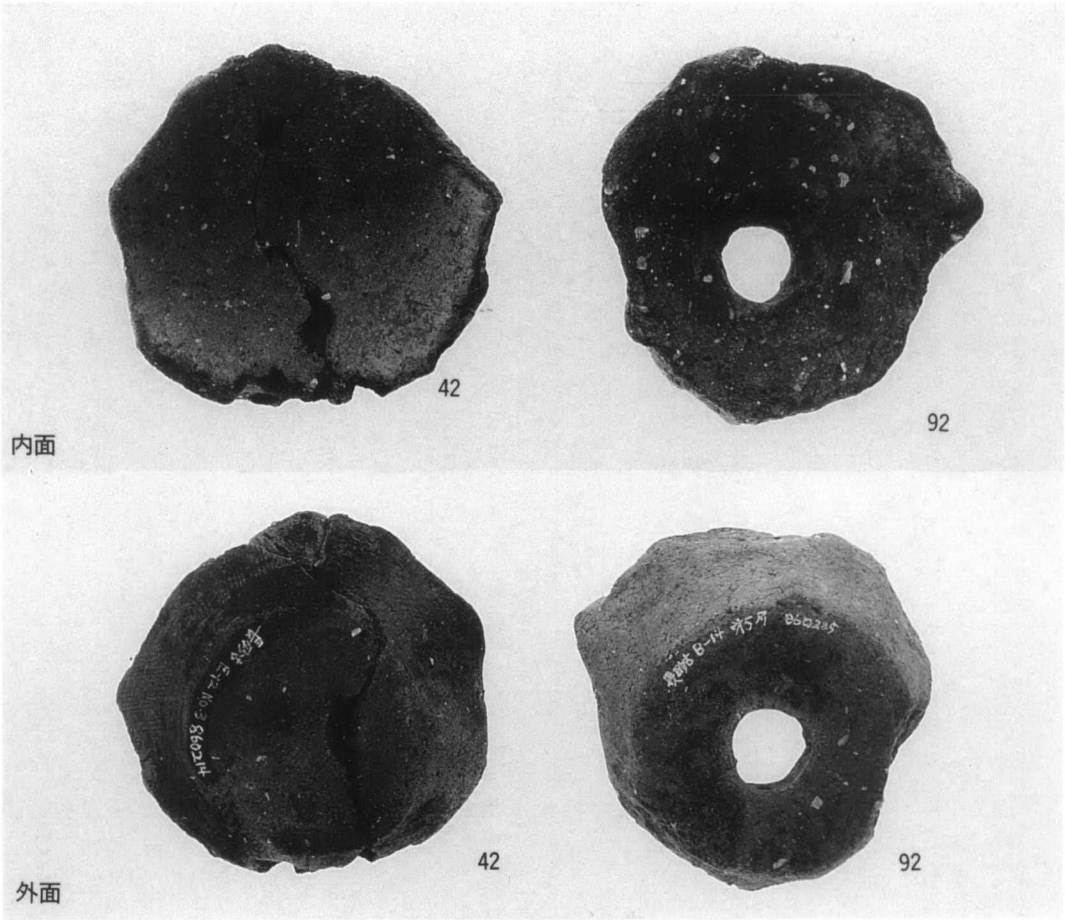
(2) Ｉ区包含層出土石斧


45
46

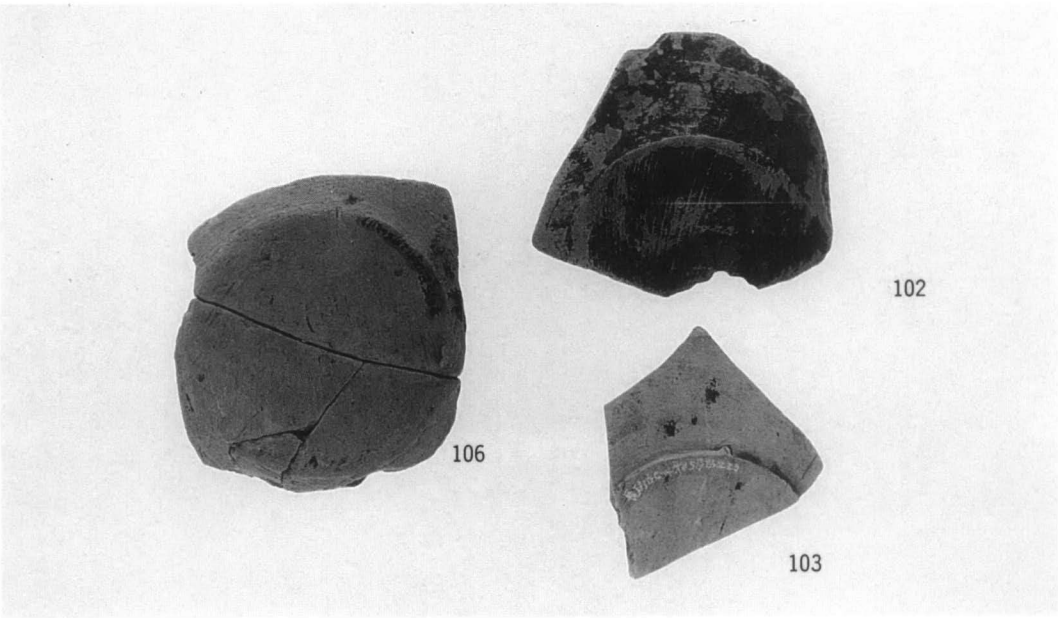

71
70
72
68
73


52
51
59
62
55
54
67
58
53
66
60
69
57
56
61
65
64
63
74

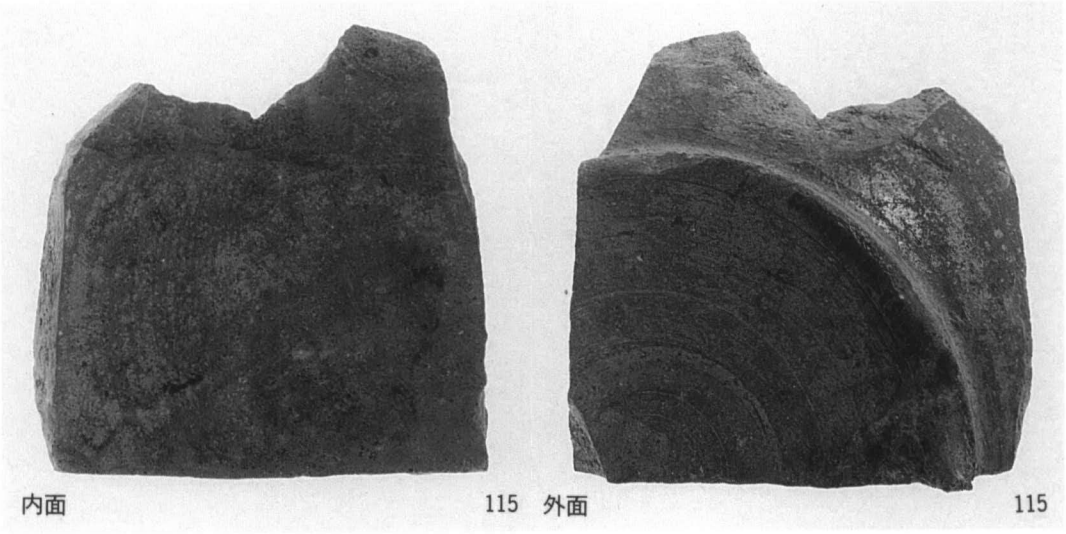
I 区包含層出土石器

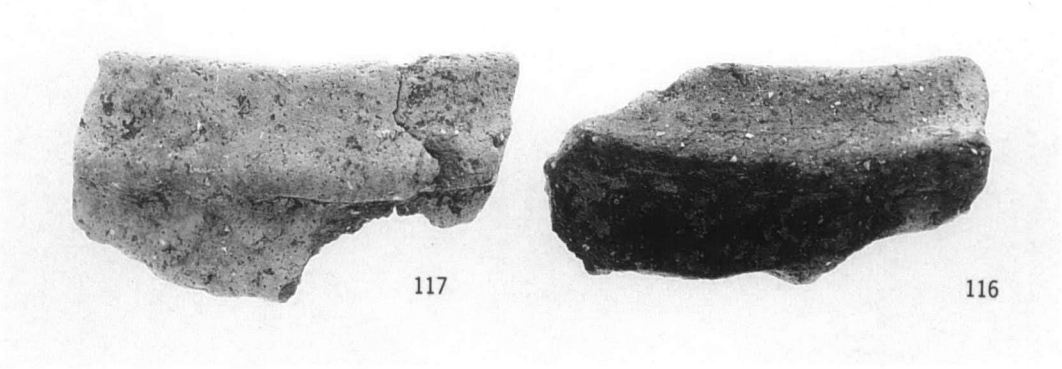


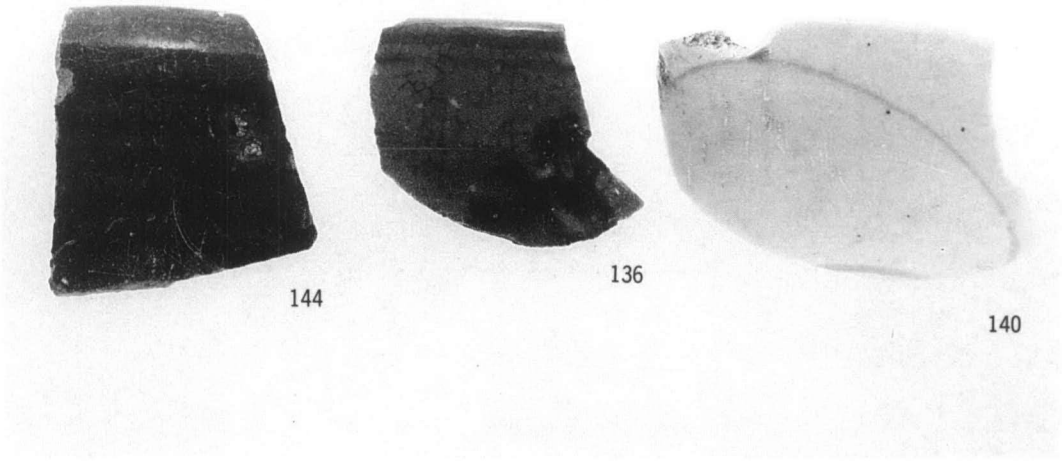
(1) Ⅰ区出土弥生土器（底部）



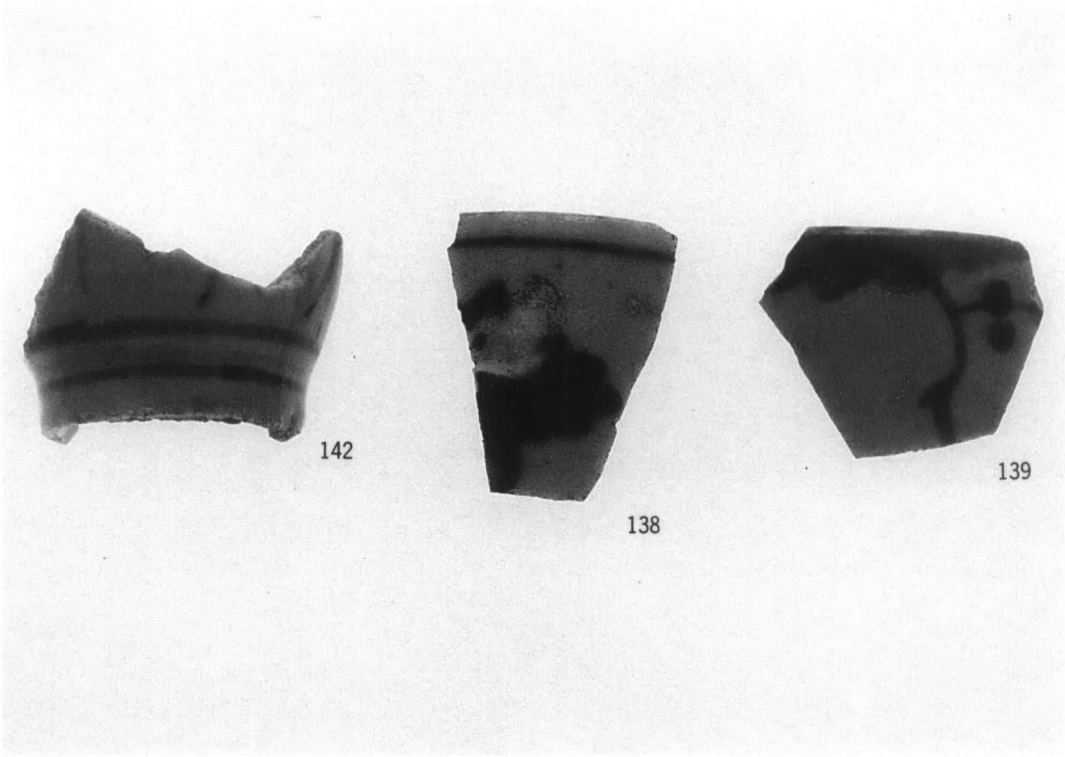
(2) Ⅰ区出土土師器坏底部（糸切り）

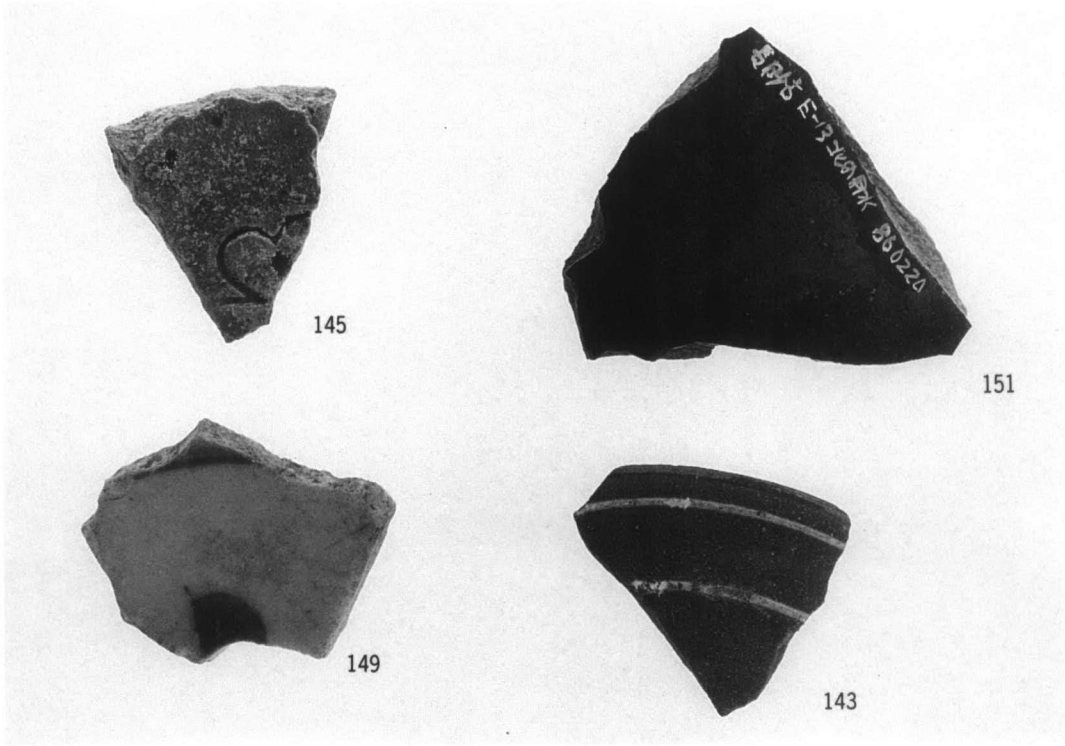




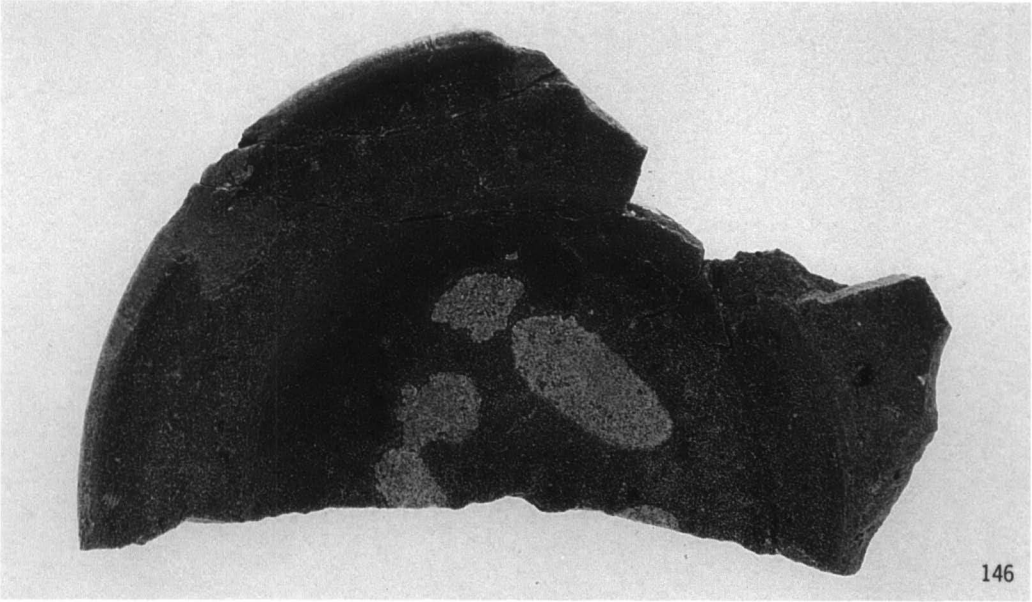


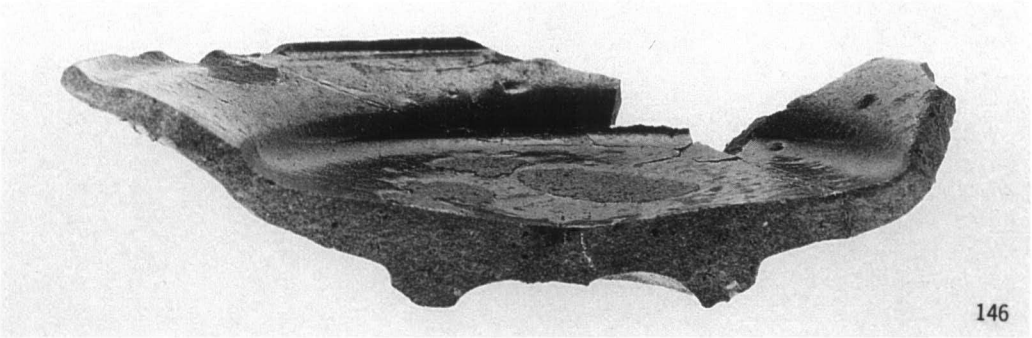
Ⅰ区包含層出土遺物①

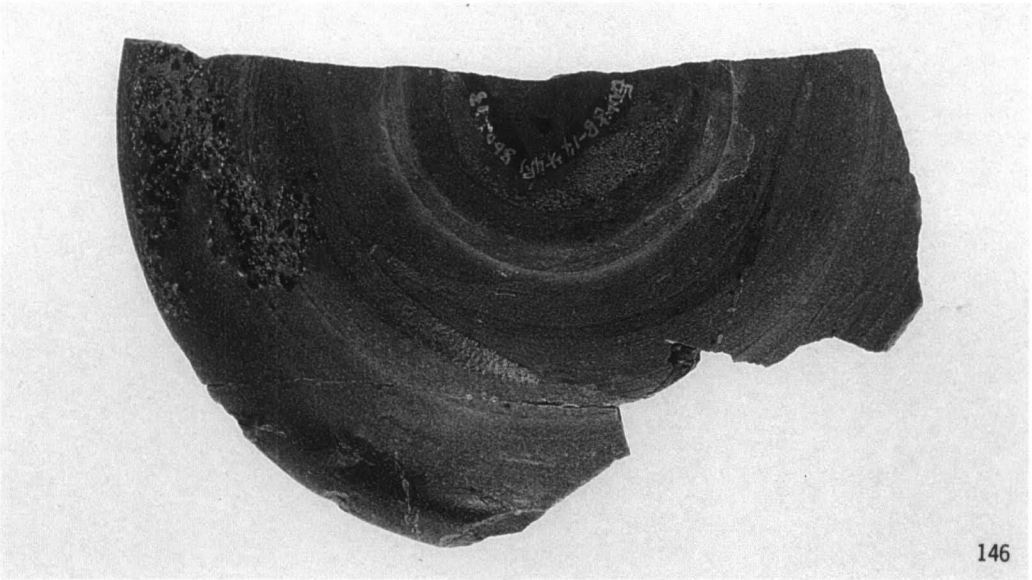




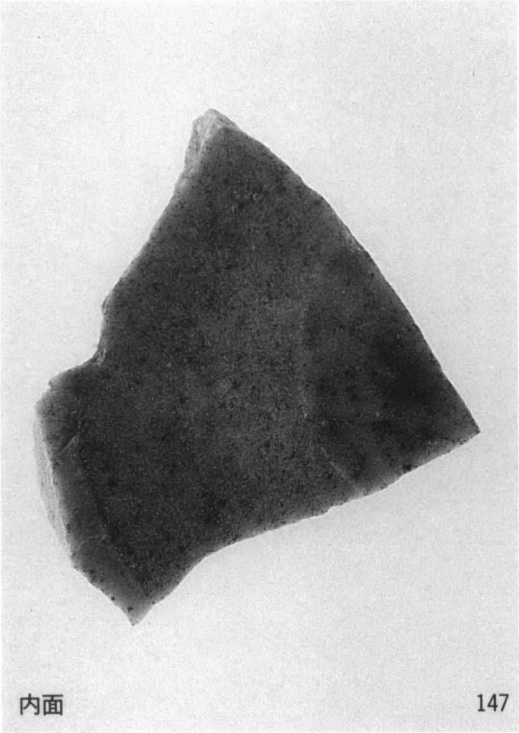
I 区包含層出土遺物②

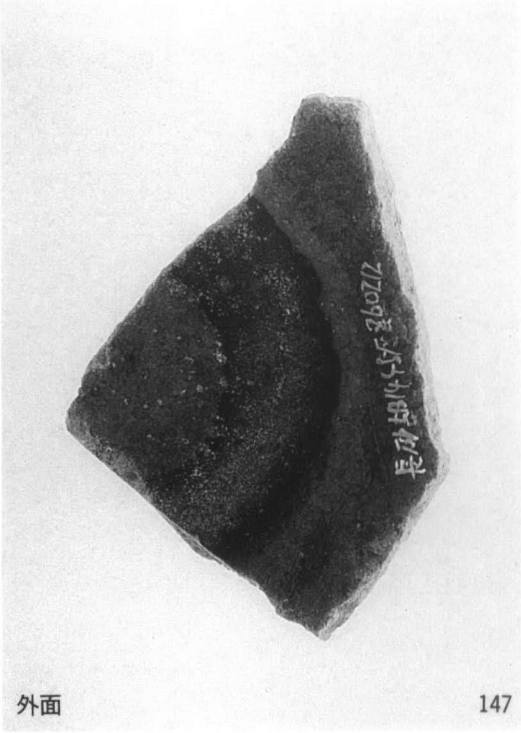






Ⅰ区包含層出土遺物③



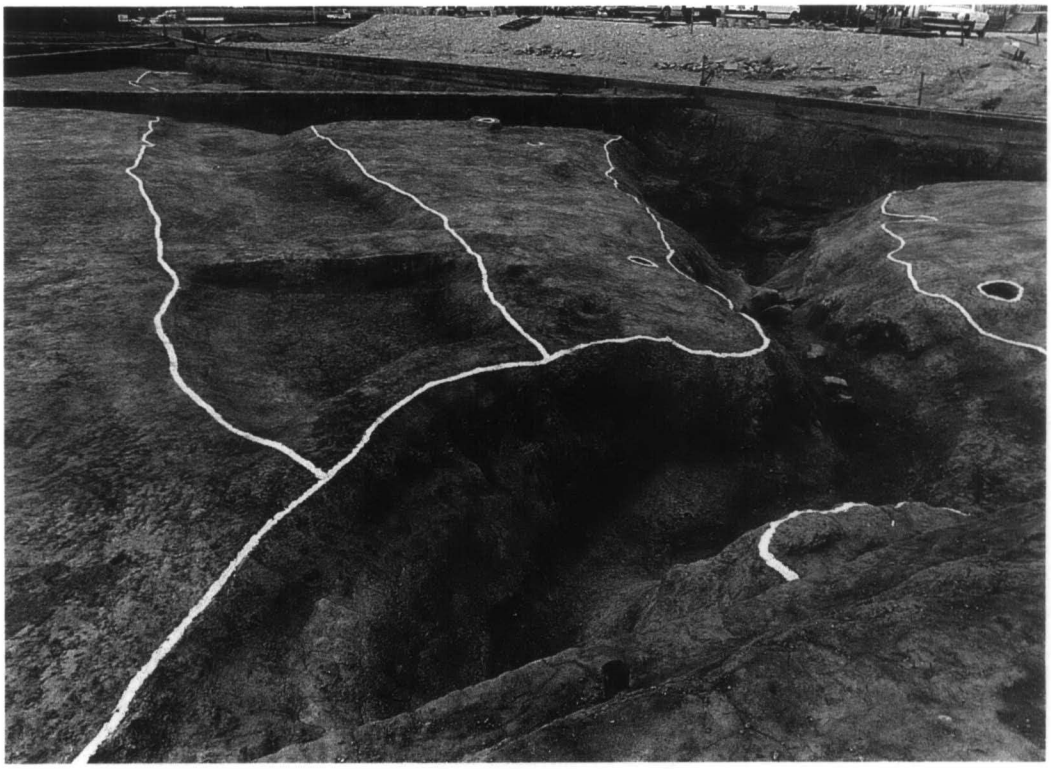


(1) Ⅰ区包含層出土遺物④

(2) Ⅰ区作業風景（ＳＨ01付近）

(1)II区作業風景

(2)II区全景（北東より）

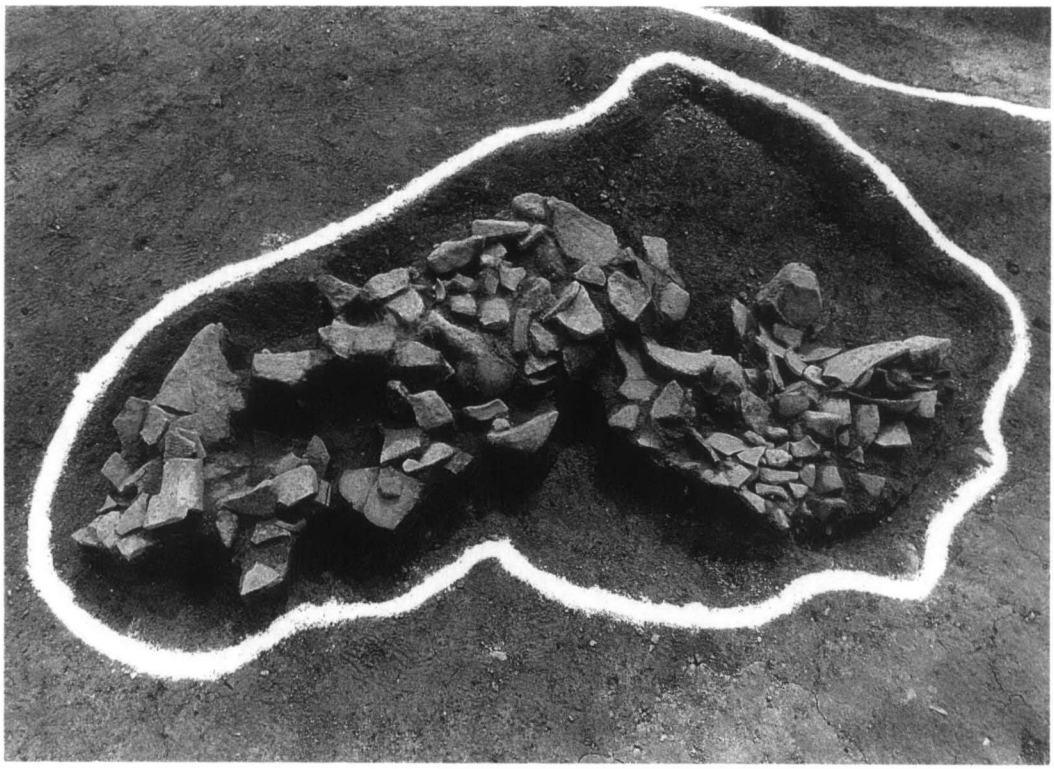


(1) ＳＤ15・16検出状況（南より）

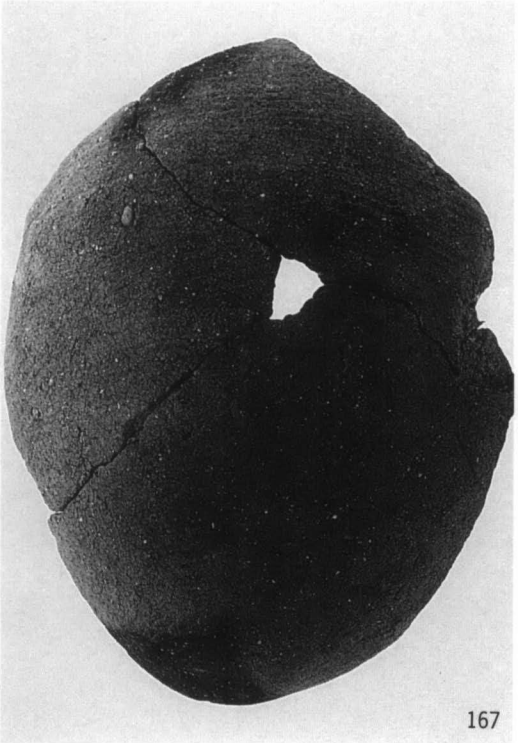
(2) ＳＤ16断面（北より）

(1) ＳＤ15断面（北より）

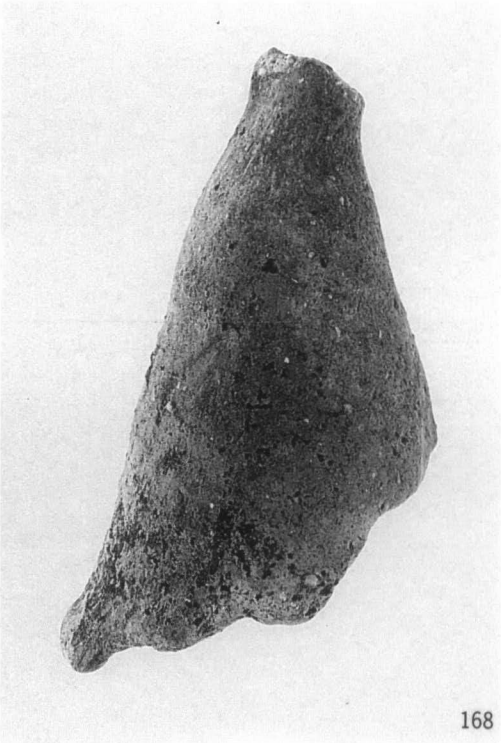
(2) Ｉ－８，Ｊ－８遺構検出状況（南より）



(1) ＳＫ08遺物出土状況

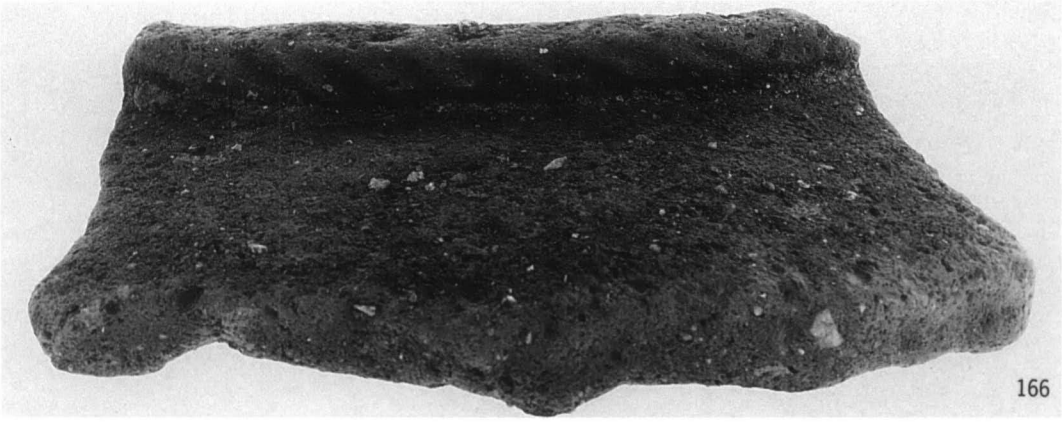


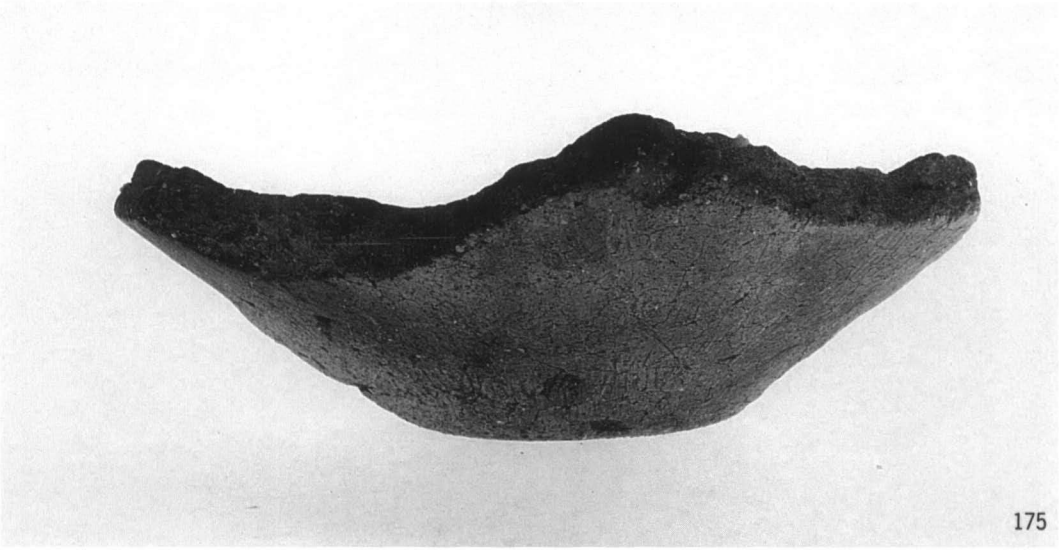
167



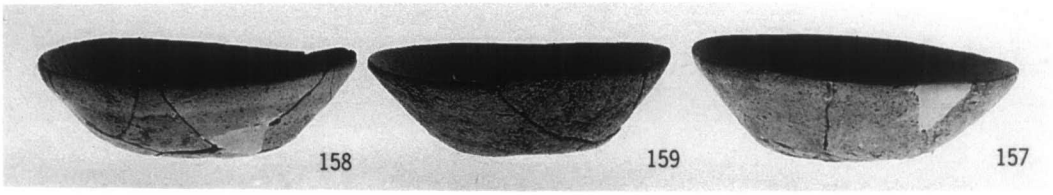
168

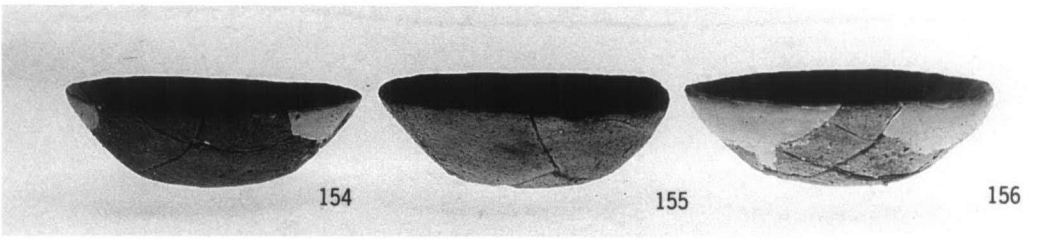
(2)(3) ＳＤ16出土遺物①

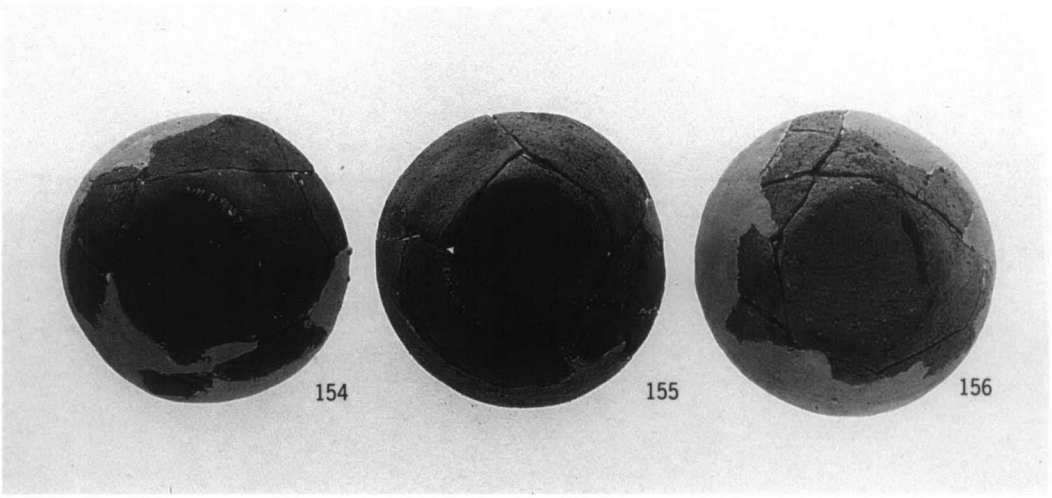




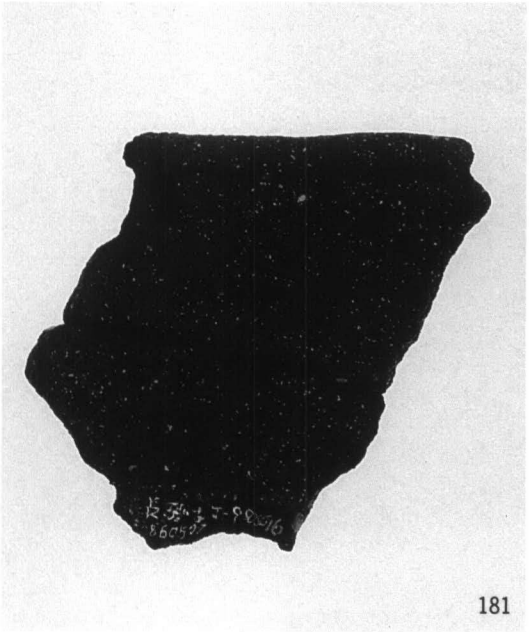
ＳＤ16出土遺物②





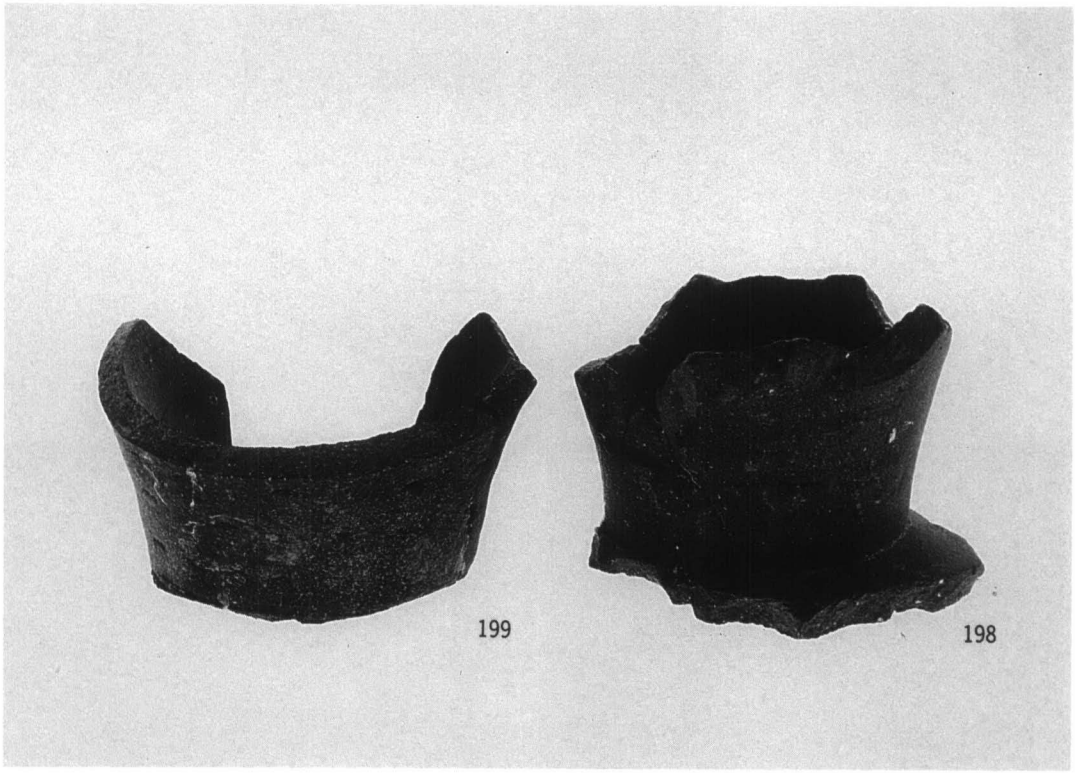


ＳＤ16出土遺物③

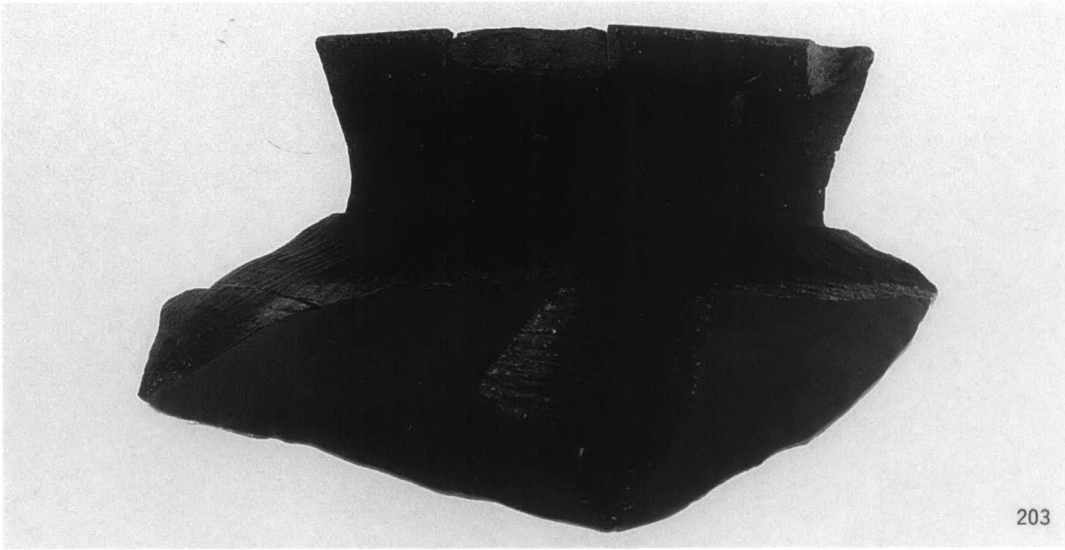


(1) ＳＤ17出土遺物

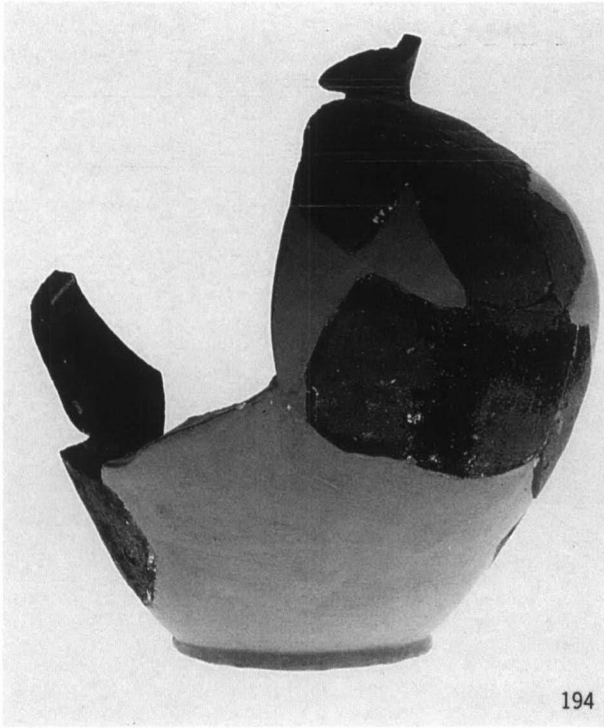
(2) ＳＤ28出土遺物

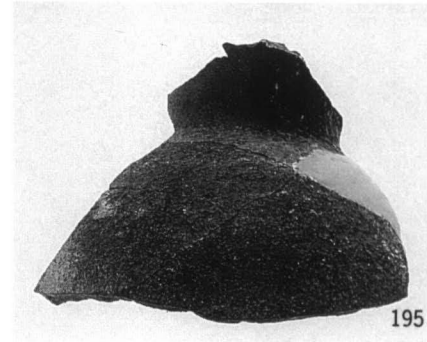


(3) ＳＫ08出土遺物①



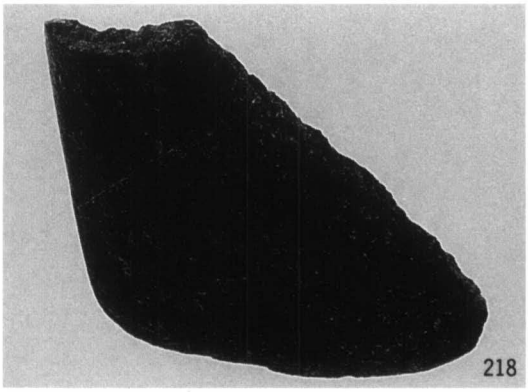
ＳＫ08出土遺物②

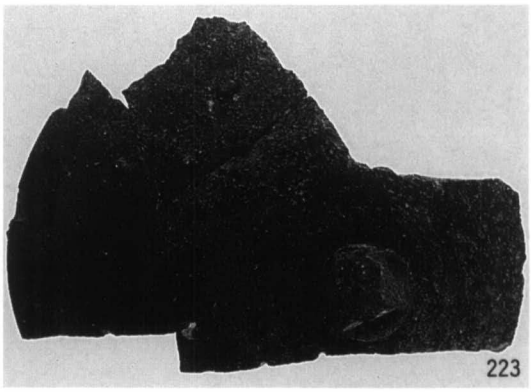


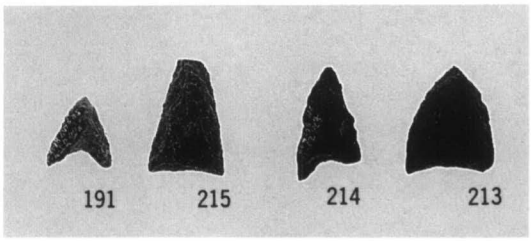


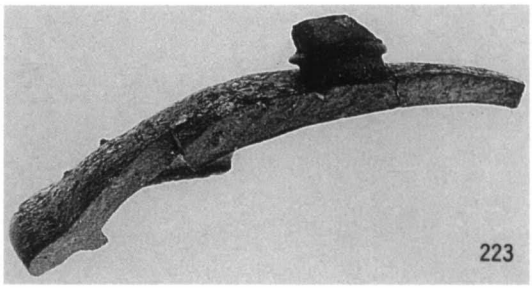
ＳＫ08出土遺物③

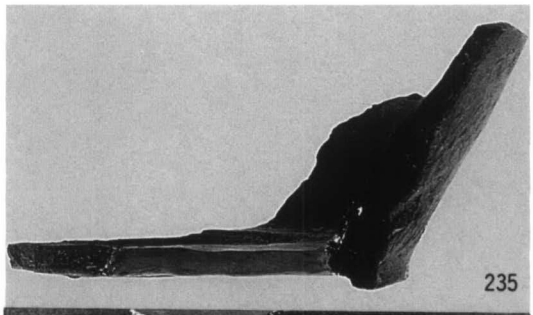
ＳＫ08出土遺物④

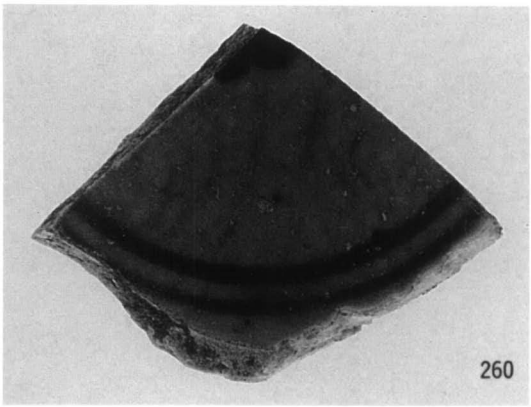


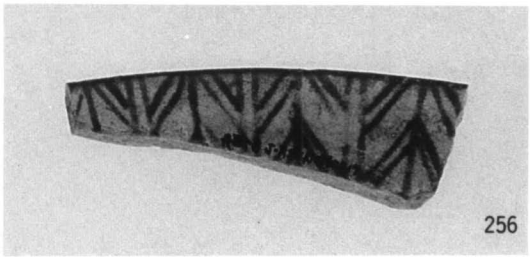




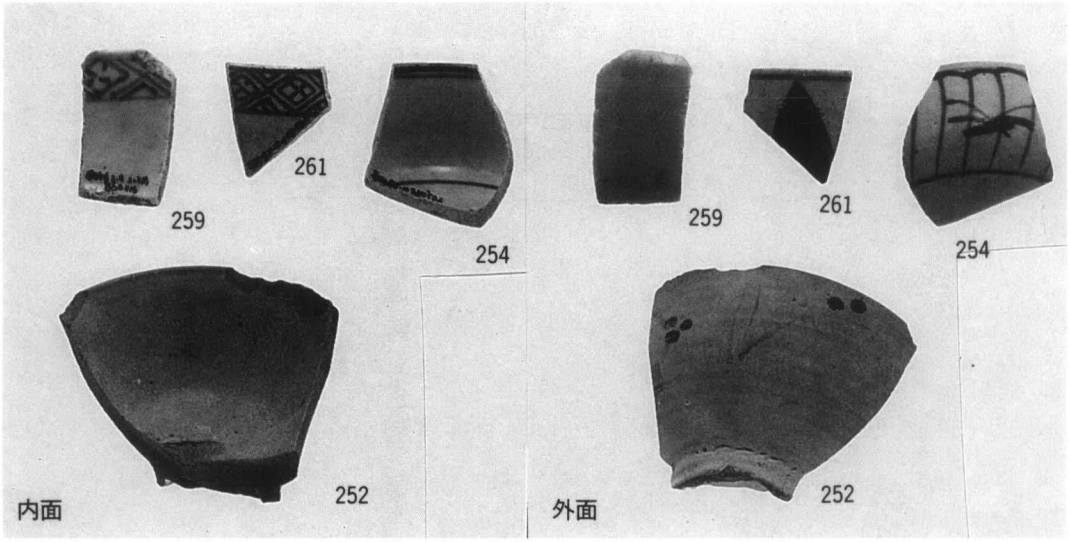


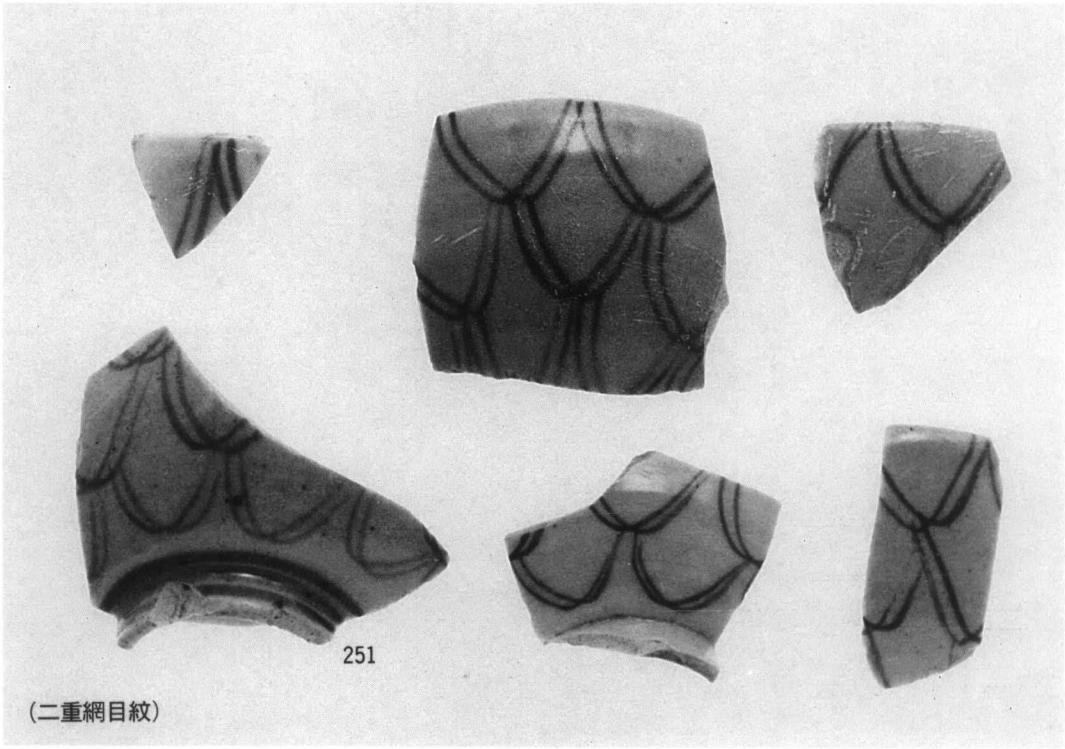




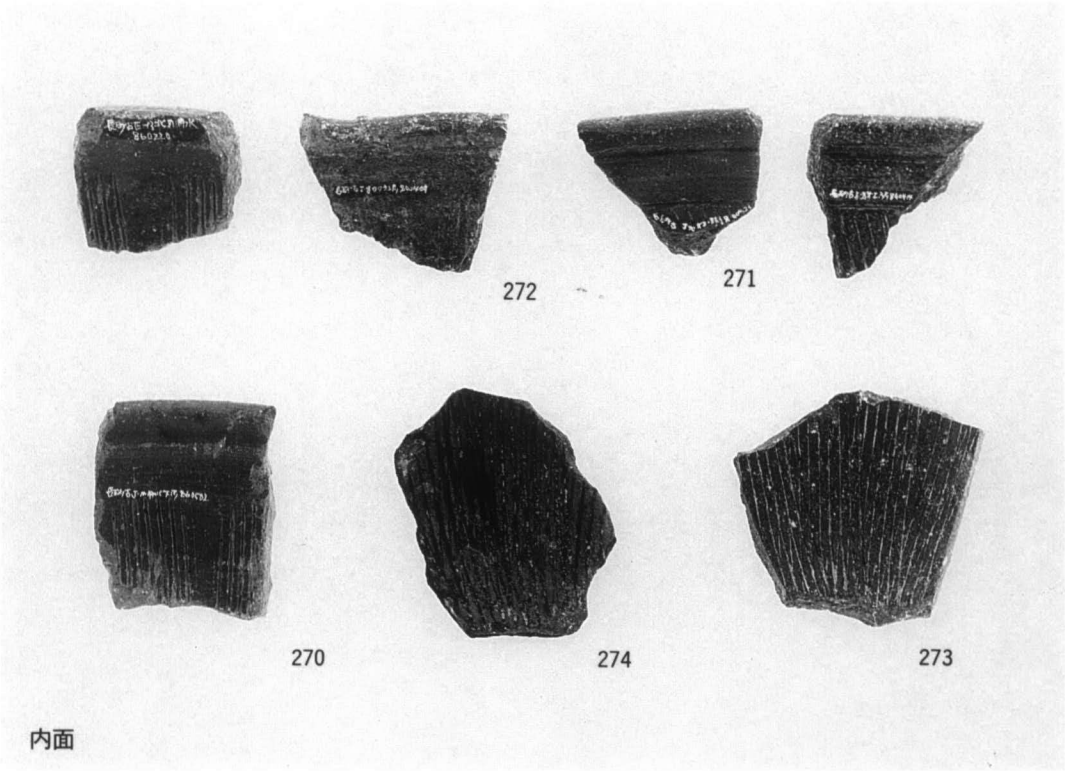


II区包含層出土遺物①

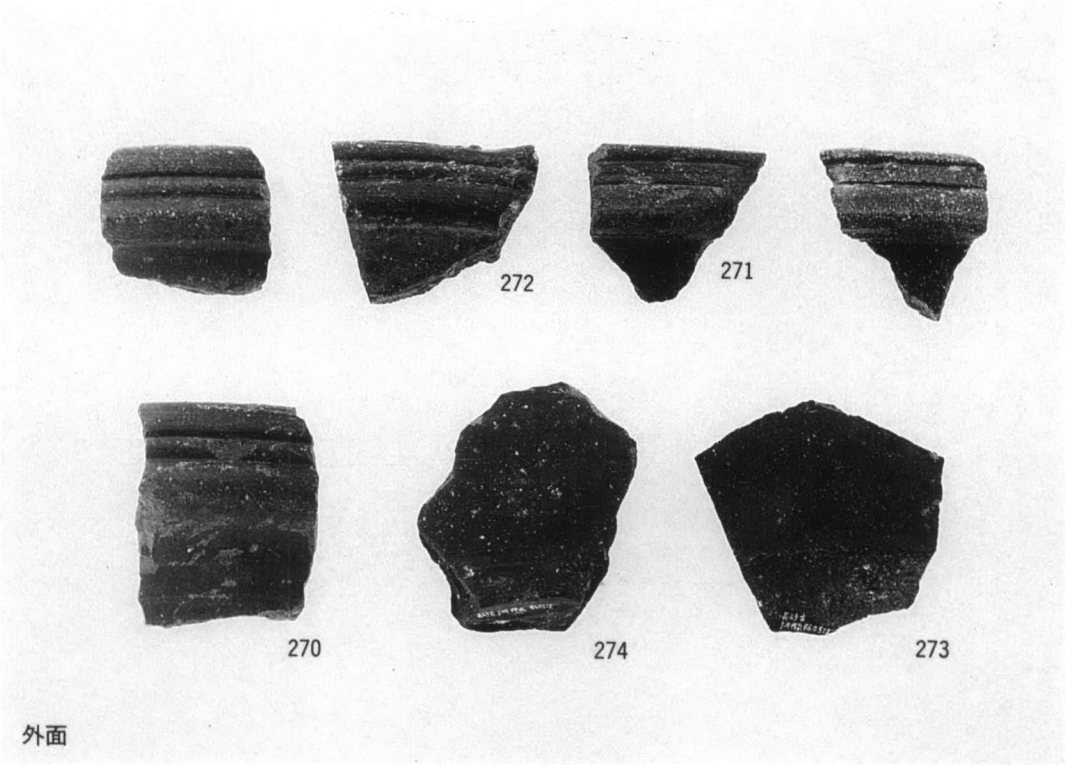




II区包含層出土遺物②



内面



外面

II区包含層出土遺物③

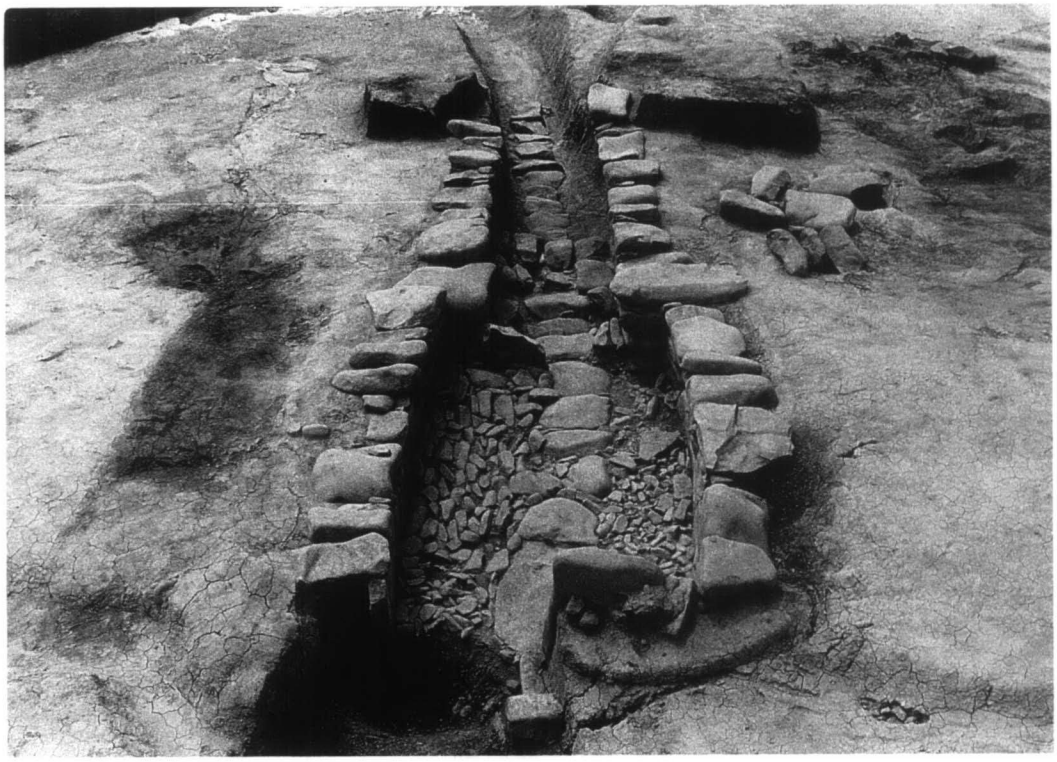
(1) S H02・長砂古４号墳遠景

(2)長砂古４号墳遠景

(1)長砂古４号墳羨道・版築土層断面

(2)墓道より玄室を望む

(1)床面（第一面）検出状況

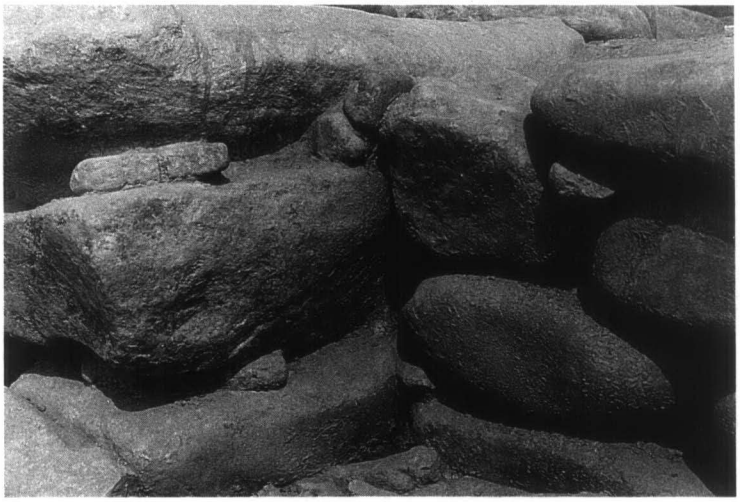


(2)床面（第二面）検出状況

(1)配水施設検出状況

(2)掘り方検出状況

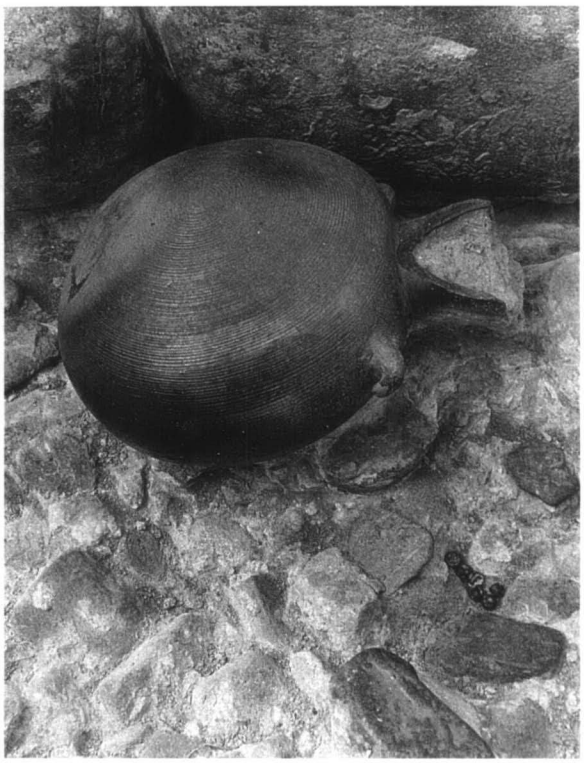
(1)基底石検出状況



(2)石室左玄門部構築状況

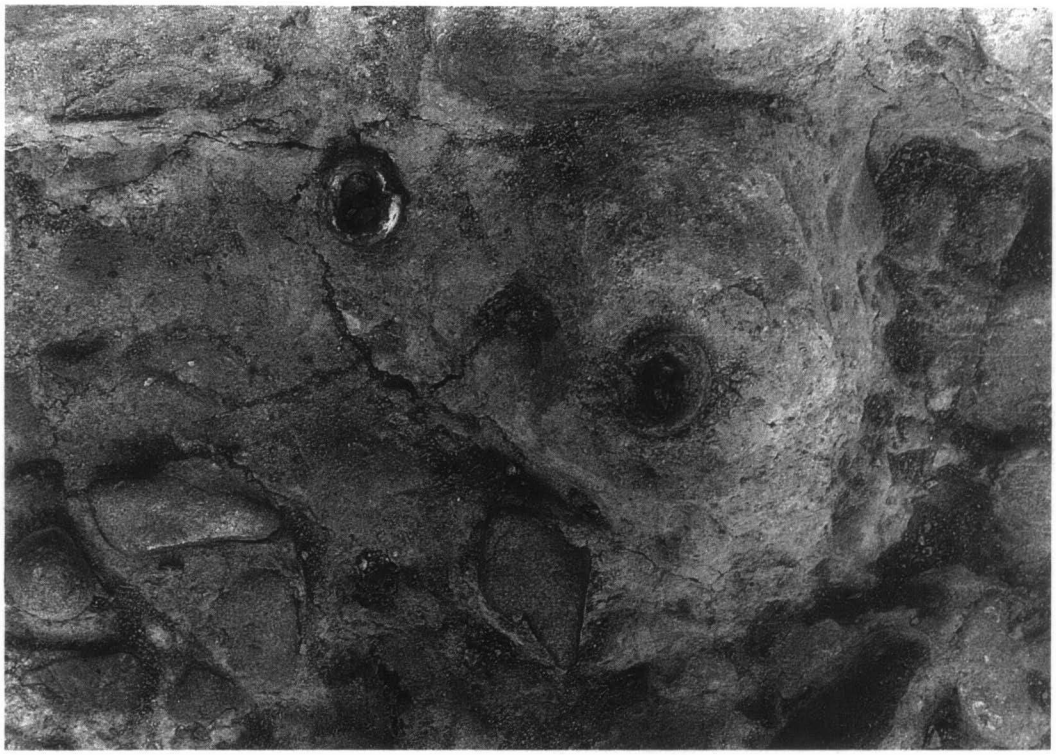
(1)玄室内床面遺物出土状況

(2)紡錘車出土状況



(3)提瓶・臼玉出土状況

(1)玄室奥壁際鉄刀・耳環出土状況

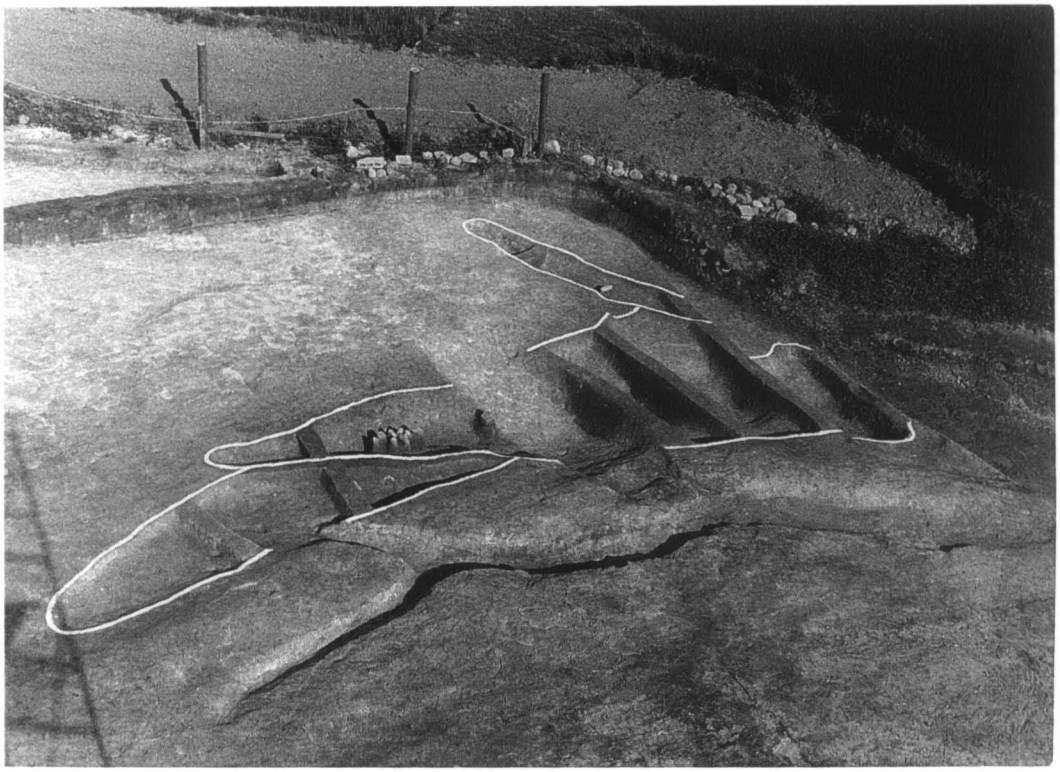


(2)耳環出土状況

(1)玄室床面臼玉出土状況

(2)玄室床面雲珠出土状況

(3)墳丘内土器群出土状況

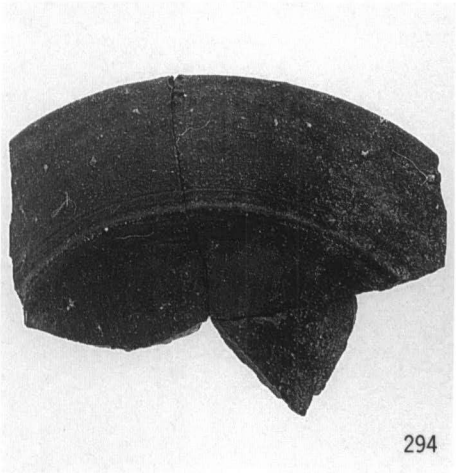


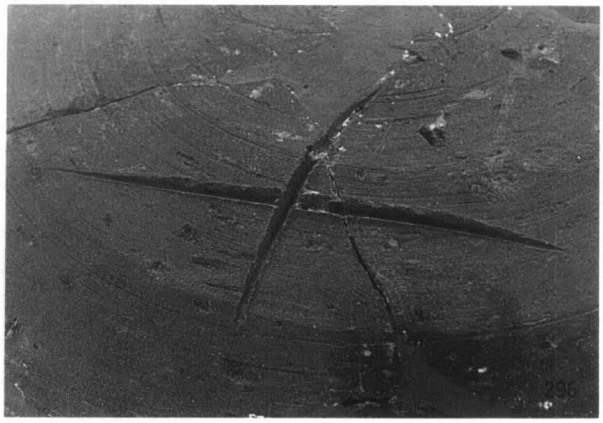
(1)周溝検出状況

(2)周溝土層断面

291

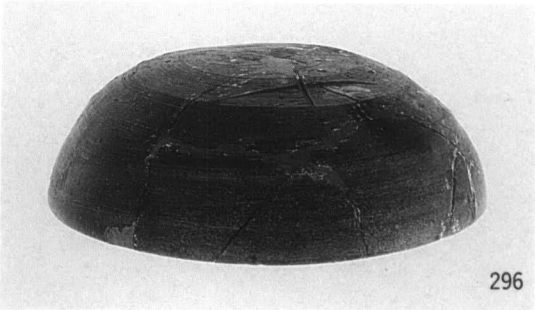
295


294

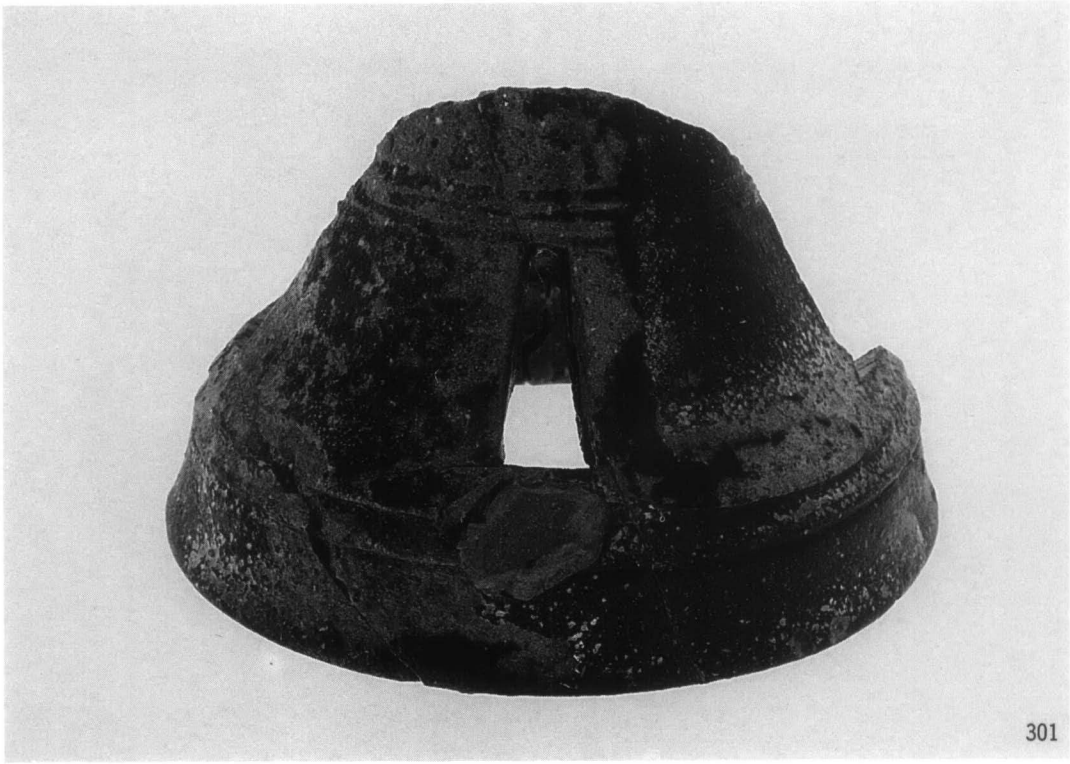

296

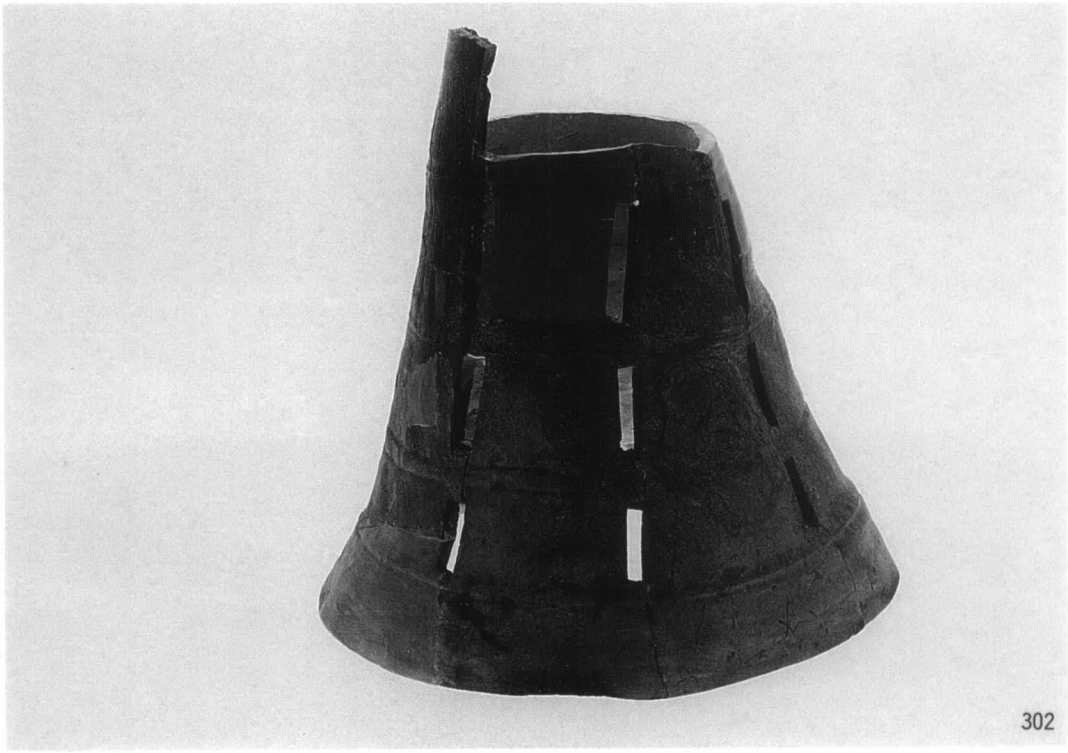
ヘラ記号拡大

297

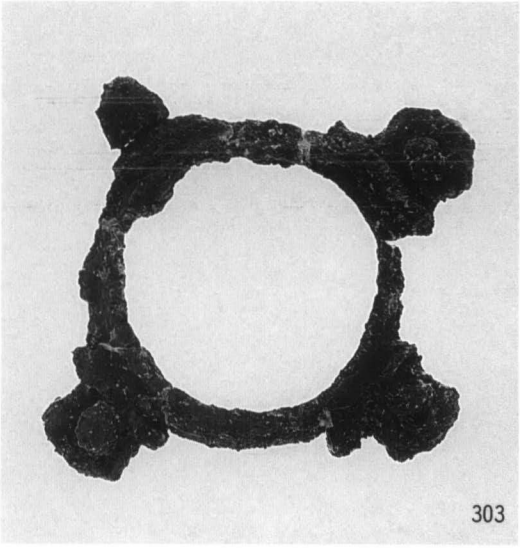

296

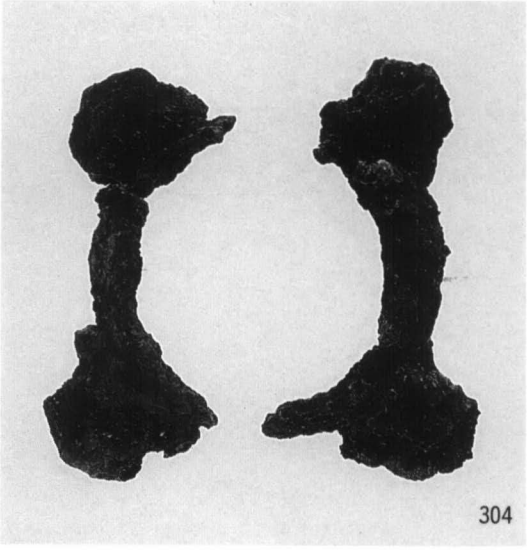
石室内出土遺物（須恵器）①

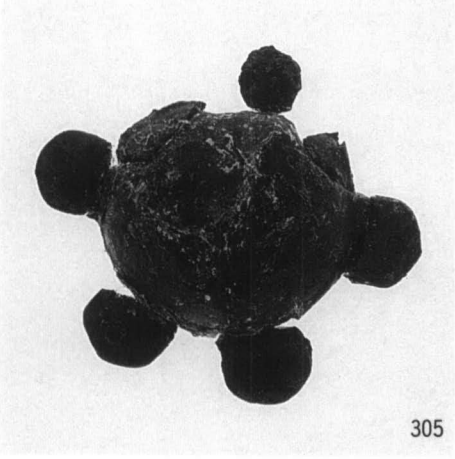


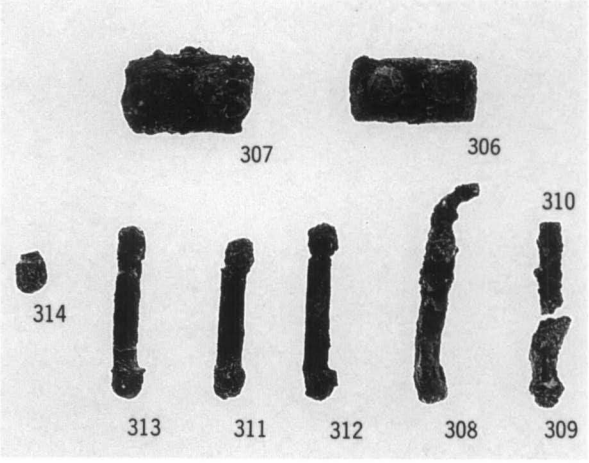


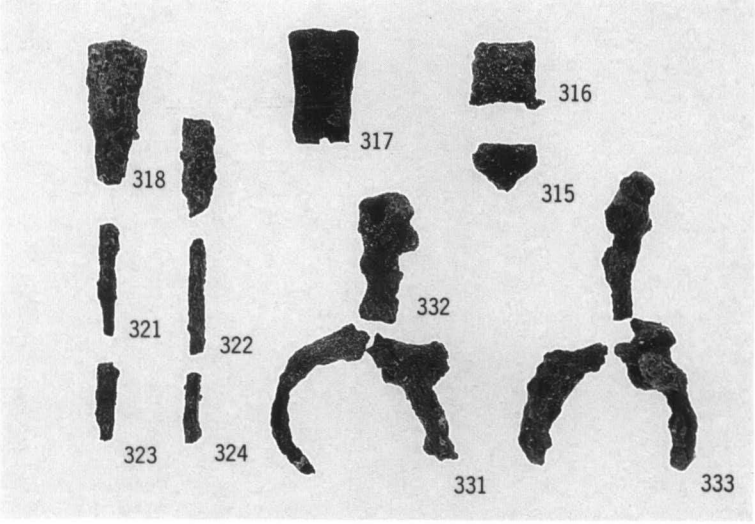
石室内出土遺物（須恵器）②



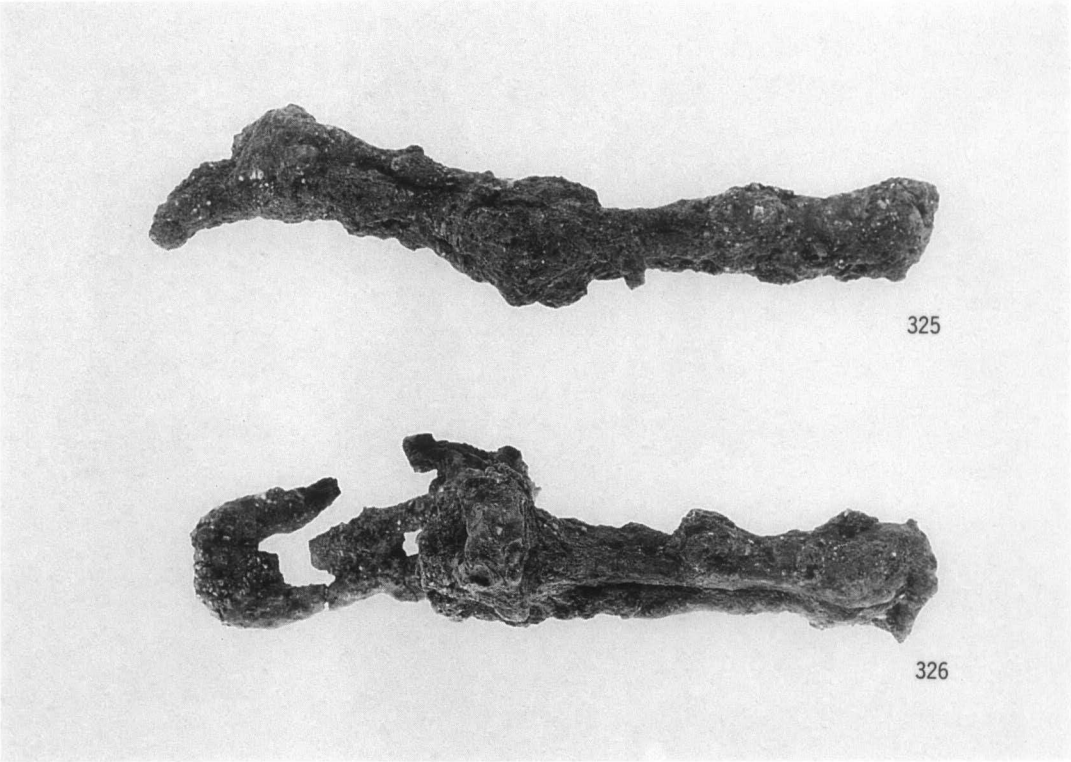


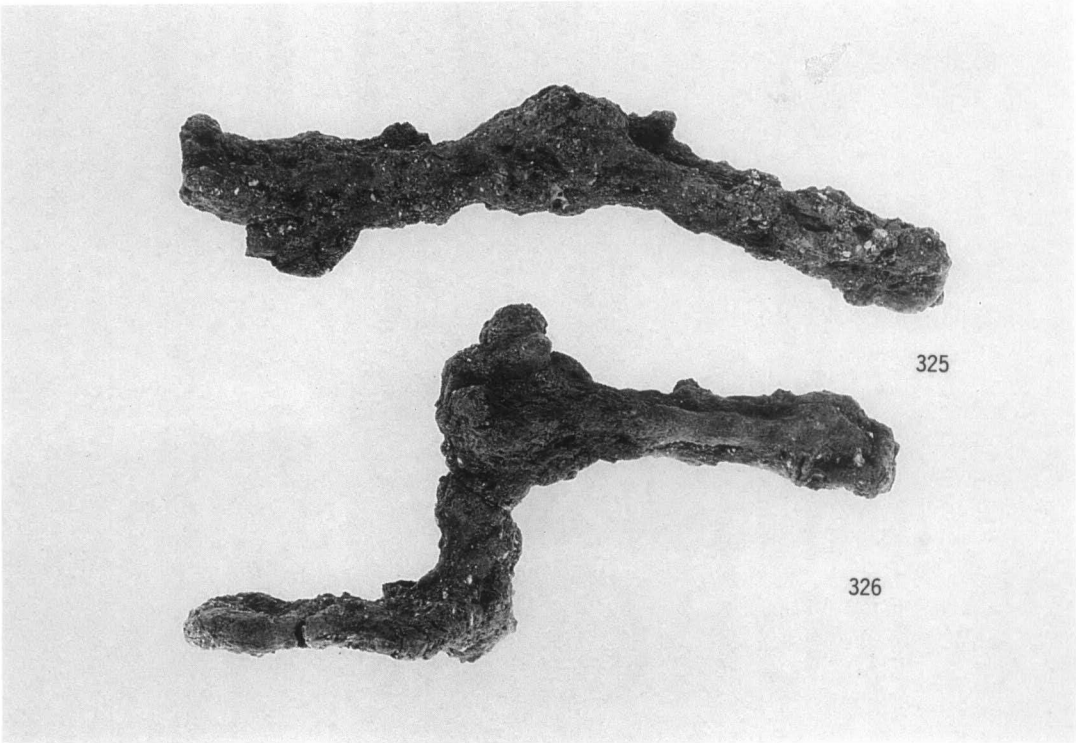




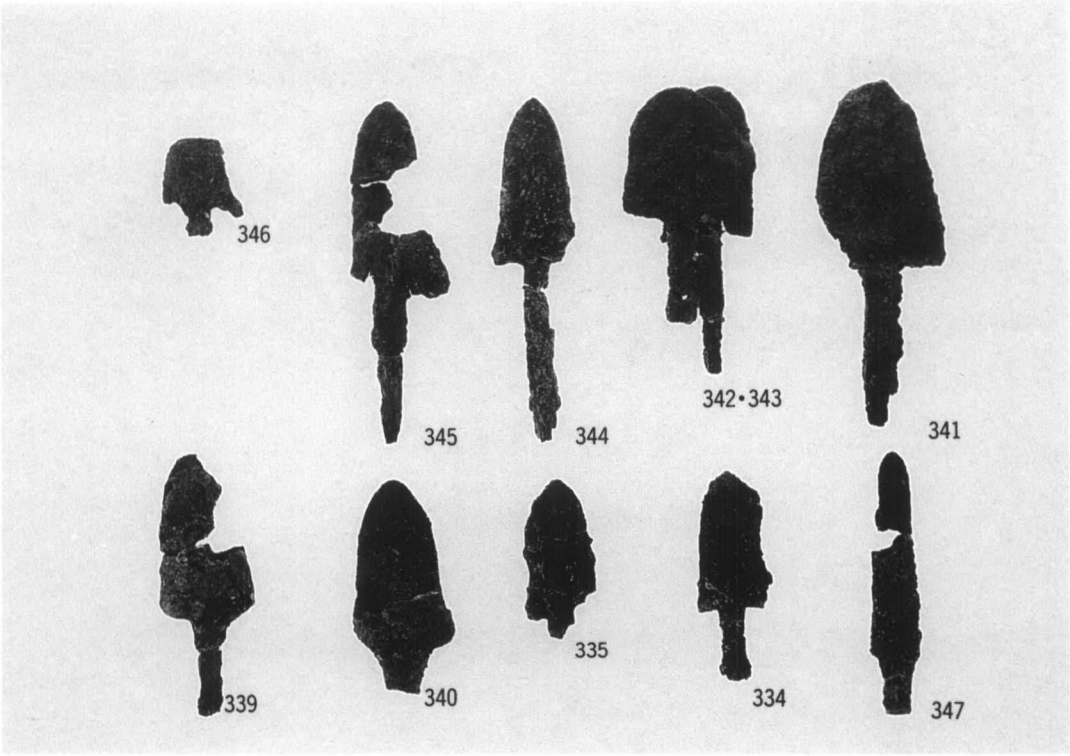


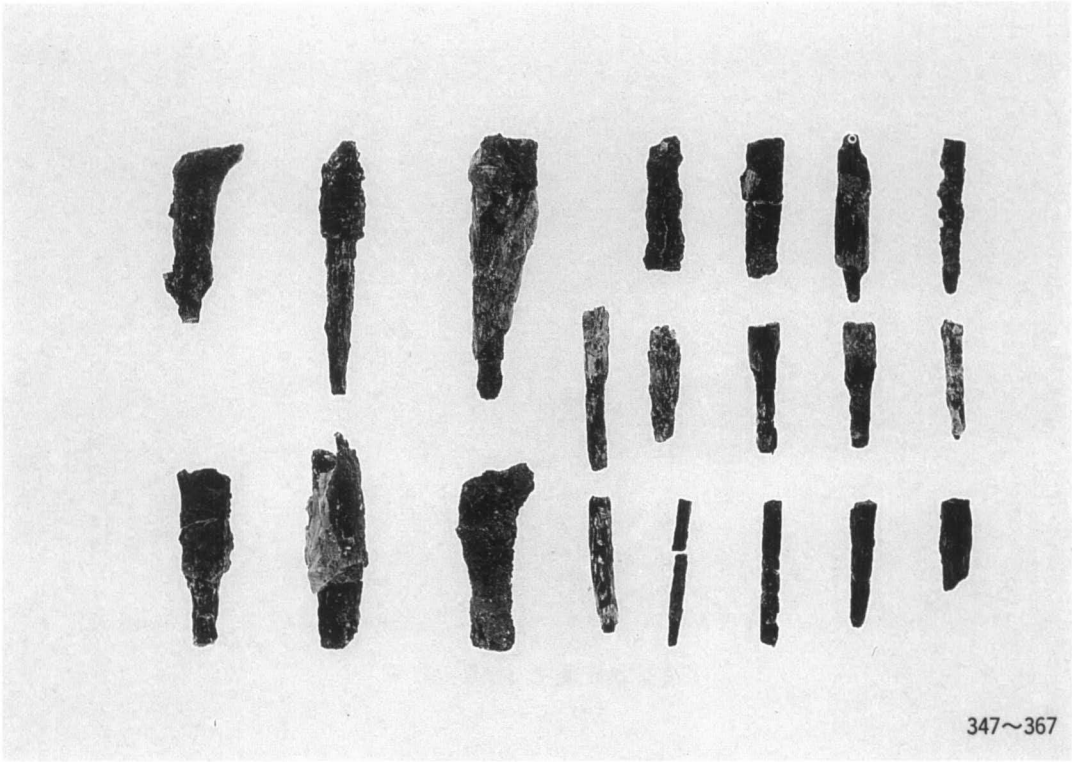
石室内出土遺物（鉄製品）③



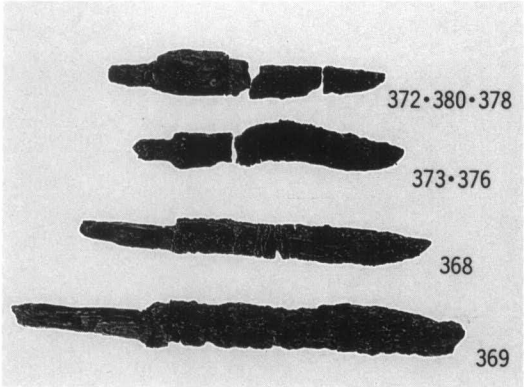


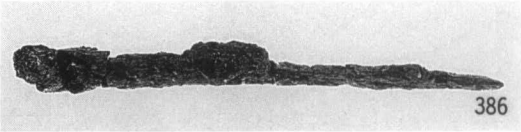
石室内出土遺物（鉄製品）④

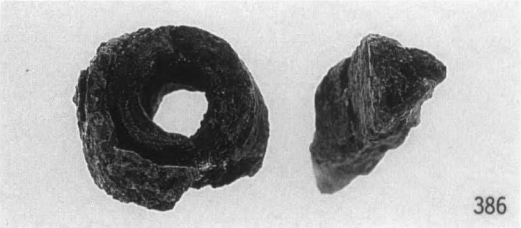


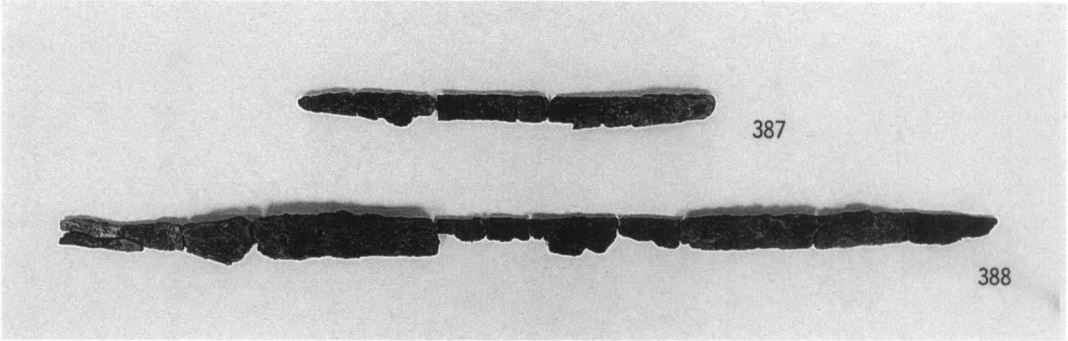


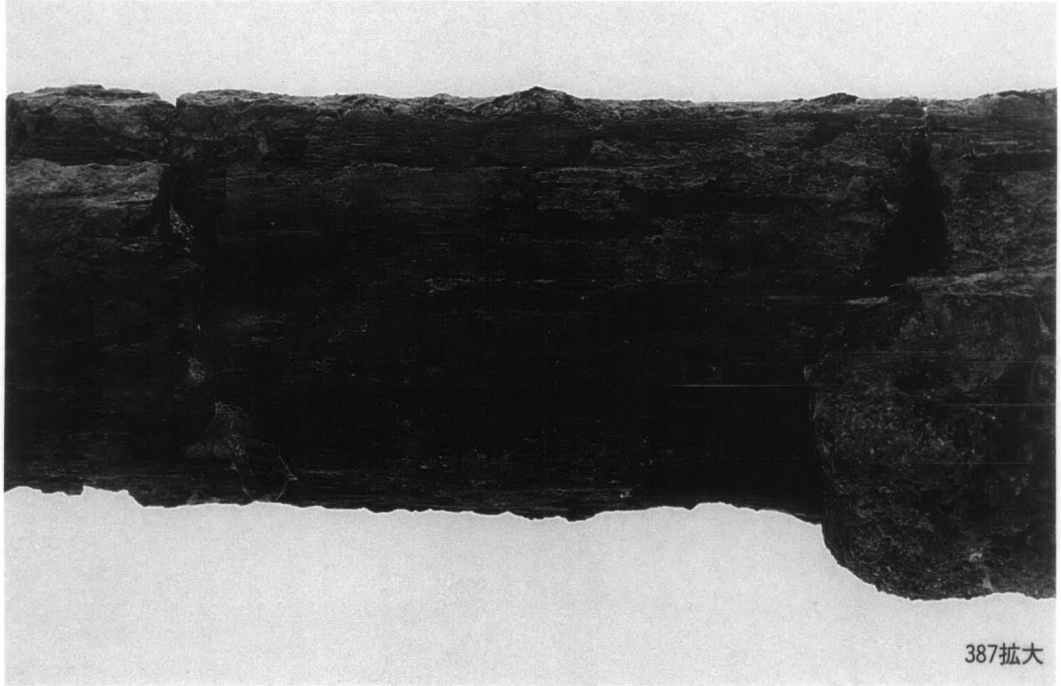
石室内出土遺物（鉄製品）⑤



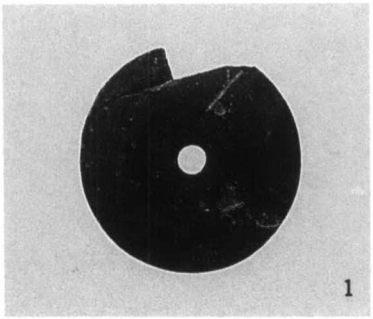


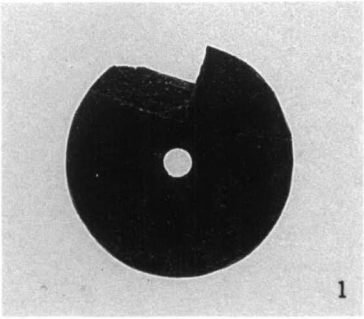


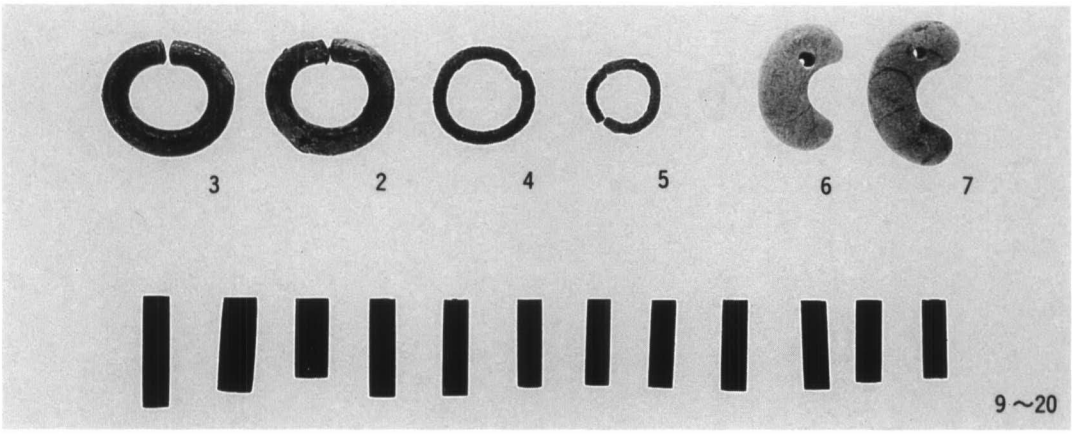


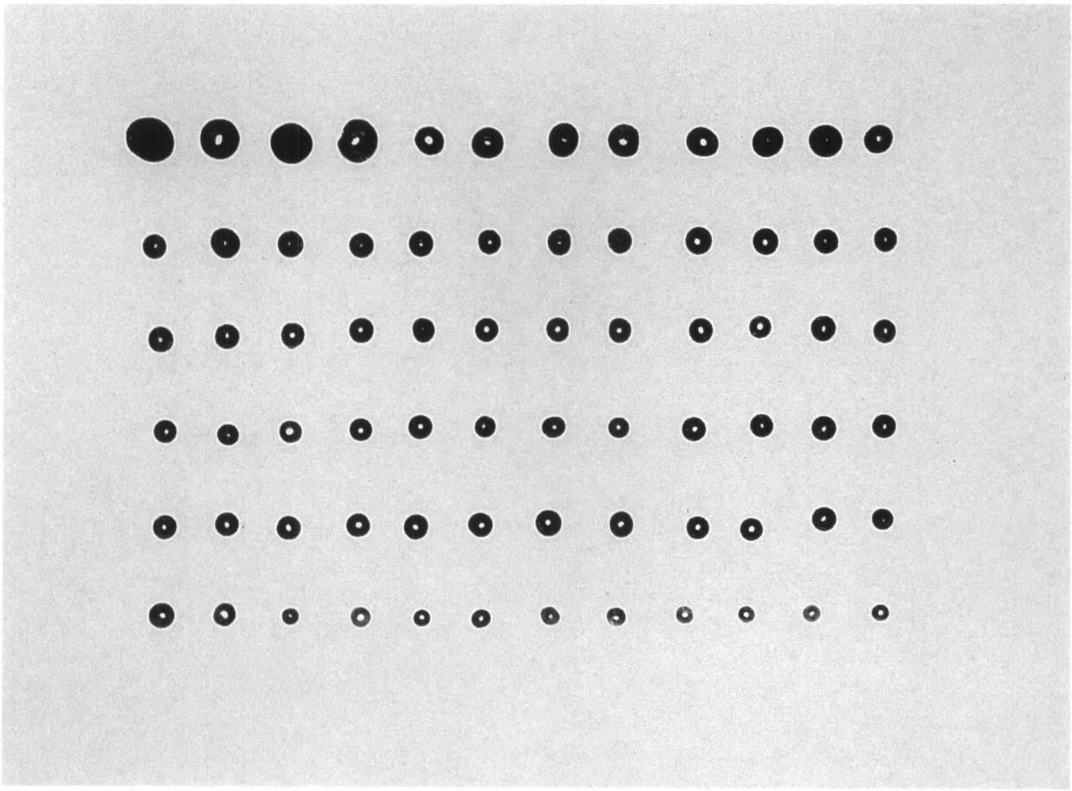


石室内出土遺物（鉄製品）⑥

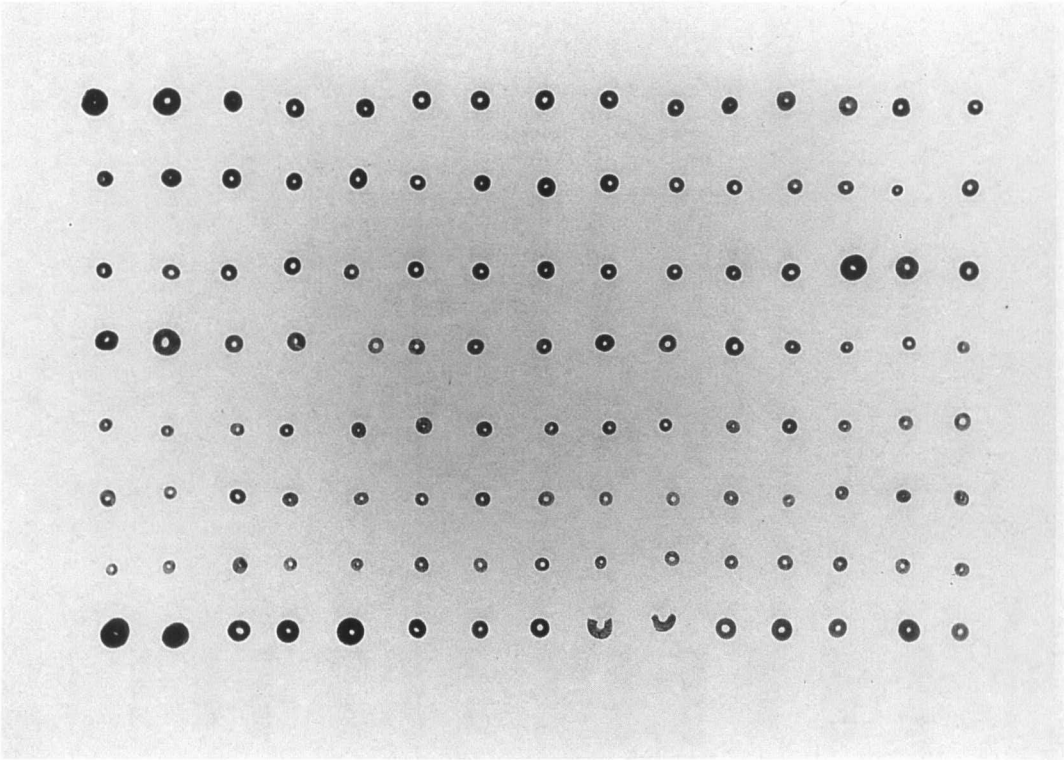


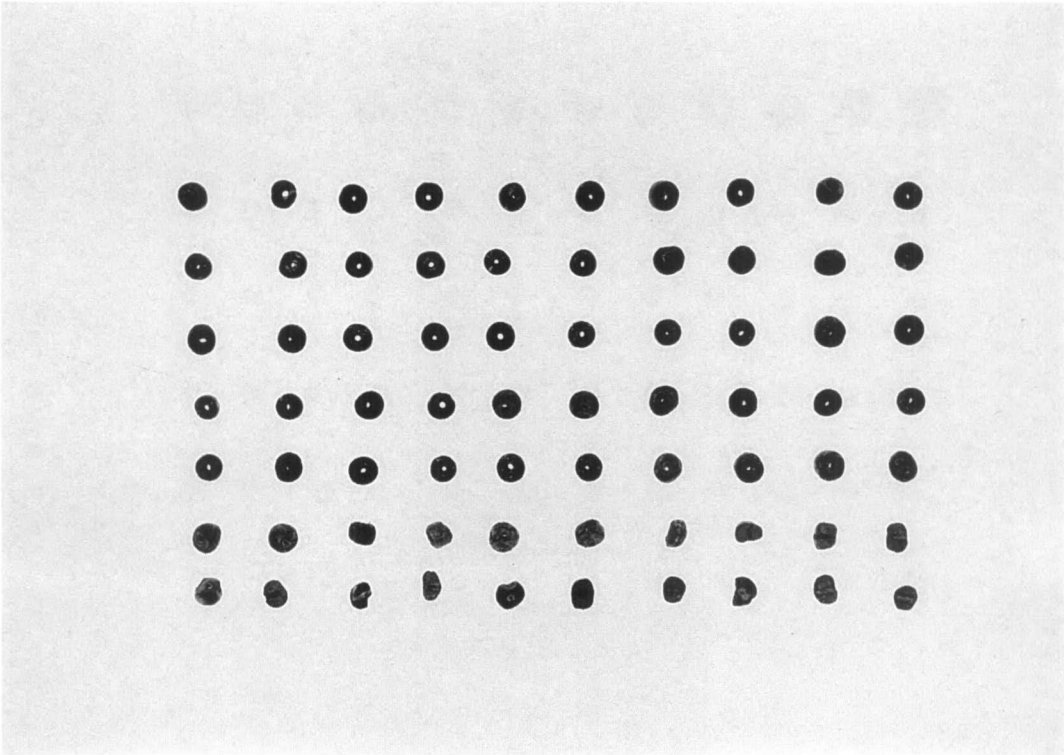




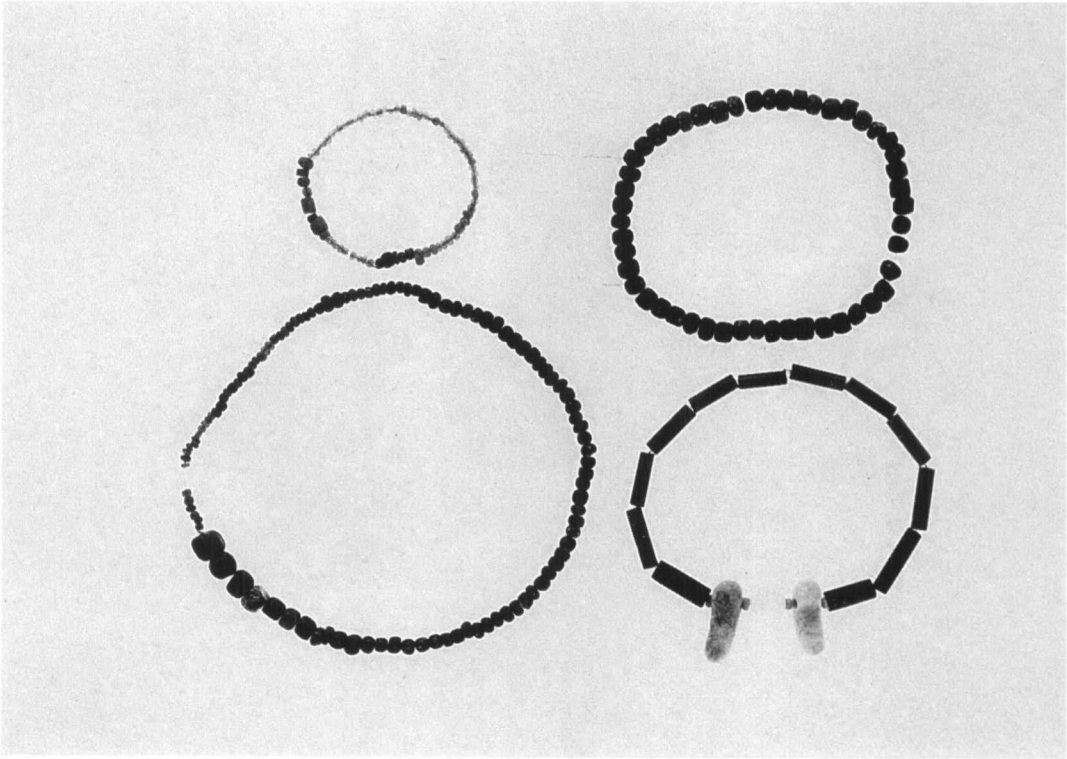


石室内出土遺物（装飾品）⑦





石室内出土遺物（装飾品）⑧



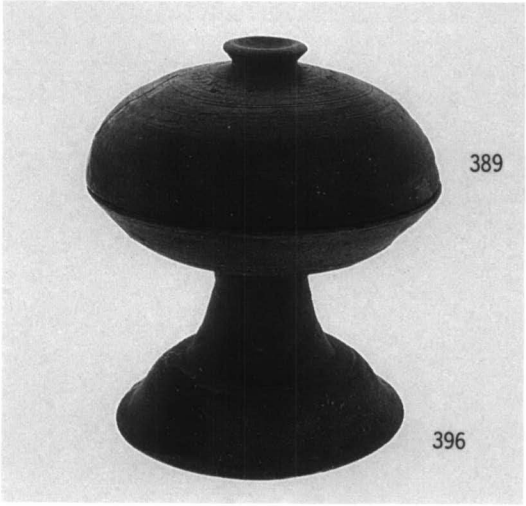
(1)石室内出土遺物⑨

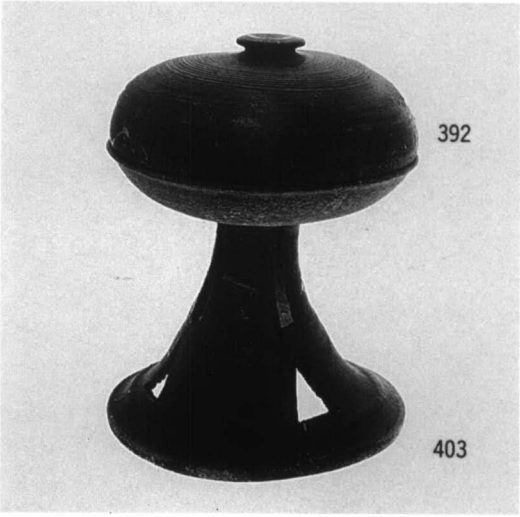
(2)長砂古４号墳出土遺物

(1)右側土器群

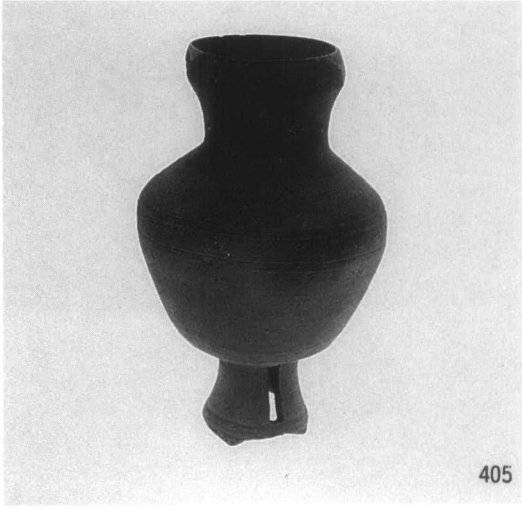
(2)左側土器群

(1)左側土器群出土状況





(2)～(5)左側土器群出土遺物



左側土器群出土遺物

411

407

408

412

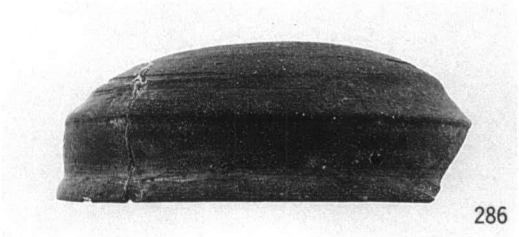
409

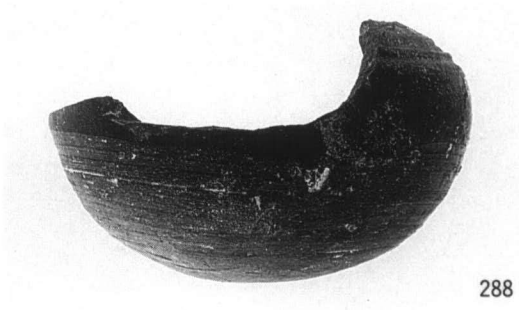
410

右側土器群出土遺物

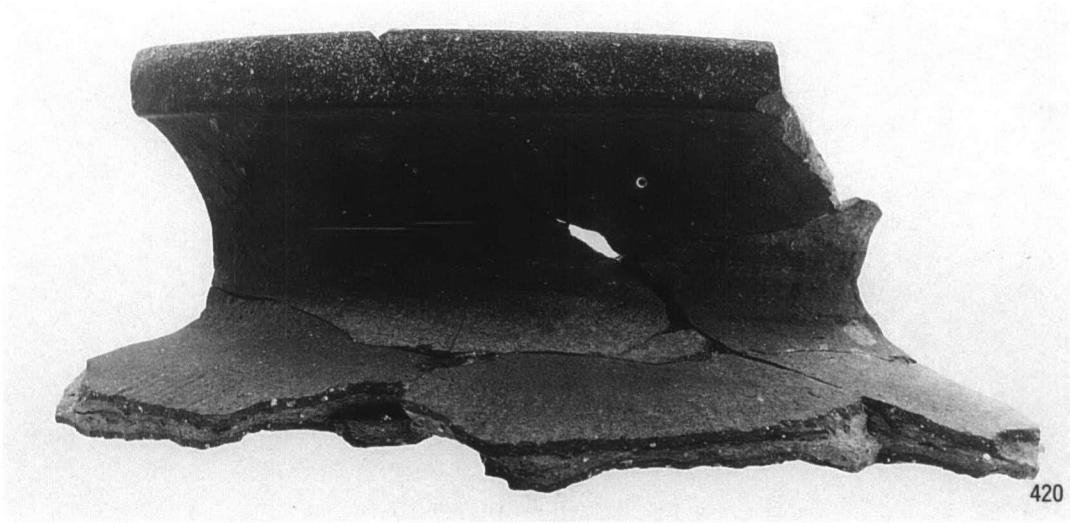
(1)(2)右側土器群出土遺物

(3)発掘調査に従事した人々





(1)～(4) ＳＤ31出土遺物



(5) ＳＤ34出土遺物（周溝）